# 柳泉園クリーンポート 長期包括運営管理事業

要求水準書

平成 28 年 8 月

柳泉園組合

# 目 次

第1章	: 総則	1
第1	節 計画概要	1
1	一般概要	1
2	事業の名称	1
3	業務の場所	1
4	業務の内容	1
5	対象施設	1
6	事業期間等	1
7	運営準備	1
8	委託費の支払い	2
第 2	節 一般事項	2
1	基本方針	2
2	要求水準書の遵守 2	2
3	関係法令等の遵守	3
4	組合及び官公庁等の指導等	4
5	官公庁等への申請	4
6	組合及び官公庁等への報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
7	組合への報告・協力	4
8	関連事業者等への協力	4
9	組合の検査4	4
10	)マニュアル及び計画書の作成	4
11	基本性能	4
12	2 事業期間終了時の引渡し条件等	4
13	3 処理対象ごみ・搬出物	5
14	4 公害防止基準	7
15	5 用役条件 10	0
16	6 災害発生時等の協力 16	0
	7 多摩地域ごみ処理広域支援体制への協力10	
18	3 事故発生時の対応 16	0
第3	節 運営・維持管理業務条件	0
1	運営・維持管理業務 10	0
2	要求水準書記載事項	0
第2章	・ 運営・維持管理体制	2
第1	節 組織計画	2
1	全体組織計画 12	2
第 2	節 労働安全衛生・作業環境管理 12	2

第3	節 防火管理	13
第4	節 連絡体制	13
第 5	節 施設警備・防犯体制	13
第 6	節 見学者対応	14
第7	節 住民対応	14
第8	節 帳票類の管理	14
第 9	節 地元雇用	14
第3章	重搬入管理業務	15
第1	節 受付時間	15
第 2	節 搬入管理	15
第4章	重 運転管理業務	16
	節 焼却施設に係る運転管理業務	
1	焼却施設の運転	16
	運転条件	
3	年度別計画搬入量	16
4	ごみ組成	17
5	年間運転日数	17
	運転時間	
	運転管理業務内容	
	施設動線	
9	計画ごみ質	19
10	)公害防止基準	19
11	[用役条件	19
12	2 車両の仕様	19
13	3 搬入物の性状分析	19
14	1 適正処理	19
15	5 適正運転	19
16	3 搬出物の性状分析	19
17	7 特定部品の調達	19
18	3 運転管理体制	20
19	9 運転計画の作成	20
20	) 運転管理マニュアル	20
21	運転管理記録の作成	20
	章 維持管理業務(点検・整備、補修、大規模修繕)	
第1	節 一般事項	21
1	申請手続き	21

2 夜間、休日作業	21
3 工事用機械器具等	21
4 仮設電力及び用水	21
5 工事現場の管理	21
6 発生材	22
7 検査、点検及び分析、試験	22
8 材料選定及び仕様	22
9 材料保管	22
第2節 安全管理	23
1 安全対策	23
2 事故報告	23
第3節 焼却施設に係る維持管理業務	24
1 備品・物品・用役の調達計画	24
2 備品・物品・用役の管理	24
3 施設の機能維持	24
4 維持管理計画の作成	24
5 日常点検・定期点検	24
6 法定点検	24
7 定期点検整備	25
8 大規模補修	26
9 改良保全	28
10 精密機能検査	28
11 分析計の点検整備	28
12 電気設備の点検整備	28
13 計装機器の点検整備	29
14 検量機の点検整備	29
15 清掃	29
16 安全衛生管理・作業環境管理	29
第6章 環境管理業務	30
第1節 環境保全基準	
第2節 環境保全計画	30
第3節 作業環境管理基準	
第4節 作業環境管理計画	30
第 5 節 測定分析業務	30
第6節 運転に係る停止基準及び要監視基準の設定	31
第7章 情報管理業務	32
第1節 運転記録報告	32

第2節	日常点検・定期点検の報告3	32
第3節	法定点検の報告3	32
第4節	定期点検整備の報告3	32
第5節	大規模補修の報告3	32
第6節	精密機能検査の報告3	32
第7節	点検整備の報告3	32
第8節	環境管理の報告3	33
第9節	作業環境管理の報告3	33
第 10 領	。 節 施設情報の管理3	3
第 11 領	節 その他管理記録の報告3	33
第8章 急	· ▶熱利用業務3	34
第1節	基本事項 3	34
	施設内への供給 3	
	施設外への供給 3	
第9章 🛭	5災管理業務3	35
第1節	二次災害の防止 3	35
第2節	事故対応マニュアルの作成 3	35
第3節	自主防災組織の整備 3	35
第4節	防災訓練の実施 3	35
	事故報告書の作成 3	
第10章	その他関連業務 3	36
第1節	清掃3	36
第2節	緑化	36
	····· 防犯・警備 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	その他	

# 第1章 総則

「柳泉園クリーンポート長期包括運営管理事業 要求水準書」(以下「要求水準書」という。)は、柳泉園組合(以下「組合」という。)が計画する、柳泉園クリーンポート長期包括運営管理事業(以下「本事業」という。)を実施する民間事業者(以下、「事業者」)に対して要求するサービス水準を示すものである。

### 第1節 計画概要

### 1 一般概要

本事業は、組合が整備する本事業の対象施設に関し、基本性能を発揮させ、安定性、安全性を確保しつつ、効率的に運営・維持管理するものである。

### 2 事業の名称

柳泉園クリーンポート長期包括運営管理事業

### 3 業務の場所

東京都東久留米市下里4丁目3番10号

### 4 業務の内容

本事業は、搬入管理業務、運転管理業務、維持管理業務、環境管理業務、情報管理業務、余熱利用業務、防災管理業務及びその他関連業務からなる。

なお、組合及び事業者の実施する業務及び分担については、別紙1に示す。

### 5 対象施設

本事業の対象施設は表 1.1.1 本事業の対象施設に示す。

本事業における業務対象範囲は別紙2に示す。

### 6 事業期間等

運営準備期間:契約締結日 ~ 平成29年6月30日

運営期間:平成29年7月1日 ~ 平成44年6月30日 15年間

業務期間:契約締結日 ~ 平成44年6月30日

### 7 運営準備

### 1) 運転教育等準備業務

事業者は、運営準備期間開始までに焼却施設の運転に関して組合と協議の上、運転教育計画を作成するものとする。また、事業者は運営準備期間中に、作成した運転教育計画に従って、運転教育、組合からの引継ぎ等の運営開始のための必要な準備業務を必要に応じて組合の協力を得ながら行うものとする。なお、運営準備期間中に発生する費用は事業者の負担とする。

# 2) 運営業務に係る計画書等

事業者は、運営期間開始までに本事業に関して組合と協議の上、運営マニュアル、運転計画、 調達計画及び維持管理計画を作成するものとする。

# 8 委託費の支払い

組合は、焼却施設の運営・維持管理業務に要する対価(以下「委託費」という。)を、運営期間にわたり事業者へ支払う。支払条件等の詳細については、事業契約書に定めるものとする。

表 1.1.1 本事業の対象施設【焼却施設】

施設名称		柳泉園クリーンポート		
施設	建設場所	東京都東久留米市下里4丁目3番10号		
敷地	面積	約 95, 555. 51m2		
建築	面積	工場棟:約6,496m2 管理棟:約978m2		
延床	面積	工場棟:約20,698m2 管理棟:約2,939m2		
施設	規模	315t/日(105/日×3 炉系列)		
焼却	炉形式	全連続燃焼式火格子焼却炉		
発電	能力	最大 6,000kW (蒸気タービン発電)		
施設	家働年度	平成 12 年 11 月		
	受入れ・供給設備	ピットアンドクレーン		
		可燃性粗大ごみ破砕設備(5t/日)		
	燃焼設備	ストーカ式焼却炉		
	燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラ 2.65MPa、296℃		
排ガス処理設備		乾式消石灰・活性炭噴霧+バグフィルタ+脱硝反応塔		
余熱利用設備		発電(最大 6,000kW)、電力の施設内利用の余剰分は売電しその他の余熱は場内浴場施設等で有効利用		
設 通風設備		平衡通風方式、空気予熱器、送風機器		
内     灰出し設備		場外搬出(主灰、飛灰)		
容	給水設備	上水、井水、再利用水		
	排水処理設備	凝集沈殿、砂ろ過		
	電気設備	特別高圧受電(66kV) 2 回線(本線、予備)、非常用 発電機		
	計装設備	分散型制御システム		
	雑設備	見学者説明設備		
煙突高		100 m		
構成施設		焼却施設、検量棟(不燃・粗大ごみ施設等と供用)、 洗車棟、外構設備(不燃・粗大ごみ施設等と供用)		
設計	<ul><li>施工</li></ul>	住友重機械工業株式会社		

# 第2節 一般事項

# 1 基本方針

本事業の運営・維持管理に当たって、事業者は焼却施設が、組合構成市内の循環型社会形成の中核であることを十分自覚し、ごみの適正処理に努めること。また、本事業の主旨を十分理解し、長期的視野に立った事業運営など経済性へも配慮すること。

# 2 要求水準書の遵守

事業者は、要求水準書に記載される要件について、事業期間中遵守すること。

# 3 関係法令等の遵守

事業者は事業期間中、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」等の関係法令等を遵守すること。表 1.2.1 に関係法令等の例を示す。

表 1.2.1 関係法令等(参考)

法令名   法令名   法令名   法令名   法令名   法令名   法章   表示   表示   表示   表示   表示   表示   表示   表
糖尿型的の処理及び清掃に関する法律 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 原育の有効を利用の促進に関する法律 糖皮丁率に係る資材の再資源化学に関する法律 等語量素に係る資料の再資源化学に関する法律(書語登集リサイクル法) 按用系列型系列性物質消染対処特指法に基づく放射能濃度等測定方法ガイドライン が安定家庭用機器再商品化化。(家電リサイクル法) 使用系列型電子機器等の再資源化学に関する法律(自動車リサイクル法) 使用系列型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(自動車リサイクル法) 使用系列型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(自動車リサイクル法) 使用系列型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(クリーン購入法) 化学物質排出把握管理促進法  毒物及び側物取結法 フレン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律  等の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律  のレーン等安全規則  労働安全衛任法  高圧ガス保安技則  産業物度対加能設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要網 作業環境制度法  中路所衛生基連規則  の機能を当成。  の機能を当成。  の機能を引きる場合とは、 中部病産生産規則  のレーン等安全規則  労働大を輸出法  のレーン等安全規則  変現品は安全法 (産業物産対加能設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要網 作業環境制度法  の関連を主体に関する技術と  電気用品安全法 (産業物産対加能設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要網  作業環境制度法  の機能を引力を対策と  は、全に関する技術基準  電気を続い関する技術基準  電気を続い関する技術基準  電気を続い関する技術基準  電気を開い関する技術基準  電気を開い関する技術基準  電気を開い関する技術基準  電気を開い関する技術基準  で発動値に関する技術基準  電気を開い関する技術基準  で発動では関する技術基準  を実施を計画を定める省合・内線規定  エルエ事態に関する技術基準  化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針  化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針  化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針  化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針  化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針  北方る整備の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)  連載電気度備的影響と定める省合・内線規定  エカシル理な影像(目上の法)  全国都市清掃会議)  電気を選接・  ボーラーの機能規格  「日本工業規格(J I S)  連絡を選述  日本工業規格(J C S)  水質汚滅防止法  本産機能と表も規格(J C S)  水質汚滅防止法  日本工業規格(J C S)  水質汚滅防止法  日本無明器具工業会規格(J C S)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
競談の有効な利用の促進に関する法律
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
密書包装に係る分別収集及び再高品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)     特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)     使用落り動車の再資源化学に関する法律(自動車リサイクル法)     使用落り動車の再資源化の促進に関する法律(自動車リサイクル法)     自場で割りサイクル法)     校主との環境物品等の調金の推進等に関する法律(グリーン購入法)     在学物質排出把握管理促進法     おりていたの管理の適正化に関する法律     方は際部下防規則     方は原本子防規則     方は原本子防規則     方の大学の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律     方の大学を定義と     高圧ガス保安法     高圧ガス保安法     高圧ガス保安法     高圧がス保安法     高圧がス保安法     高度・書を等の移動等の円滑化の促進に関する法律     佐藤増進法     高路音、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律     方は実施・産業・産業の移動等の円滑化の促進に関する法律     方の大学・大変活発・防止法     方の大学・大変活を関する法律(オフロード法)     自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総合り削減率に関する技術上である法律(オフロード法)     自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減率に関する技術上である差素を使用する技術と関する技術基準を変めの治療に関する技術基準を変めの治療に関する技術基準を変めの治療に関する技術基準を変める省合・内線規定     ガス事業法     電力設備に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブス事業法     電力機備に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブス事業法     電力機備に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブスル事法と     電力機備に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブスル単議法     電力機構に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブスル単議法     電力機構に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブスル単議法     電力機能に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブラル理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電力機能に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブラル理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電力機能に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブラル理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電力機能に関する技術基準を定める省合・内線規定     ブスル甲維定規格     道路送法     年本課法と     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対象     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日本電視器と対格     日と     日本電視器と対格     日本電視器を対格を対格を対格的である。     日本電視器を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を対格を
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法) 使用溶上雪原化等に関する法律(自動車リサイクル法) 酸素欠乏症等防止規則 使用溶上雪作器等の再資脈化等に関する法律(自動車リサイクル法) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法) 相談の近期物取締法 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 グレーン・等安全規則 第一般高度が大変法 電気用品安全法 電気用品安全法 を変現物を持た 電気供給約款 で見路を持ち、生物であり、では、は、カール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法) 使用済力量電子機器等の再資源化の能に関する法律(クリーン購入法) 化学物質排出把握管理促進法 毒物及び劇物取結法 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 労働基準法 万級工作法 海に及る機能を発生を規則 海に大学安全規則 方機工学法 海に大学安全規則 方能子な子と、 海にガス保安法 信服する法律 大気所染防止法 の能療者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 大気が発力的上法 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に おける総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) 関東九都県市条例 ガス事業法 電気発術に関する技術基準 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に おける総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) 関東九都県市条例 ガス事業法 電気要像に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) 関東九都原市条例 ガス事業法 電気整備に関する技術基準を定める省令・内線規定 ガス事業法 電気機械器具防機構造規格 電気整備と関する指針 エースで紹子体基準を定める者の表示に関する指針 エ学物質等の危険有害性等の表示に関する指針 工場電気股備防機指更 が表述を定める者令・内線規定 エク処理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電気整成と関する接触を定める自動に関する技術基準を定める自動に関する技術基準を定める者令・内線規定 エクル理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電気機械器具防機構造規格 道路法 道路速送車両法 道路速送車両法 道路速送車両法 道路速送車両法 道路速送車両法 道路速送生 カレーン・構造規格 道路速送と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差と カレーン・構造規格 道路速差を カレーン・構造規格 道路速差を カレーン・構造規格 道路速差を カレーン・構造規格 道路速差を カレーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
使用添小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(グリーン購入法) 哲学による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法) 右機溶剤中毒子防規則 力口ン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 グした障害的止規則 力レーン等交全規則 労働基準法 クレーン等交全規則 労働文金衛生法 高圧ガス保安法 電気用品安全法 佐藤增進法 のと路療物時特法 健康増進法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 方防法 大気汚染防止法 グイオキシン類が養特別措置法 クイオキシン類が養特別措置法 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に 助力が最大的に関する技術基準 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に 助力が最大的で、関する特別・電気とは 関東九都県市条例 ガス事業法 電気産業法 道路逐通法 道路逐通法 道路逐通法 道路逐通法 道路逐通法 道路逐通法 道路逐送車両法 道路運送主 人大電汚濁防止法 人学物質等の危険有害性等の表示に関する指針 電気機能に関する技術基準 電力設備に関する技術基準 電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定 エ場電設能の影響をに関する指針 電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定 ボイラー構造規格 道路及通法 道路及通法 道路返送車両法 道路運送車両法 月本電製格(JIS) 日本電製格(JCS) 大型物質等の人間を建した。 電気機能と関する技術基準を定める省令・内線規定 エ場電設能的影響に関する技術基準を定める省令・内線規定 エの処理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電気機能具的操構造規格 道路及通法 道路を通法 道路を通法 道路を通路(JCS) 本電知業会規格(JCS) 本種工業会規格(JCS)
世学物質排出把握管理促進法 おした
世学物質排出把握管理促進法 おした
- 本の表に関する法律
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
夢衝所衛生基準規則
夢衝所衛生基準規則
高圧ガス保安法 電気用品安全法 作業環境測定法 PCB 廃棄物特措法 健康増進法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 消防法 大気汚染防止法 ダイオキシン類対策特別措置法 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に なける総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) 関東九都県市条例 ガス事業法 電気事業法 道路変通法 電気機械器具防爆構造規格 直路変通法 電気機械器具防爆構造規格 道路変通法 電気事業法 道路運送法 ルプート はおいる理事法 は、自動車がは、は、自動車がは、ないの規制を対している。 は、自動車がは、は、ないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
電気用品安全法 廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱作業環境測定法 電気供給約款 土木工事標準示方書 健康増進法 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各工事共通仕様書 厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」消防法 河川構造物設計基準 電気機能に関する技術基準 電気機能に関する技術基準 で大きいと類対策特別措置法 電気機能に関する技術基準 で大きいと類対策特別措置法 電気では、これの溶接に関する技術基準 防定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法) 廃棄物処理施設整備国庫補助事業に係るごみ処理施設性能に関する指針自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) 関東九都県市条例 電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定 ごみ処理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議)電気事業法 電気機械器具防爆構造規格 道路法 ボイラー構造規格 「直路運送法 月本電線工業会規格(JCS) 水道法 日本電線工業会規格(JCS)
作業環境測定法 電気供給約款
上木工事標準示方書   国土交通省大臣官房官庁営締部監修の各工事共通仕様書   国土交通省大臣官房官庁営締部監修の各工事共通仕様書   国土交通省大臣官房官庁営締部監修の各工事共通仕様書   厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」   河川構造物設計基準   電気設備に関する技術基準   電気関係に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   産気工作物の溶接に関する技術基準   産業工作物の溶接に関する技術基準   産業工作物の溶接に関する技術基準   産業工作のの溶接に関する技術基準   産業工作のの溶接に関する技術基準   産業工作のの溶接に関する技術基準   産業工作のの溶接に関する技術基準   産業工作のの溶接に関する技術基準   産業工作のの溶接に関する技術基準   大多の運動設性能に関する指針   工場電気設備防爆指針   工場電気設備防爆指針   電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定   工場電気設備防爆指針   電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定   工場電気設備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電気機能と関する技術基準を定める省令・内線規定   工み処理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電気機能と関する技術基準を定める省令・内線規定   工みの理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議) 電気機能と関する技術基準を定める省令・内線規定   工みの工作造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工力容器構造規格   工業規格 (JCA)   工業 (JCA)
健康増進法   国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各工事共通仕様書   高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律   厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」   消防法   河川構造物設計基準   電気設備に関する技術基準   電気設備に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   電気工作物の溶接に関する技術基準   軽減   軽減   軽減   軽減   軽減   軽減   軽減   乗減   軽減   軽
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 厚生労働省「室内空気汚染に係るガイドライン」 消防法
河川構造物設計基準 大気汚染防止法
大気汚染防止法 電気設備に関する技術基準 電気工作物の溶接に関する技術基準 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法) 廃棄物処理施設整備国庫補助事業に係るごみ処理施設性能に関する指針自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法) 工場電気設備防爆指針 工場電気設備防爆指針 電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定 ごみ処理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議)電気事業法 電気機械器具防爆構造規格 ボイラー構造規格 道路交通法 圧力容器構造規格 「正力容器構造規格」道路運送車両法 日本工業規格(JIS) 道路運送法 クレーン構造規格(JCA) 水質汚濁防止法 日本電線工業会規格(JCS) 日本照明器具工業会規格(JIL)
### 第二十年の   第三十年   第二十年   第三十年   第二十年   1
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法) 廃棄物処理施設整備国庫補助事業に係るごみ処理施設性能に関する指針 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域に おける総量の削減等に関する特別措置法 (自動車NOx・PM法) 工場電気設備防爆指針 関東九都県市条例 電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定 ごみ処理施設整備の計画・設計要領 (社団法人 全国都市清掃会議) 電気事業法 電気機械器具防爆構造規格 道路法 ボイラー構造規格 道路運送車両法 日本工業規格 (JIS) 道路運送法 クレーン構造規格 (JCA) 水質汚濁防止法 日本照明器具工業会規格 (JIL)
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)       化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針         関東九都県市条例       電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定         ガス事業法       電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定         電気事業法       電気機械器具防爆構造規格         道路法       ボイラー構造規格         道路運送車両法       日本工業規格(JIS)         道路運送法       クレーン構造規格(JCA)         水質汚濁防止法       日本照明器具工業会規格(JIL)
おける総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)       工場電気設備防爆指針         関東九都県市条例       電力設備に関する技術基準を定める省令・内線規定         ガス事業法       ごみ処理施設整備の計画・設計要領(社団法人 全国都市清掃会議)         電気事業法       電気機械器具防爆構造規格         道路法       ボイラー構造規格         道路で通法       圧力容器構造規格         道路運送車両法       日本工業規格(JIS)         道路運送法       クレーン構造規格(JCA)         水質汚濁防止法       日本電線工業会規格(JCS)         水道法       日本照明器具工業会規格(JIL)
ガス事業法ごみ処理施設整備の計画・設計要領 (社団法人 全国都市清掃会議)電気事業法電気機械器具防爆構造規格道路法ボイラー構造規格道路運送車両法圧力容器構造規格道路運送法クレーン構造規格 (J C A)水質汚濁防止法日本電線工業会規格 (J C S)水道法日本照明器具工業会規格 (J I L)
電気事業法       電気機械器具防爆構造規格         道路法       ボイラー構造規格         道路交通法       圧力容器構造規格         道路運送車両法       日本工業規格(JIS)         道路運送法       クレーン構造規格(JCA)         水質汚濁防止法       日本電線工業会規格(JCS)         水道法       日本照明器具工業会規格(JIL)
道路法       ボイラー構造規格         道路交通法       圧力容器構造規格         道路運送車両法       日本工業規格(JIS)         道路運送法       クレーン構造規格(JCA)         水質汚濁防止法       日本電線工業会規格(JCS)         水道法       日本照明器具工業会規格(JIL)
道路交通法       圧力容器構造規格         道路運送車両法       日本工業規格(JIS)         道路運送法       クレーン構造規格(JCA)         水質汚濁防止法       日本電線工業会規格(JCS)         水道法       日本照明器具工業会規格(JIL)
道路運送車両法       日本工業規格(JIS)         道路運送法       クレーン構造規格(JCA)         水質汚濁防止法       日本電線工業会規格(JCS)         水道法       日本照明器具工業会規格(JIL)
道路運送法       クレーン構造規格 (J C A)         水質汚濁防止法       日本電線工業会規格 (J C S)         水道法       日本照明器具工業会規格 (J I L)
水質汚濁防止法       日本電線工業会規格(JCS)         水道法       日本照明器具工業会規格(JIL)
水道法 日本照明器具工業会規格 (J I L)
下水道法 電気規格調査会規格 (JEC)
エネルギーの使用の合理化等に関する法律 日本電機工業会標準 (JEM)
騒音規制法 日本油圧工業会規格(JOHS)
振動規制法 日本水道協会規格(JWWA)
悪臭防止法 空気調和・衛生工学会規格(HASS)
土壌汚染対策法 日本農林規格(JAS)
水循環基本法 日本塗料工業会規格(JPMS)
都市計画法 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (環境確保条例)
駐車場法 東久留米市下水道条例
河川法                    東久留米市環境基本条例
建築基準法 東久留米市廃棄物の処理及び再利用に関する条例
計量法 東久留米市のみどりに関する条例
航空法 東京都及び組合構成市の条例・規則等
電波法 その他関係法令、規格、規程、通達及び技術指針等

### 4 組合及び官公庁等の指導等

事業者は事業期間中、組合及び官公庁等の指導等に従うこと。なお、法改正等に伴い、焼却施設 の改造等が必要な場合、その費用の負担は事業契約書に定める。

### 5 官公庁等への申請

事業者は、組合が行う運営・維持管理に係る官公庁等への申請等に全面的に協力し、組合の指示により必要な書類、資料等を提出しなければならない。なお、運営・維持管理に係る申請等に関しては、事業者の責任と負担により行うこと。

### 6 組合及び官公庁等への報告

焼却施設の運営・維持管理に関して、組合及び官公庁等が報告、記録、資料提供等を要求する場合は、速やかに対応すること。なお、所轄官公庁からの報告、記録、資料提供等の要求については組合の指示に基づき対応すること。

### 7 組合への報告・協力

焼却施設の運営・維持管理に関して、組合が指示する報告、記録、資料等を速やかに提出すること。

### 8 関連事業者等への協力

事業計画地内及び周辺で組合及び関係団体が行う事業等に対し、組合の要請に基づき協力すること。

# 9 組合の検査

組合が事業者の運転や設備の点検等を含む運営・維持管理全般に対する立ち入り検査を行う時は、 事業者は、その監査、検査に協力し、要求する資料等を速やかに提出すること。

### 10 マニュアル及び計画書の作成

本事業遂行上必要となるマニュアル及び計画書については、作成後速やかに組合へ報告すること。

### 11 基本性能

要求水準書に示す基本性能とは、焼却施設の各設備によって備え持つ施設としての機能であり、完成図書において保証される内容である。ここで、完成図書とは、建設工事において、施設の設計を最終的に取りまとめた図書を表す。

### 12 事業期間終了時の引渡し条件等

1) 事業期間終了時における本施設の条件

事業者は、次に規定する状態で組合及び組合が指定する第三者に引き継ぐこと。

- (1) 本施設が基本性能を満たしていること。
- (2) 組合及び組合が指定する第三者が要求水準書に従い本施設の運営を運営期間終了後 1 年間

継続して行うことにより本施設の基本性能が確保できること。

- (3) 建物の主要構造部、内外仕上げ、設備・措置等に大きな破損等がなく、良好な状態であること。ただし、継続使用に支障のない程度の軽微な破損及び経年劣化は除く。
- 2) 本事業終了条件及び性能未達時の対応

本組合は、本事業期間終了前に基本性能の満足を確認するため、本施設の機能、効率、能力等の確認を実施し、基本性能を満たしながら運転できる状態にて引渡すことを本事業契約の終了の条件とする。

事業者は、運営期間終了後1年の間に、事業者の維持管理に起因する本施設の基本性能が確保 できない事態が発生した場合には、事業者は補修等必要な対応を行うこと。

### 3) 引継ぎ業務

組合は、本事業期間終了後も本施設については5年間程度の稼働を予定している。

したがって、本事業の契約終了後も本施設の運営維持管理業務を継続する予定であるため、組合及び組合が指定する第三者への引継ぎが可能となるよう以下の業務を行うものとする。

- (1) 本施設の運転、維持管理に必要な書類(運転管理マニュアル、運転管理報告書、点検検査報告書、環境管理報告書)等の整備と提出
- (2) 組合が指定する第三者への引継ぎ業務
- (3) 円滑な業務の開始に必要な教育訓練等の支援

### 13 処理対象ごみ・搬出物

1) 処理対象ごみ

焼却施設の処理対象ごみと搬出物を表 1.2.2 に示す。

表 1.2.2 処理対象ごみと搬出物【焼却施設】

項目		内容
処理対象ごみ	焼却炉	<ul><li>①可燃ごみ</li><li>②粗大ごみ等の可燃物</li><li>③軟質系プラスチック等可燃物</li><li>④し尿中の可燃夾雑物</li></ul>
搬出物		<ul><li>①焼却主灰</li><li>②焼却飛灰</li><li>③資源回収物 (焼き鉄)</li></ul>

# 2) 計画ごみ質

焼却施設の計画ごみ質を表 1.2.3 に示す。

表 1.2.3 計画ごみ質【焼却施設】

項目		ごみ質			
	垻!		低質時	基準時	高質時
低位	発熱量	(kcal/kg)	1, 400	2, 100	2,800
=	水分	(%)	56. 0	45. 0	34.0
三成分	可燃分	(%)	36. 0	46.0	56. 0
分	灰分	(%)	8. 0	9. 0	10.0
	炭素	(%)	19. 28	25. 60	32. 31
<u> </u>	水素	(%)	2. 74	3. 74	4. 83
元素	窒素	(%)	0. 68	0.82	0. 94
組成	硫黄	(%)	0.04	0.05	0.06
) /2/	塩素	(%)	0. 34	0.54	0.80
	酸素	(%)	12. 92	15. 25	17.06
	分の内プ チック	(%)	12.0	19. 0	26. 0

# 3) 処理不適物

別紙3参照のこと。

# 14 公害防止基準

# 1) 排出ガス基準値

表 1.2.4 排ガス基準

項目	保証値	備考
ばいじん濃度	0.02g/m³N以下	ろ過式集じん機出口及び煙 突
硫黄酸化物濃度	20ppm以下	ろ過式集じん機出口及び煙 突
塩化水素濃度	25ppm以下	ろ過式集じん機出口及び煙 突
<b>空主歌儿姗</b> 腆 在	5.57N m³/h • 3 炉	日平均1時間値
室素酸化物濃度	56ppm以下	
一酸化炭素(4 時間移動平均値)	30ppm以下	
一酸化炭素(1 時間平均値)	100ppm以下	
ダイオキシン類排出濃度	0.1ng- TEQ/m³ N以下	
水銀	0.05mg/m³N以下**	時間あたり平均値

# (注) 濃度は酸素濃度 12%換算値とする 水銀は自己規制値

# 2) 騒音基準

焼却施設3炉定格負荷時に敷地境界線上にて表1.2.5騒音基準値以下とすること。

表 1.2.5 騒音基準 (単位:デシベル)

時間区分	朝	昼間	タ	夜間
时间区方	6 時~8 時	8 時~20 時	20 時~23 時	23 時~6 時
基準値	55 dB	60 dB	55 dB	50 dB

# 3) 振動基準

焼却施設3炉定格負荷時に敷地境界線上にて表1.2.6振動基準値以下とすること。

表 1.2.6 振動基準 (単位:デシベル)

時間区分	昼間 8 時~20 時	夜間 20 時~8 時
基準値	65 dB	60 dB

# 4) 悪臭基準

敷地境界線上、煙突等気体排出口及び排出水の悪臭基準は表1.2.7悪臭基準値以下とすること。

表 1.2.7 悪臭基準

	規制基準	
敷地境界	気体排出口	排出水
臭気指数 12 以下	気体排出口の基準値は、悪臭防止法施行規則(昭和47年総令第39号)第6条の2第1項第1号に規定する方法で算定された臭気排出強度の許容限度とする。	臭気指数 28 以下

(注)排水は全て下水道放流のため対象となる排水はない。

# 5) 排水基準

下水は表 1.2.8 に示す下水排除基準に適合するように処理し公共下水道に放流する。

# 6) 焼却主灰基準

(1)含有基準

ダイオキシン類: 3 ng-TEQ/g 以下

# 7) 焼却飛灰基準

# (1) 溶出基準

アルキル水銀化合物検出されないこと水銀又はその化合物0.005mg/L 以下カドミウム又はその化合物0.3mg/L 以下鉛又はその化合物0.3mg/L 以下六価クロム又はその化合物1.5mg/L 以下ひ素又はその化合物0.3mg/L 以下セレン又はその化合物0.3mg/L 以下

# (2) 含有基準

ダイオキシン類: 3 ng-TEQ/g 以下

表 1.2.8 下水排除基準

項目		基準値				
水素イオン濃度(水素指数)	5.7を超え8.7未満					
生物化学的酸素要求量	300	mg/L	未満			
沃素消費量	220	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	未満			
浮遊物質量	300	mg/L	未満			
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	5	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	30	mg/L	以下			
温度			45℃未満			
全窒素	120	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
カドミウム及びその化合物	0.03	${\rm mg}/{\rm L}$	以下			
シアン化合物	1	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
有機燐化合物	1	${\rm mg}/{\rm L}$	以下			
鉛及びその化合物	0.1	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
六価クロム化合物	0.5	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
砒素及びその化合物	0.1	${\rm mg}/{\rm L}$	以下			
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
アルキル水銀化合物	検	出されない	こと			
ポリ塩化ビフェニル	0.003	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
トリクロロエチレン	0.1	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
テトラクロロエチレン	0.1	${\rm mg}/{\rm L}$	以下			
ジクロロメタン	0.2	mg/L	以下			
四塩化炭素	0.02	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
1.2-ジクロロエタン	0.04	mg/L	以下			
1.1-ジクロロエチレン	1	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
シス-1.2-ジクロロエチレン	0.4	mg/L	以下			
1.1.1-トリクロロエタン	3	mg/L	以下			
1.1.2-トリクロロエタン	0.06	mg/L	以下			
1.3-ジクロロプロペン	0.02	mg/L	以下			
テトラメチルチウラムジスルフィド (別名チウラム)	0.06	mg/L	以下			
2-クロロ-4.6-ビス(エチルアミノ)-S-トリアジン(別名シマジン)	0.03	mg/L	以下			
S-4-クロロベンジル=N・N-ジエチルチオカルバマート(別名チオベンカルブ)	0.2	mg/L	以下			
ベンゼン	0.1	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
セレン及びその化合物	0.1	mg/L	以下			
ほう素及びその化合物	10	mg/L	以下			
ふっ素及びその化合物	8	mg/L	以下			
フェノール類	5	mg/L	以下			
銅及びその化合物	3	mg/L	以下			
亜鉛及びその化合物	2	mg/L	以下			
鉄及びその化合物(溶解性)	10	mg/L	以下			
マンガン及びその化合物(溶解性)	10	mg/L	以下			
クロム及びその化合物	2	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			
ダイオキシン類	10	pg-TEQ/	L 以下			
1.4-ジオキサン	0.5	$\mathrm{mg}/\mathrm{L}$	以下			

### 15 用役条件

焼却施設における用役条件を以下に示す。なお、下記に係る費用負担については、別紙 4 の通りとする。

1) 給排水

生活系:上水

プラント系:上水、井水

2) 電力

3相3線式、66kV、50Hz、2回線受電(本線、予備)

3) 都市ガス

ガス種別:中部ガスB(1.4kg)、本管管径:200A

### 16 災害発生時等の協力

震災その他不測の事態により、要求水準書に示す計画搬入量を超える多量の廃棄物が発生するなどの状況に対して、その処理を組合が実施しようとする場合、事業者はその処理・処分に協力しなければならない。この場合、委託費の追加費用は事業契約書の定めるところとする。

### 17 多摩地域ごみ処理広域支援体制への協力

多摩地域の 30 市町村及び 7 団体の一部事務組合では、ごみ処理の相互支援協力の必要な事態が 発生した場合に備え、「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」を締結し、広域的な処理の支援 体制を確保している。

組合がこの協定に基づき広域処理を実施しようとする場合、事業者はその処理・処分に協力しなければならない。この場合、委託費の追加費用は事業契約書の定めるところとする。

### 18 事故発生時の対応

事業者は、万一の事故発生時には、組合・関係官公庁へ速やかに連絡すると共に、焼却施設内の来場者、組合職員及び事業者の安全を第一に考え、行動すること。また、安全が確認された後は原因の究明と施設の復旧に努め、組合とともに周辺住民等への説明会への参加等、必要な措置を講じること

### 第3節 運営・維持管理業務条件

1 運営・維持管理業務

運営・維持管理業務は、以下に基づいて行うものとする。

- ① 要求水準書
- ② 事業契約書
- ③ その他組合の指示するもの

### 2 要求水準書記載事項

1) 記載事項の補足等

要求水準書で記載された事項は、本事業における基本的部分について定めたものであり、要求水準書に記載されていない事項であっても、焼却施設を運営・維持管理するために必要と思われるものについては、組合の確認を得てすべて事業者の責任及び負担にて実施しなければならない。

# 2) 参考図書の取り扱い

要求水準書の図・表等で「(参考)」と記載されたものは、一例を示すものである。事業者は「(参考)」と記載されたものについて、焼却施設を運営・維持管理するために当然必要と思われるものについては、全て事業者の責任及び負担において補足・完備させなければならない。

# 第2章 運営·維持管理体制

### 第1節 組織計画

### 1 全体組織計画

事業者は、本事業にかかる組織として、以下により適切な組織構成を計画すること。

- 1)事業者は、本事業の現場総括責任者として廃棄物処理施設技術管理者(ごみ処理施設技術管理者)の資格を有する者を選任すること。
- 2) 事業者は、焼却施設の運転責任者として、廃棄物処理施設技術管理者の資格及び1年以上の実 務経験を有する者を専任で配置すること。
- 3) 事業者は、本事業を行うにあたり必要な有資格者を配置すること。

表2.1.1 本事業の推進にあたって必要な資格

資格の種類
廃棄物処理施設技術管理者(ごみ処理施設技術管理者)
第2種ボイラー・タービン主任技術者
第2種電気主任技術者
1級ボイラ技士
安全管理者
第1種衛生管理者
危険物取扱主任者(乙類第4種)
クレーン運転士(吊り上げ荷重5 t以上)
アーク溶接特別教育修了者
ガス溶接特別教育修了者
廃棄物焼却設備業務(ダイオキシン類)特別教育修了者
東京都一種公害防止管理者(※)

<sup>※</sup> 事業開始後11年目(予定)より事業終了まで配置で可とする。

### 第2節 労働安全衛生·作業環境管理

事業者は、本事業にかかる労働安全衛生・作業環境管理として、以下により計画すること。

- 1) 事業者は、労働安全衛生法等関係法令に基づき、従業者の安全と健康を確保するために、本事業に必要な管理者、組織等を整備すること。
- 2) 事業者は、整備した安全衛生管理体制について組合に報告すること。なお、体制を変更した場合は速やかに組合に報告すること。
- 3) 事業者は、作業に必要な保護具、測定器等を整備し、従事者に使用させること。また、保護具、測定器等は定期的に点検し、安全な状態が保てるようにしておくこと。
- 4) 事業者は、「廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」(基発第 0110 第 1 号、平成 26 年 1 月 10 日) に基づきダイオキシン類対策委員会を設置し、委員会において策定される「ダイオキシン類へのばく露防止推進計画」を遵守すること。

- 5) 事業者は、「廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」(平成 26 年 1 月 10 日厚生労働省通達基発第 0110 第 1 号) に基づき、従事者のダイオキシン類ばく露防止対策措置を行うこと。
- 6) 事業者は、ダイオキシン類へのばく露防止上必要な管理者、組織等を整備すること。整備した体制について組合に報告すること。なお、体制を変更した場合は、速やかに組合に報告すること。
- 7) 事業者は、日常点検、定期点検等の実施において、労働安全・衛生上、問題がある場合は、組合と協議の上、施設の改善を行うこと。
- 8) 事業者は、労働安全衛生法等関係法令に基づき、従業者に対して健康診断を実施し、その結果及び結果に対する対策を行うこと。
- 9) 事業者は、従業者に対して、定期的に安全衛生教育を行うこと。
- 10) 事業者は、安全確保に必要な訓練を定期的に行うこと。訓練の開催については、事前に組合に連絡し、組合の参加について協議すること。
- 11) 事業者は、場内の整理整頓及び清潔の保持に努め、施設の作業環境を常に良好に保つこと。

# 第3節 防火管理

- 1) 事業者は、消防法等関係法令に基づき、対象施設の防火上必要な組織等を整備すること。
- 2) 事業者は、整備した防火管理体制について組合に報告すること。なお、体制を変更した場合は速やかに組合に報告すること。
- 3) 事業者は、日常点検、定期点検等の実施において、防火管理上、問題がある場合は、組合と協議の上、施設の改善を行うこと。
- 4) 特に、焼却施設のごみピット・コンベヤについては、入念な防火管理を行うこと。

# 第4節 連絡体制

事業者は、平常時及び緊急時の組合等への連絡体制を整備し、報告すること。なお、体制を変更した場合は速やかに組合に報告すること。

# 第5節 施設警備·防犯体制

- 1) 事業者は、場内の警備体制を整備すること。
- 2) 事業者は、整備した施設警備・防犯体制について組合に報告すること。なお、体制を変更した場合は速やかに組合に報告すること。
- 3) 事業者は、場内警備を実施すること。
- 4) 事業者は、施設の夜間・休日の施錠管理を実施すること。

# 第6節 見学者対応

焼却施設の見学を希望する者の対応は組合が行うこととし、事業者は組合から協力要請があった場合は組合職員の指示に従い対処すること。

### 第7節 住民対応

- 1) 住民対応は組合が行うものとする。
- 2) 事業者は、常に適切な運営・維持管理を行うことにより、周辺の住民の理解、協力を得ること。 なお、住民等による意見等があった場合、即時組合に報告すること。 事業者は組合から協力要請 があった場合は組合職員の指示に従い、対処すること。

# 第8節 帳票類の管理

事業者は、各施設の管理運営に必要な帳票類を整備し管理運用する。なお、帳票リスト及び様式については、組合との協議の上、決定する。

表 2.8.1 帳票類の種類 (参考)

No	名称	No	名称
1	職員配置表	8	定期整備報告書
2	勤務体制編成表	9	設備(機器)台帳
3	運転日報・月報・年報	10	検査台帳
4	機器運転・作業日誌	11	給油台帳
5	受電変電設備日誌	12	備品・予備品台帳
6	試験検査日誌	13	その他必要な書類
7	ごみ処理施設維持管理状況		
'	報告		

### 第9節 地元雇用

事業者は、焼却施設の管理運営に当たっては、組合構成市での雇用促進に配慮すること。

# 第3章 搬入管理業務

### 第1節 受付時間

- 1)検量棟における受付時間は、原則、月曜日から金曜日の平日8:30~17:15(昼休憩時間を含む。)とする。なお、月曜日から金曜日については関係市が搬入する場合は祝日も受付対象とする。
- 2) 年末年始(12月31日~1月3日)は受付時間外とする。なお、関係3市の状況に応じて臨時受付業務を行うものとする。

# 第2節 搬入管理

- 1) 組合は、受付管理業務、計量業務、搬入車両の案内・指示・誘導業務、料金徴収代行業務を行う。
- 2)組合は、本施設のプラットホームにおいて、監視員をそれぞれ配置し、車両の誘導、プラットホームの監視を行う。
- 3) 事業者は、本施設に搬入される廃棄物について、処理不適物の混入防止に努める。
- 4) 事業者は、善良なる管理者として、処理不適物を処理しないように対応すること。処理不適物を発見した場合、組合に報告し、必要に応じて保管・貯留あるいは組合へ引き渡すこと。
- 5) 事業者は組合に搬入された可燃ごみのごみ質分析調査を表 3.2.1 に基づき実施すること。調査回数は年間 4 回(5 月、8 月、11 月、2 月)とし各回 1 ケ所からサンプリングすること。
- 6) 事業者は組合に搬入された公車及び私車(事業系)の可燃ごみさらに不燃・粗大ごみ処理施設より搬入された軟質系プラスチック中に混入している不燃物類、有害物等の実態調査を実施すること。調査回数は年間4回(7月、10月、12月、2月)とし各回、指定する原則5日間とし1回の調査期間中に公車3台、私車3台、軟質プラスチック2台の延べ8台を対象とすること。
- 7) 事業者は組合に搬入された私車(事業系)の可燃ごみに混入している不燃物類、有害物等の実態調査を実施すること。調査回数は4月より3月まで毎月1回、計年12回とし、各回、指定する1日(9時より16時30分)で作業を実施すること。

	12 0	. 2.1	<b>C</b> U 沙贝/又	
	分析	項目	頻度	備考
ごみの性状	見掛け 容積当 三成分			「一般廃棄 物処理事業 に対する指
低位発熱量(氢	実測値・	計算値)		導に伴う留
灰分の性状(語	事分子・	その他・不燃分)		意事項につ
ごみの物理 組成(乾 ベース ご と)	可燃分	紙類 厨芥類 布類 草木類 プラスチック類 (硬質系・軟質 系) ※ ごみ・皮類 その他類	4回/年	いて」(昭 和52年11月 4日環整95 号)、日本 工業規格等
	不燃分	<u>金属類</u> ガラス類 セトモノ・石・砂類		

表 3.2.1 ごみ質分析項目及び頻度

※ プラスチック類の中で塩素系の含有率も計ること

# 第4章 運転管理業務

# 第1節 焼却施設に係る運転管理業務

### 1 焼却施設の運転

事業者は、焼却施設の各設備を適切に運転し、焼却施設の基本性能(第 1 章 第 2 節 12 参照)を発揮し、関係法令、焼却施設の公害防止基準等を遵守し、搬入される廃棄物を適正に処理するとともに、経済的運転に努めること。

# 2 運転条件

事業者は以下に示す運転条件に基づき、施設を適切に運転管理すること。

### 3 年度別計画搬入量

年度別計画搬入量は、表 4.1.1 に示すとおりとする。

表 4.1.1 年度別計画搬入量(t/年)

		1.1.1   /文//3		1 /	
年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
可燃ごみ	48, 406	63, 928	63, 433	62, 770	62, 121
年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度	平成 38 年度
可燃ごみ	61, 472	60, 823	60, 174	59, 525	58, 876
年度	平成 39 年度	平成 40 年度	平成 41 年度	平成 42 年度	平成 43 年度
可燃ごみ	58, 227	57, 578	56, 929	56, 280	55, 631
				平成 44 年度	15 年間計
				13, 746	899, 919

事業者は表 4.1.1 に示す搬入量の中、平成 33 年度までは 50%、平成 34~39 年度までは 75%、 平成 40 年度以降は 100%処理すること。 残りは組合が処理するものとする。

# 4 ごみ組成

本施設に搬入されるごみのごみ組成の実績を表 4.1.2 に示す。

表 4.1.2 ごみ組成の実績

区分    単位			出任		平	成23年	变			平	成24年	<b></b>	
区分			里1仏	5/27	8/5	11/21	2/3	平均	5/21	8/8	11/21	2/1	平均
		水 分	%	47.3	44. 7	47.0	44. 1	45.8	57. 7	48. 4	41. 3	46.0	48. 4
可	燃ごみ	可燃分	%	47.2	48.2	45.5	49. 9	47. 7	37. 7	45. 5	50. 1	47. 3	45. 2
] =	E成分	灰 分	%	5. 5	7. 1	7. 5	6.0	6. 5	4.6	6. 1	8. 6	6. 7	6. 5
		合 計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
可炒	然ごみ低位	立発熱量(実測値)	kcal/kg	2,070	2, 290	2, 130	2, 250	2, 185	1,560	2, 040	2, 400	2, 130	2, 033
可		紙 類	%	41.4	45.0	31.4	42. 3	40.0	34.8	41.3	34.8	42.9	38. 4
燃		プラスチック類	%	14.3	17.7	24. 4	19.8	19. 1	19.8	18.8	23. 1	19. 2	20. 2
ごっ	可做八	厨 芥	%	6. 1	7. 5	11.3	12. 4	9. 3	14. 9	10.0	8.0	11.5	11. 1
み物	可燃分	木・草	%	16.9	4.0	14.6	6.6	10.5	15. 3	10.7	12. 1	5. 7	11.0
理		繊維屑	%	14.2	15.4	9. 7	12. 3	12. 9	10.0	14. 7	13. 5	10.7	12. 2
組成		その他の可燃物	%	4.0	5.2	3.6	4.3	4. 3	1.2	2. 9	4.3	5.0	3. 4
		金属類	%	0.6	4.2	3.4	1. 4	2. 4	3. 7	1. 3	2. 5	1.0	2. 1
乾	不燃分	石・ガラス類	%	2.5	1.0	1.6	0.9	1. 5	0.3	0.3	1. 7	4.0	1. 6
		合 計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

	区分     単位			平成25年度				平成26年度					
	区分		里1仏	5/15	8/2	11/14	2/6	平均	5/14	8/5	11/27	2/2	平均
		水 分	%	41.8	27.8	54. 7	40.8	41. 3	42.8	49. 6	30. 5	49.0	43.0
可	燃ごみ	可燃分	%	52. 3	63. 2	40.2	52. 6	52. 1	48.7	45. 3	64. 5	45. 5	51.0
] =	E成分	灰 分	%	5. 9	9.0	5. 1	6.6	6.6	8. 5	5. 1	5. 0	5. 5	6.0
		合 計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
可炒	然ごみ低位	立発熱量(実測値)	kcal/kg	2, 340	4, 100	1,770	2, 450	2, 665	2, 290	2, 140	3, 580	1,890	2, 475
可		紙 類	%	48.7	22.6	38.6	50.8	40. 2	44.5	44. 6	43. 1	52.6	46. 2
燃		プラスチック類	%	16.7	49.2	19. 5	21. 7	26.8	22.8	22. 1	22. 6	15. 6	20.8
~ 7.	可燃分	厨 芥	%	7.0	2.4	5.0	11.8	6.6	6.3	9. 6	4.0	15. 7	8. 9
み物	可然为	木・草	%	12.7	4. 2	14. 1	3. 7	8. 7	9.2	13. 3	8. 1	5. 1	8. 9
理		繊維屑	%	7. 1	8.1	8. 7	3. 9	7. 0	4. 5	8. 1	14. 6	3. 9	7.8
組成		その他の可燃物	%	4.6	10.5	12.4	6. 2	8. 4	10.6	1.8	6. 3	6. 2	6.2
	<b>元</b> 姆八	金属類	%	3. 2	2.8	0.9	0.8	1. 9	2. 1	0.5	1. 2	0.9	1. 2
乾	不燃分	石・ガラス類	%	0.0	0.2	0.8	1. 1	0. 5	0.0	0.0	0. 1	0.0	0.0
		合 計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

# 5 年間運転日数

焼却施設の年間運転日数は、搬入される廃棄物を滞りなく処理することを条件とすること。

# 6 運転時間

焼却施設の運転時間は24h/日とする。

# 7 運転管理業務内容

運転管理を行う範囲は以下のとおりとする。

### 1) 機械設備

- ・給じん設備
- 焼却炉本体設備
- 飛灰処理設備
- 汚水処理設備
- ・通風・煙突設備
- ・集じん設備
- 窒素酸化物除去設備
- ボイラ設備
- 発電設備
- 余熱利用設備
- 蒸気復水設備
- 純水設備
- 給水設備
- ・その他設備
- 2) 電気設備
- 特高受変電設備
- 受変電設備
- 3) 計装・自動制御設備
- ・制御電源及び計装用電源設備
- 負荷設備
- 計測設備
- 計装自動制御設備
- 4) 土木建築設備
- 建築本体設備
- 建築機械設備
- 建築電気設備
- 空調設備
- 昇降機設備
- 監視制御設備
- 幹線設備
- 動力制御盤
- ・電灯・コンセント設備
- 放送設備
- 自動火災報知機
- 電話設備

別紙5に機械設備、電気・計装設備の主仕様を示す。

### 8 施設動線

- 1) 場内の動線については、別途組合の指示する動線を遵守すること。
- 2) 緊急時の動線については組合と協議すること。

# 9 計画ごみ質

第1章 第2節14参照

### 10 公害防止基準

第1章 第2節15参照

#### 11 用役条件

第1章 第2節16参照

### 12 車両の仕様

運転管理・維持管理に必要な車両は、本施設の運転管理・維持管理に支障のない車両を選定する こと。

#### 13 搬入物の性状分析

事業者は、焼却施設に搬入された廃棄物の性状について、定期的に4回/年、分析・管理を行う こと。

# 14 適正処理

事業者は、関係法令、焼却施設の公害防止基準等を遵守し、搬入された廃棄物を適正に処理する こと。特にダイオキシン類の排出抑制に努めた処理を行うこと。

### 15 適正運転

事業者は、焼却施設の運転が、関係法令、公害防止基準等を満たしていることを自らが行う検査 (精密機能検査及び自主検査)によって確認すること。

# 16 搬出物の性状分析

- 1) 事業者は、焼却施設より搬出する焼却主灰、焼却飛灰の量について計量・管理を行うこと。
- 2) 事業者は、焼却施設より搬出する焼却主灰、焼却飛灰の性状について定期的に分析・管理を行うこと。

### 17 特定部品の調達

事業者は、本施設の運営維持管理業務の実施において、「別紙6 特定部品のリスト」に示す本施設の施工企業の製品の調達に際し、組合が施工企業と締結する「クリーンポート長期包括運営管理事業に伴う特定部品の供給等に関する協定書」に基づき施工企業の協力により合理的な条件で調達

することができる。

このため、事業者は特定部品の定期点検、部品等の調達、補修について、施工企業からの調達を行うものとする。

なお、事業者は施工企業以外から特定部品を調達する必要がある場合、その理由及び本施設の機能を維持できることを組合に説明するとともに、当該調達先、調達時期等につき報告し承諾を得ること。また、その場合、特定部品の調達に関わる一切の責任を事業者が負うものとする。

### 18 運転管理体制

- 1) 事業者は、焼却施設を適切に運転するために、運転管理体制を整備すること。
- 2) 事業者は、整備した運転管理体制について組合に報告すること。なお、体制を変更した場合は速やかに組合に報告すること。

# 19 運転計画の作成

1)事業者は、年度別の計画処理量に基づく施設の点検、補修等を考慮した年間運転計画を毎年度作成し、組合へ報告し、承諾を得ること。

なお、年度別の計画処理量については、第4章第1節3項に計画値を示すが、直近の搬入実績値を考慮すること。

また、本事業の全面委託となる平成39年度までは、年間運転計画に関して組合と十分調整し作成すること。

- 2) 事業者は、年間運転計画に基づき、月間運転計画を作成し、組合へ報告すること。
- 3) 事業者は、作成した年間運転計画及び月間運転計画に変更が生じる場合、組合へ報告し、計画の変更をしなければならない。

#### 20 運転管理マニュアル

- 1) 事業者は、焼却施設の運転操作に関して、運転管理上の目安としての自主管理値を設定すると ともに、操作手順及び方法について取扱説明書に基づいて基準化した運転管理マニュアルを作成 し、組合へ報告すること。また、運転管理マニュアルに基づいた運転を実施しなければならない。
- 2) 事業者は、策定した運転管理マニュアルについて、施設の運転にあわせて随時改善していかなければならない。

### 21 運転管理記録の作成

事業者は、各設備機器の運転データ、電気・上水等の用役データを記録するとともに、分析値、 補修等の内容を含んだ運転日誌、日報、月報、年報等を作成すること。

# 第5章 維持管理業務(点検·整備、補修、大規模修繕)

### 第1節 一般事項

### 1 申請手続き

工事内容により事業者において関係官庁等へ許可申請、報告、届出等について、事業者は必要な 手続きを遅滞なく行い、組合に報告すること。

また、工事範囲において組合が関係官庁等へ許可申請、報告、届出等を必要とする場合、事業者は書類作成等について協力し、その経費(印紙代等を含む)等を負担すること。

なお、関係官公庁等から指示があった場合は遅滞なく組合に報告し、指示を受け対処すること。

### 2 夜間、休日作業

工事の施行時間は、原則として、午前8時30分から午後5時までとする。(柳泉園組合の休日を定める条例に規定する休日を除く。)

なお、施工の都合上必要なときは、事前に組合の承諾を得て、施行時間を変更し、又は休日に作業することができる。(ただし、緊急の場合はこの限りではない。)

#### 3 工事用機械器具等

事業者は、組合の所有する現場の機械器具等について、この要求水準書で特記がない限り使用してはならない。ただし、組合が工事施工上やむを得ないと認めた場合は、組合の指示によりこれらの機械器具等を使用することができる。

### 4 仮設電力及び用水

現場における作業及び検査に必要な電力及び用水等については、支障のない範囲内で支給を行う ものとする。なお、仮設の電力及び用水にかかる費用は事業者が負担するものとする。

- 1) 詰所、材料置場及び機械の設置場所を工場敷地内に設けようとする場合は、組合の指示に従うこと。
- 2) 事業者は、組合が所管する電気設備、給排水などの設備について、使用許可を受けて工事期間中に限り利用できるものとする。

### 5 工事現場の管理

- 1) 工事に係わる現場代理人については、管理運営に必要な知識と経験を有するものでなければならない。
- 2) 現場代理人は、法規等に従い遺漏なく現場の管理を行わなければならない。
- 3) 現場代理人は、工事現場で工事担当技術者、下請者等が工事関係者であることを着衣、記章等で明瞭に識別できるよう処置しなければならない。
- 4) 現場代理人は、工事現場において、常に清掃および材料、工具その他の整理を行わなければならない。また火災、盗難その他災害事故の予防対策について万全を期さねばならない。

### 6 発生材

事業者は、組合の立会いの上で発生材の受渡しを行い、組合の指定する場所へ運搬しなければならない。工事から発生する廃棄物の処分は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理し、不法投棄等第三者に損害を与えるような行為のないように、事業者の責任において行うこと。

なお、場外処分を行った場合には、必要に応じて搬出先の受入証明書並びに廃棄物処理許可証の 写しを提出すること。

# 7 検査、点検及び分析、試験

- 1)組合は、工事施工等に際し、工事等に使用する機械器具材料のうち特に必要と認めたもの製作工場等において、立会い検査及び試験を行う。事業者は、その試験成績表を提出すること。この各検査及び試験に必要な一切の費用は事業者の負担とする。
- 2) 工事範囲と定められた箇所で、組合が施工後容易に点検できない箇所は、その施行過程において組合の立会いを求めなければならない。ただし、やむを得ない場合は、写真等をもって代行することができる。
- 3) 分析、試験は事業者の責任で行うものとする。ただし対象供試体の採取、取り外し及び工事場所での試験には、組合の立会いを求めなければならない。

### 8 材料選定及び仕様

- 1) 原則として、使用する材料については、各々の用途に適合する欠点のない製品で、かつすべて 新品とし、日本工業規格(JIS)、日本農林規格(JAS)、日本電気学会電気規格調査会標準 規格(JEC)、日本電気工業会標準規格(JEM)、日本下水道協会規格(JWWA)等が定め られているものについては、これらの規格品を使用するものとする。
- 2) 保温材を取り外す工程が含まれる場合、復旧は本仕様書に特記のないかぎり、取り外す前と同仕様とすること。
- 3) 塗装工程が含まれる場合、仕上げの程度、色合い等はあらかじめ見本を提出し、事前に組合と協議を行うこと。

# 9 材料保管

- 1) 事業者は、工事用材料を事業者の責任において保管しなければならない。
- 2) 組合の検査に合格後の材料であっても、保管中に損傷その他欠陥を生じ、使用に不適当と認められるものは、組合の指示に従い交換し、再検査を受けなければならない。
- 3) 検査後の材料は、現場での取扱いに十分な注意を払い、不用意に屋外に放置したり、足場代わりに用いたりしてはならない。また、発錆、ペンキ、モルタル付着などで材料を損じることのないよう、カバーによる保護など必要な措置を講じなければならない。

# 第2節 安全管理

事業者は、「労働安全衛生法」、「請負事業者等ダイオキシン類ばく露防止対策協議会設置要綱」その他関連法規等の定めるところにより、安全管理に必要な措置を講じ、労働災害防止に努めなければならない。

なお、これに伴う費用については事業者の負担とする。

### 1 安全対策

- 1)作業に適した衣服を着用し、特別な場合のほか、保安帽、手袋は必ず着用し、安全作業に徹すること。
- 2) 炉内清掃等に従事する作業員は、必ず上記のほかに防じんマスク、防じんメガネを着用すること。
- 3) 火気を使用する場合、あらかじめ「防火管理に係わる作業計画書」を甲に提出し、承認をとること。また、実際の火気の使用にあたっては、周囲の状況を良く把握し、火気飛散による災害の防止に注意すること。
- 4) 工事に使用するために危険物を持ち込む場合は、あらかじめ甲と搬入方法、貯蔵場所、貯蔵方法を協議しなければならない。
- 5) 低所であっても、作業中に転落の恐れあるときは、確実な足場組をし、安全ベルト等にて転落 防止に対処し、無理な作業は絶対にさけること。
- 6) 高所作業に際しては、常に足場の確保に注意し、如何なる転落事故に対しても即対処できる防護策を用意すること。荷上用に用いるウインチ又はゴンドラ等は十分に点検整備されたものを使用しなければならない。荷上時の玉掛けは確実にし、荷上途中からの機材落下等のないようにすること。また、作業に際しては、危険防止上適正な防具、工具、機材を使用し、なおかつ、下部区域の状況を把握し、機材の落下、溶接火花の落下に注意しながら作業すること。
- 7) 足場用機材及び架設方法は、施工する作業に適した確実なものでなければならない。
- 8) 作業目的に合わせ、適正な機械、工具を使用すること。不備な工具による無理な作業は禁止する。
- 9) 電気溶接器には、必ず感電防止器を取り付けて使用すること。ガス切断・溶接器を使用する際は、各ボンベの取扱いは丁寧にし、減圧弁、ホース等は正しい状態で使用すること。故障のある機材の使用は認めない。また、作業終了後及び休止時間中は必ず各ボンベ、元バルブを閉止すること。
- 10) 電動工具、投光器、電気機械器具は、充分に整備されたものを使用すること。電源は甲が指定する電源を使用し、勝手な場所に接続しないこと。また、小容量の電気機器にも、必ず漏電防止器を使用すること。
- 11) タンク内部、地下室、トレンチ及びごみピット等空気の流入の少ない場所、又はガス発生のおそれがある場所で作業する際は、酸素欠乏症防止規則を遵守して作業を行うこと。

### 2 事故報告

工事施工中に事故があった時には、速やかに適正な措置を講ずるとともに、事故発生の原因及び 経過、事故による被害の内容等を組合に速やかに報告しなければならない。

### 第3節 焼却施設に係る維持管理業務

1 備品・物品・用役の調達計画

事業者は、本施設の年間運転計画及び月間運転計画に基づき、経済性を考慮した主要な備品、物品、薬品及び燃料等の用役の調達計画(年間調達計画)を作成し、組合へ報告すること。

# 2 備品・物品・用役の管理

事業者は、調達計画に基づき調達した備品、物品、薬品及び燃料等の用役を常に安全に保管し、 必要の際には支障なく使用できるように適切に管理すること。

### 3 施設の機能維持

- 1) 事業者は、本施設の基本性能(第1章 第2節12参照)を事業期間にわたり維持すること。
- 2) 事業者は、本施設の公害防止基準(第1章 第2節15参照) を事業期間にわたり維持すること。

# 4 維持管理計画の作成

- 1)事業者は、焼却施設の年間運転計画及び月間運転計画に基づき事業期間を通じた維持管理計画を作成し、組合へ報告し承諾を得ること。
- 2) 事業者は、事業期間を通じた維持管理計画に基づき、各年度毎の維持管理計画を作成し組合に報告すること。
- 3) 事業者は、作成した各年度毎の維持管理計画に変更が生じる場合、組合に報告し、承諾を得ること。

# 5 日常点検・定期点検

- 1) 事業者は、設備の簡易な点検及び保全を効率的に実施できるように日常点検・定期点検計画書を策定すること。
- 2) 日常点検・定期点検については、点検の内容(機器の項目、頻度等(表 5.3.1 (参考))) を記載した日常点検・定期点検計画書(毎年度のもの、事業期間を通じたもの)を作成し、組合へ報告すること。
- 3) 日常点検・定期点検は、運転の効率性や安全性を考慮し計画すること。
- 4) 日常点検・定期点検は毎年度提出する日常点検・定期点検計画書に基づいて実施すること。
- 5) 日常点検・定期点検で異常が発生した場合や故障が発生した場合等は、事業者は臨時に点検を 行い必要な整備等を実施すること。

### 6 法定点検

- 1) 事業者は、法定点検を効率的に実施できるように法定点検計画書を策定すること。
- 2) 法定点検計画については、内容(機器の項目、頻度等(表 5.3.2)) を記載した法定点検計画書 (毎年度のもの、事業期間を通じたもの)を作成し、組合へ報告すること。
- 3) 法定点検は、運転の効率性や安全性を考慮し計画すること。
- 4) 法定点検は毎年度提出する法定点検計画書に基づいて実施すること。

- 5) 特定機関等による受検が必要な設備は計画的に検査までに必要な補修等の整備を実施すること。
- 6) 事業者は平成 39 年度までに電気事業法の規定による保安規定を制定し、平成 40 年度からの運転の全面委託の移行に併せて保安規定の届出等を行うこと。

# 7 定期点検整備

- 1)事業者は、本施設の基本性能を維持するために毎年、定期的に一定期間にわたり設備を停止させて行う定期点検整備を効率的に実施できるように定期点検整備計画書を策定すること。
- 2) 定期点検整備については、設備・機器の耐久度と消耗状況を把握した上で 内容(機器の項目、頻度等)を記載した定期点検整備計画書(毎年度のもの、事業期間を通じたもの)を作成し、組合へ報告すること。
- 3) 定期点検整備計画書(毎年度のもの、事業期間を通じたもの)は、毎年実施する点検整備結果に基づき更新し、組合へ報告すること。
- 4) 定期点検整備は、運転の効率性や安全性を考慮し計画し毎年度提出する計画書に基づいて実施すること。
- 5) 定期点検整備の整備の内容は以下のとおりである。
  - (1) 基本性能を維持するために定期的に年1回、焼却炉を停止させ行う修理、部品交換、分解整備、測定、及び調整
  - (2) 法定点検の受検前に実施する修理
  - (3) 定期点検に基づいて実施する分解整備 (オーバーホール)
  - (4)機器・設備が故障した場合の修理、調整
  - (5) 再発防止のための修理、調整
- 6)整備は、点検結果に基づき経済性を考慮した内容及び方法とすること。 別紙7に、例として平成26年度の全1号炉の定期点検整備の内容を示す。

表 5.3.1 日常点検・定期点検項目(参考)

	項目	点検内容	作業内容
1		機械設備、建築機械設備、建築電 気設備に係る点検清掃等の簡易な 点検及び保全作業により使用設備 の維持管理を行う。	・作業開始前、運転中、作業終了 時の機器等の点検 ・清掃 ・機器の増し締め、調整 ・消耗品の交換 ・潤滑油の給油 ・樹脂類の交換
	日常点検	建屋の点検、清掃を行い常に良好 な環境を保つ。	・建屋の外壁、屋根の防水 ・見学者の立ち入る場所等の清掃
		外構施設の維持管理、点検を行い 常に良好な環境を保つ	・構内道路、駐車場及びトイレの 点検、清掃
		必要な箇所の除雪を行い、安全を 確保する。	・点検・除雪作業
2	定期点検	機器の故障等を未然に防止するため、定期的に点検を行う。(週例、月例、3月、6月、1年点検等)	<ul><li>・巡回点検</li><li>・日常保全のチェック</li></ul>

表 5.3.2 法定点検項目(参考)

No	項目	法令・通知等	備考
1	一般廃棄物処理施設	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 維持管理 同法施行規則 精密機能検査	3年に1回以上
2	検量機	計量法       定期検査	2年に1回
		労働安全衛生法 検査証の有効期間等	
3	クレーン	クレーン等安全規則 年次点検 月次点検 性能検査	1年以内ごとに1回 1月以内ごとに1回 2年以内ごとに1回
4	発電用ボイラ	電気事業法定期検査同法施行規則ボイラ	保安規程 2年に1回
5	タービン	電気事業法 定期検査 同法施行規則 タービン	保安規程 4年に1回
6	第1種圧力容器	労働安全衛生法 検査証の有効期間等 ボイラ及び圧力容器安全規則 定期自主点検 性能試験	1月以内ごとに1回 1年以内ごとに1回
7	小型ボイラ 小型圧力容器	ボイラ及び圧力容器安全規則 定期自主点検	1年以内ごとに1回
8	自家用電気工作物(受配 電設備他)	電気事業法 年次点検 月次点検	1年ごとに1回 1月ごとに1回
9	その他必要な項目	関係法令	関係法令の規程

<sup>※</sup> 事業者は平成39年度までに電気事業法に基づく保安規程を整備しておくこと。

# 8 大規模補修

- 1)事業者は、定期点検整備とは別に今後、設備性能の低下が予想される設備・機器等の更新あるいは一部を更新する大規模補修を事業開始より概ね10年で実施すること。(大規模補修の対象の機器を表5.3.3に示す。)
- 2) 事業者は、受注後直ちに機器の耐用年数等を考慮した上で補修費用を極力平準化した大規模補修計画(毎年度のもの、事業期間を通じたもの)を作成し、組合へ報告すること。
- 3) 事業者は、大規模補修計画の対象となる機器について、機器の耐久度・消耗状況を踏まえて、大規模補修計画を作成すること。
- 4) 事業期間を通じた大規模補修計画は、定期点検整備の結果に基づき更新し、組合へ報告すること。
- 5) 大規模補修に際しては、大規模補修工事施工計画書を作成し組合の承諾を得ること。

# 表 5.3.3 大規模補修の対象設備

	-n. /#-	W B /IP		11 124 64		更新範囲		対象	範囲	
分類	設備	数量/炉		仕様等	全更新/部	分更新	1 号炉	2号炉	3号炉	共通系
給じん設備	ごみクレーン	(2基/3炉)	屋内用ポリップ付き天井走行クレーン	吊上げ荷重:9.8TON、定格荷重:5.5TON、切取容量:10㎡、スパン25.8m、揚程:30.7m、走行距離:約37m	部分更新	油圧式ポリップバケット(予備除く2台)				0
[+++n=n,/++	火格子	1式	ゾーン1及びゾーン2の火格子、サ イドプレート、ウエアプレート	特殊耐熱鋳鋼品	部分更新	ゾーン1、ゾーン2それぞれで火格   子42個(毎年)、サイドプレート12   個・ウエアプレート12個(1回/5年)   の更新	0	0	0	
焼却設備	耐火物	1式	レンガ積方式	耐火煉瓦、プラスチック耐火物、耐火断熱煉瓦、断 熱キャスタブル、断熱ボード	部分更新	第1放射室足場組みによりパッチング 補修・乾燥帯天井&乾燥帯側壁煉瓦 更新、第1放射室全面内替、燃焼帯側 壁&天井部 の順に補修・更新	0	0	0	
燃焼ガス冷却設 備		1基	過熱器付自然循環式水管ボイラ	常用使用蒸気圧力: 2.65MPa、常用使用蒸気温度: 296℃	部分更新	ボイラー水管/第1放射室側室及び天 井メンブレムパネル の更新	0	0	0	
	減温塔	1基	鋼板製水噴霧式	耐硫酸露点腐食鋼 6mm	全更新		0	0	0	<u> </u>
	ろ過式集じん器	1基	バグフィルター	寸法:7,860L×2,600W×1,220H、ろ過面積:1080㎡	部分更新	鉄皮、リテーナー、ろ布の更新・交 換	0	0	0	
	反応助剤定量供給装置	1基	テーブルフィーダー式	切出し能力17.4kg/h、本体:SS400	全更新		0	0	0	
批ガラ加田乳生	活性炭定量供給装置	1基	テーブルフィーダー式	切出し能力4.7kg/h、本体: SS400	全更新		0	<u> </u>		+
班ルク処理設備	<u>消石灰定量供給装置</u> ガス再加熱器	1 <u>基</u> 1基	デーブルフィーダー式 蒸気加熱式ベアチューブ型	切出し能力173.8kg/h、本体: SS400 容量: 712,347kcal/hケーシングSS400、伝熱管:	<u>全更新</u> 全更新		0	0	0	
	煙道	1式	   鋼板製	STB340SC 4.5mm 鋼板		ボイラ〜減温塔間、減温塔〜バグ	0	0	0	+
	脱硝触媒	1式	触媒(酸化チタン)	固定床低温活性形	如 公 更 新	フィルター間の更新 ガス再加熱器、触媒の更新・交換	$\cap$	$\overline{}$		+
余熱利用設備	蒸気タービン	(1基/3炉)	復水タービン	定格出力: 6,000kw(発電機端出力)		3段ノズル、4段ノズルの更新				
24.711(147)4 194 1111	二次燃焼用蒸気式空気予熱器	1基	フィンチューブ型	容量: 289,000kca1/hケーシングSS400、伝熱管: STB340ST	全更新	- 500	0	0	0	
通風設備	押込用蒸気式空気予熱器	1基	フィンチューブ型	容量:712,347kca1/hケーシングSS400、伝熱管: STB340ST	全更新		0	0	0	
	オメガクラッチ	1基	油圧式	回転数制御範囲:30~100%	部分更新	オーバーホール	0	0	0	
	落下灰水槽	1基	鋼板製水槽チェーンスクレーパ方式	本体: SS400、底板:12mm、側板:6mm	全更新					
	灰押出機	1基	油圧押出し方式	排出能力:2Ton/h、寸法:2,000×7,257×1,691D、動力油圧、装置本体:SS400、搬送部:SS400	全更新		0	0	0	
	灰コンベヤ・シュート	1台	スクレーパコンベヤ	寸法:1,000W×11,885L×7,186H、本体:SS400	全更新		0	0	0	<u> </u>
	灰クレーン	(1基/3炉)	クラブバケット付き天井走行クレー ン	吊上げ荷重:13TON、定格荷重:7.0TON、切取容量:3.5㎡、スパン3.9m、揚程:15.25m、走行距離:約44m	部分更新	走行レールを除くクレーンガー ター、サドル、トロリー、油圧バケット、及び横行給電ケーブル等の 更新				0
	ボイラ下ダストコンベヤNo1	1基	フライトコンベヤダブルチェーン	輸送能力: 0.65Ton/h、本体: SS400	全更新	25.01	0	0	0	
	ボイラ下ダストコンベヤNo2	1基	フライトコンベヤダブルチェーン	輸送能力: 0.65Ton/h、本体: SS400	全更新		0	$\circ$	0	
	ダストコンベヤNo1A	(1基/3炉)	フライト式コンベヤ	輸送能力:3Ton/h、機長:37,500L、傾斜90°	全更新					0
灰処理設備	ダストコンベヤNo1B	(1基/3炉)	フライト式コンベヤ	輸送能力:3Ton/h、機長:37,500L、傾斜90°	全更新					0
	飛灰定量供給機No1		テーブルフィーダー式	能力:1.1Ton/h、本体:SS400	全更新					
	飛灰定量供給機No2 飛灰混練機No1	(1台/3炉) (1台/3炉)	テーブルフィーダー式 二軸混練式	能力:1.1Ton/h、本体:SS400 能力:1.1Ton/h、ケーシングSS400、パドル:	<u>全更新</u> 全更新					0
	飛灰混練機No2	(1台/3炉)		SS400・耐摩耗材、スクリュウ:SS400・耐摩耗材         能力:1.1Ton/h、ケーシングSS400、パドル:         SS400・耐摩耗材、スクリュウ:SS400・耐摩耗材	全更新					0
	飛灰処理物搬送コンベヤNo1	(1台/3個)	ベルトコンベヤ	SS400・耐摩耗材、スクリュリ: SS400・耐摩耗材   輸送能力:1.5Ton/h、本体: SS400	全更新				1	
	飛灰処理物搬送コンベヤNo2		ベルトコンベヤ	輸送能力: 1.5Ton/h、本体: SS400	全更新					0
	飛灰処理物シュートコンベヤ No1	(1台/3炉)	ベルトコンベヤ	輸送能力:1.5Ton/h、本体:SS400	全更新					0
	飛灰処理物シュートコンベヤ No2	(1台/3炉)	ベルトコンベヤ	輸送能力:1.5Ton/h、本体:SS400	全更新					0
電気計装設備	ACC WINDOWS7	1台	ACC制御用コンピュータ	マイクロコンピュータ	全更新		0	0	0	
公水 訳 借	冷却塔No1	(1基/3炉)	クーリングタワー(2セル)クロスフ ロー式	ファン:FRP、ファンケーシング:FRP	部分更新	エレメント、減速機の更新				0
給水設備	冷却塔No2	(1基/3炉)	クーリングタワー(2セル)クロスフ ロー式	ファン:FRP、ファンケーシング:FRP	郊公軍新	エレメント、減速機の更新				0

### 9 改良保全

事業者は、改良保全を行おうとする場合は、改良保全に関する計画を提案し組合と協議すること。

### 10 精密機能検査

- 1)事業者は、事業期間内における焼却施設の基本性能を維持するために受注後直ちに事業期間に わたり法で定められた範囲で定期的に実施する精密機能検査の計画を作成し、組合に報告すること。
- 2) 精密機能検査に係る記録は適切に管理し、法令等で定められた年数又は組合との協議による年数保管すること。
- 3) 精密機能検査終了後は精密機能検査報告書を作成し組合に報告すること。

### 11 分析計の点検整備

1)事業者は、分析計について表 5.3.4 に示すとおり点検整備を行うこと。 なお、分析計の検定及び分析計の更新は本事業に含まないものとする。

	対象分析計	対象数量	点検頻度	備考
煙突入口	NOX、S02、C0、02 分析計	3台	2回/月	23 回/年:通常点検
脱硝設備入口	NOX、02 分析計	3台	2回/月	1回/年:精密点検
ボイラー出口	02 分析計	3台	2回/月	
誘引通風機入	HCL 分析計	3台	2回/月	
口				
煙突入口	Hg 分析計	3台	2回/月	

表 5.3.4 分析計の点検整備

# 12 電気設備の点検整備

1)事業者は、電気事業法に基づき自家用電気工作物等電気設備についての定期点検整備を行うこと。

なお、以下の機器の更新等は本事業に含まないものとする。

- 保護継電器盤
- 高圧配電盤
- 変圧器盤
- ・ コンデンサ盤
- 直流電源装置盤
- 無停電電源装置盤
- ・コントロールセンター
- · PLC

また、検定満了期間が平成32年12月であるVCTの取換え費用も本事業に含まないものとする。

### 13 計装機器の点検整備

- 1)事業者は、プラント制御システム及び計装機器等について適切な点検整備を実施すること。 なお、以下の機器の更新等は本事業に含まないものとする。
  - 分析計
  - · DCS
  - ITV
  - 場内公害表示板

# 14 検量機の点検整備

1)事業者は、計量法に基づき検量機について2年毎の定期検査を受検すること。これに加えて適切な点検整備を実施すること。

なお、トラックスケールの更新、ごみ搬入料金徴収機及びごみ搬入料金徴収機管理システムそれ ぞれのリースは本事業に含まないものとする。

### 15 清掃

事業者は、ごみ処理施設の清掃計画を作成し、施設内を常に清掃し、清潔に保つこと。特に見学者等第三者の立ち入る場所は、常に清潔な環境を維持すること。

### 16 安全衛生管理·作業環境管理

- 1) 事業者は、安全衛生管理体制に基づき、職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、 快適な職場環境の形成を促進すること。
- 2) 事業者は、作業環境に関する調査・計測を行い、作業環境管理報告書を組合へ提出すること。
- 3) 事業者は、ごみ処理施設における標準的な安全作業の手順(安全作業マニュアル)を定め、その励行に努め、作業行動の安全を図ること。
- 4) 安全作業マニュアルはごみ処理施設の作業状況に応じて随時改善し、その周知徹底を図ること。

# 第6章 環境管理業務

### 第1節 環境保全基準

- 1) 事業者は、本施設の公害防止基準、関係法令を満足する環境保全基準を定めること。
- 2) 事業者は、運営・維持管理に当たり、環境保全基準を遵守すること。
- 3) 法改正等により環境保全基準を変更する場合は、組合と協議すること。

### 第2節 環境保全計画

- 1)事業者は、事業期間中、環境保全基準の遵守状況を確認するために必要な測定項目・方法・頻度・時期等を定めた環境保全計画(別紙8参照)を作成し、組合へ報告すること。なお、環境保全計画を作成するにあたっては別紙9に示す項目及び頻度以上とすること。
- 2) 事業者は、環境保全計画に基づき、環境保全基準の遵守状況を確認すること。
- 3) 事業者は、環境保全基準の遵守状況について組合へ報告すること。

# 第3節 作業環境管理基準

- 1) 事業者は、焼却施設の運営において、労働安全衛生法、廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱(基発第 0110 第 1 号、平成 26 年 1 月 10 日)を遵守した作業環境管理基準を定めること。
- 2) 事業者は、運営及び維持管理に当たり、作業環境管理基準を遵守すること。
- 3) 法改正等により作業環境管理基準を変更する場合は、組合と協議すること。

### 第4節 作業環境管理計画

- 1) 事業者は、事業期間中、関係法令に基づき、作業環境管理基準の遵守状況を確認するために必要な測定項目・方法・頻度・時期等を定めた作業環境管理計画を作成し、組合へ報告し、承諾を得ること。作業場の作業環境管理基準を表 6.4.1 に示す。
- 2) 事業者は、作業環境管理計画に基づき、作業環境管理基準の遵守状況を確認すること。なお、作業環境管理計画を作成するにあたっては別紙9に示す項目及び頻度以上とすること。
- 3) 事業者は、作業環境管理基準の遵守状況について組合へ報告すること。

項目	管理濃度	備考
ダイオキシン類	2.5pg/m³以下	廃棄物焼却施設関連作業におけるダ
		イオキシン類ばく露防止対策要綱

表 6.4.1 作業場の作業環境管理基準

# 第5節 測定分析業務

- 1) 事業者は事業期間中、環境保全状況を把握するため、以下に示す項目測定分析を行うこと。(詳細は別紙) ただし、測定項目は事業者が行うべき測定管理の最低基準を示したもので、事業者は必要に応じ詳細な測定を行うこと。また、事業者は測定結果を組合に報告すること。
  - (1) 排ガス、排出水、焼却主灰、焼却飛灰、土壌及び作業環境のダイオキシン濃度の測定分析

- (2)ごみ質の分析調査
- (3) 排ガスのばい煙及びアンモニアの測定分析
- (4) 焼却残渣組成の測定分析
- (5) 焼却主灰、焼却飛灰及び脱水汚泥の分析調査
- (6) 工場排水の測定分析

#### 第6節 運転に係る停止基準及び要監視基準の設定

1) 対象項目

停止基準及び要監視基準の対象項目は公害防止基準にある排ガスとし、騒音基準、振動基準、 悪臭基準、下水道放流基準は対象項目として扱わない。

2) 停止基準値、要監視基準値

停止基準値は、公害防止基準とする。

なお、水銀については、自主規制値である一時間あたりの平均値  $0.05 mg/m^3$  N を 2 時間連続で超えた場合とする。

また、要監視基準は、施設の監視を強化し改善策の検討を開始する基準とし、事業者が設定する環境保全基準とする。

- 3) 要監視基準値を満足できない場合の復旧作業
- (1) 再度計測、分析を行い、要監視基準値を満足しているかを確認する。
- (2) 再測定、分析の結果、要監視基準値を上回った場合は、その原因を究明し、組合に報告の上、対策を施す。
- 4) 停止基準値を満足できない場合の復旧作業

事業者は、これらの項目の計測、分析の結果が停止基準を上回った場合は、速やかに本施設の運転を停止し、組合に報告した上で、以下の(1)から(7)までの手続きにおいて本施設の使用再開を行うものとする。なお、本施設の運転停止が事業者の責めに帰すべき事由の場合、停止した日をから起算日として、組合は事業者に支払う委託費のうち、固定費を10%減額する。

- (1)停止基準に至った原因と責任の究明。
- (2)事業者による本施設の復旧計画。
- (3) 改善作業への着手。
- (4) 改善作業の完了確認。
- (5) 復旧のための試運転の開始。
- (6) 運転データの確認。
- (7)本施設の使用再開。

事業者は、再発防止措置計画を作成し、組合に報告すること。

なお、組合による復旧計画の確認、本施設の改善作業の確認等に際し、組合は専門的な知見を有 する有識者等に助言を求めることができるものとする。

## 第7章 情報管理業務

#### 第1節 運転記録報告

- 1)事業者は、焼却施設のごみ搬入量(構成市別)、排出量、運転データ、用役データ(固定費及び変動費単価)、運転日誌、日報、月報、年報等を記載した運転管理に関する報告書を作成し、組合に提出すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 運転記録関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

#### 第2節 日常点検・定期点検の報告

- 1) 事業者は、日常点検・定期点検の結果を記載した事業者は、日常点検・定期点検報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 事業者は、日常点検・定期点検関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

#### 第3節 法定点検の報告

- 1) 事業者は、法定点検の結果を記載した法定点検報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 法定点検の関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

#### 第4節 定期点検整備の報告

- 1) 事業者は、定期点検整備の結果を記載した定期点検整備報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 定期点検整備の関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

## 第5節 大規模補修の報告

- 1) 事業者は、大規模補修の結果を記載した大規模補修報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 大規模補修の関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

#### 第6節 精密機能検査の報告

- 1) 事業者は、精密機能検査の結果を記載した精密機能検査報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 精密機能検査の関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

## 第7節 点検整備の報告

1) 事業者は、分析計、電気設備、計装機器、検量機の点検結果を記載した各設備・機器等の点検報告書を作成し、組合へ提出すること。

- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 設備・機器等の点検報告書の関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

## 第8節 環境管理の報告

- 1) 事業者は、環境保全計画に基づき計測分析した環境保全状況を記載した環境管理報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 環境管理関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

## 第9節 作業環境管理の報告

- 1)事業者は、作業環境計画に基づき計測した作業環境保全状況を記載した作業環境管理報告書を作成し、組合へ提出すること。
- 2) 報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 作業環境管理関連データは、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

## 第10節 施設情報の管理

- 1)事業者は、本事業の対象施設に関する各種マニュアル、図面等を事業期間にわたり適切に管理すること。
- 2) 事業者は、補修、機器更新、改良保全等により、本事業の対象施設に変更が生じた場合、各種マニュアル、図面等を速やかに変更すること。
- 3) 事業者は、本事業の対象施設に関する各種マニュアル、図面等の管理方法について検討し、組合へ報告すること。
- 4) 事業者は、組合が発信するホームページ等に掲載する資料について提出を求められた場合、速やかに対応すること。
- 5) 施設説明用パンフレットの増刷、改訂に当たっては組合の負担とする。

## 第11節 その他管理記録の報告

- 1) 事業者は、焼却施設の設備により管理記録すべき項目、又は事業者が自主的に管理記録する項目で、管理記録報告を作成すること。
- 2) 事業者は、報告書の提出頻度・時期・詳細項目について組合と協議の上決定すること。
- 3) 管理記録については、法令等で定める年数又は組合との協議による年数保管すること。

# 第8章 余熱利用業務

# 第1節 基本事項

事業者は、適切に余熱利用設備を運転し、安定した余熱利用を図ること。

# 第2節 施設内への供給

事業者は、焼却施設で発生した蒸気にて、施設内へ温水及び電力を供給すること。

# 第3節 施設外への供給

事業者は、焼却施設にて発生した蒸気を、施設外の厚生施設(温水プール、かご洗浄棟等)に供給すること。

## 第9章 防災管理業務

## 第1節 二次災害の防止

事業者は、災害、機器の故障、停電等の緊急時においては、人身の安全を確保するとともに、環境 及び対象施設へ与える影響を最小限に抑えるように施設を安全に停止させ、二次災害の防止に努める こと。

## 第2節 事故対応マニュアルの作成

事業者は、緊急時における人身の安全確保、焼却施設の安全停止、各施設の復旧等の手順を定めた 事故対応マニュアルを作成し、組合の承諾を得ること。また、緊急時にはマニュアルに従った適切な 対応を行うこと。なお、事業者は作成した事故対応マニュアルについて必要に応じて随時改善してい かなければならない。

#### 第3節 自主防災組織の整備

事業者は、台風、大雨等の警報発令時、火災、事故、作業員の怪我等が発生した場合に備えて、自 主防災組織を整備するとともに、自主防災組織及び警察、消防、組合等への連絡体制を整備すること。 なお、体制を変更した場合は速やかに組合に報告すること。

#### 第4節 防災訓練の実施

緊急時に自主防災組織及び連絡体制が適切に機能するように、定期的に防災訓練等を行うこと。また、防災訓練等の開催に当たっては、事前に自主防災組織の構成団体に連絡し、当該団体の参加について協議すること。なお、組合が年2回実施する消防訓練へ参加・協力すること。

#### 第5節 事故報告書の作成

事業者は、事故が発生した場合は、事故対応マニュアルに従い、直ちに事故の発生状況、事故時の 運転記録等を組合に報告すること。報告後、速やかに対応策等を記した事故報告書を作成し、組合に 提出すること。

# 第10章 その他関連業務

## 第1節 清掃

清掃は本事業の範囲外とし組合が行うものとする。

# 第2節 緑化

緑化は本事業の範囲外とし組合が行うものとする。

## 第3節 防犯·警備

事業者は、機械警備にて防犯・警備を行うこと。また、施設の戸締りを行い、第三者の進入防止に 努めるものとする。機械警備の範囲は焼却施設とする。

# 第4節 保険

事業者は事業期間中、業務の運用上必要と考える保険に加入すること。保険金額等については、事業者の裁量に委ねるものとするが、加入する保険の種別等については、組合と協議の上決定すること。

## 第5節 その他

事業者は平日夜間及び休日等、管理棟閉棟時に中央制御室に転送される電話の対応、FAXの受領を実施すること。また、光化学スモッグ注意報が届いた場合、温水プール施設にその旨電話連絡し、削減計画に基づき運転すること。

# 別紙1:業務の分担

以下に定める業務分担につき各々自らの費用と責任において業務を行うこととします。

1			搬入	管理業務
	業務内容	組合	事業者	備考
1)	1) 受付管理	0		◆検量棟にて収集車、登録業者及び回収物等の搬 入・搬出車両の記録・確認・管理
			0	◆薬剤等副資材の搬入・搬出車両の記録・確認・ 管理
2)	計量	0		◆搬入車両の計量業務 ◆搬出車両の計量業務 ◆計量記録の管理
3)	搬入車両の案内・指示	0		◆検量棟で搬入・搬出車両の誘導・指示
4)	料金徴収	0		◆料金徴収業務
		0		◆廃棄物の収集・搬入 ・組合構成市の収集車(契約車両を含む)により 焼却施設へ搬入される廃棄物について、それぞ れの投入場所への投入業務 ・収集廃棄物について受入基準を満たしていない ものの処理責任
5)	ごみの収集・搬入管理		0	◆搬入された可燃ごみのごみ質分析調査業務 ◆プラットホームにて実施する搬入内容物調査業務 ◆搬入物実態調査業務 ◆搬入された廃棄物の処理不適物の管理 ・処理不適物について組合へ報告、引渡し ・善管注意義務をもって搬入ごみの監視

2			運転	管理業務
	業務内容	組合	事業者	備考
1)	ごみ処理計画作成	0		◆年度別のごみ処理計画に基づき、収集・搬出計画 の策定
2)	運転計画の作成		0	<ul><li>◆年度別の計画処理量に基づく施設の点検・補修等を考慮した年間運転計画を作成し組合の承諾を得る</li><li>◆年間運転計画に基づき月間運転計画を作成し組合へ報告</li><li>◆年間運転計画、月間運転計画に変更が生じる場合は、組合へ報告し、計画の変更</li></ul>

3)	運転管理マニュアルの作成		0	<ul><li>◆施設の運転操作に関して、操作手順、方法について取扱説明書に基づき、運転管理マニュアルを作成し組合へ報告</li><li>◆策定した運転管理マニュアルを、施設の運転に合せて随時改善</li></ul>
4)	搬入物の性状分析		0	◆施設に搬入された廃棄物の性状についての定期 的な分析・管理
5)	施設の運転(適正処理)		0	<ul><li>◆事業契約書、要求水準書、関係法令、環境保全基準を遵守したごみ処理施設の運転</li><li>◆本施設の運転操作・運転監視業務</li><li>◆設備・機器の日常点検業務</li><li>◆運転員のダイオキシン類の安全対策及び運転業務に係る必要な管理業務</li></ul>
6)	処理不適物の処分		0	◆搬入物に処理不適物が混入していた場合の処理 不適物の除去・保管・貯留、組合への引渡し ◆搬入物に処理不適物が混入していた場合の処理
		0		不適物の処分
7)	運転管理記録の作成		0	<ul><li>◆施設の運転に関する運転管理記録を作成し、組合へ報告</li><li>・ごみ処理量及び用役使用量等の記録</li><li>・各種計測の記録</li><li>・運転記録、日報・月報・年報等の書類作成</li><li>・施設の点検・保守等の記録</li></ul>
8)	焼却主灰・焼却飛灰の処分	0	0	◆計量・管理及び定期的な分析・管理 ◆異物除去作業 ◆処理委託業者との契約業務 ◆処理委託先までの搬送及び処理委託費の支払い
9)	電気料金、上下水道料金の支 払い	0		◆電気、上下水道の契約業務 ◆電気料金、上下水道料金の一切の費用(基本料金、 従量料金)の支払い
10)	燃料 (ガス、灯油) の調達管 理業務	O**1	○* <sup>2</sup>	◆運転業務に必要な燃料(ガス、灯油)の調達、管 理業務
11)	油脂類・薬品類の調達管理業 務		0	◆運転業務に必要な油脂類・薬品類の調達、管理業 務
12)	その他副資材の調達管理業務		$\circ$	◆その他副資材の調達・取替え・管理業務

※1:平成39年度まで(予定)

※ 2: 平成 40 年度以降(予定)

注) 現在本施設の運転は4係体制(2係:直営、2係:委託業者)で2直4交代で行っているが、本 事業導入後は、平成34年度以降に4係中3係、平成40年度以降に4係全てを民間事業者に委託 する予定である。

3				管理業務	
	業務内容	組合	事業者	備考	
1)	備品・物品・用役の調達管理		0	◆年間運転計画、月間運転計画に基づき、必要な 備品・物品・用役の調達計画の作成、調達、管 理業務	
2)	施設の機能維持		0	◆施設の基本性能、公害防止基準を事業期間にわ たり維持	
3)	維持管理計画書の作成 (日常点検・定期点検、法定 点検、定期点検整備、大規模 補修)		0	◆事業期間を通じた維持管理計画を作成し、組合へ報告し、承諾を得る ◆各年度毎の維持管理計画を作成し、組合へ報告 ◆各年度毎の維持管理状況を考慮し、事業期間を 通じた維持管理計画を更新し、組合へ報告	
4)	日常点検・定期点検業務 ◆維持管理計画書に基づく日常点検・定期が 務				
5)	法定点検業務		0	◆維持管理計画書に基づく法定点検業務	
			0	◆維持管理計画書に基づく定期点検整備	
6)	定期点検整備	0		◆不可抗力、法令変更による点検、補修	
	大規模補修 改良保全		0		
7)		0		◆不可抗力、法令変更による大規模補修	
8)	改良保全	0	0	◆改良保全を行う場合、提案者側が計画書の作成 を行い、組合と事業者の協議	
9)	特定部品の調達		0	◆特定部品リストの製品の調達業務	
10)	精密機能検査		0	◆法で定められた範囲で定期的に実施する精密 機能検査の実施	
11)	分析計の点検整備		0	◆維持管理計画書に基づく分析計の点検整備の 実施(分析計検定、分析計更新は除く)	
12)	電気設備の点検整備		0	◆維持管理計画書に基づく電気設備の点検整備 の実施	
13)	計装機器の点検整備		0	◆維持管理計画書に基づく計装機器の点検整備 の実施	
			0	◆維持管理計画書に基づく検量機の法定点検の 実施	
14)	14) 検量機の点検整備等	0		◆トラックスケールの更新、ごみ搬入料金徴収機 及びごみ搬入料金徴収機管理システムそれぞ れのリース費用	
15)	エレベータの点検整備	0		◆エレベータの点検整備の実施(保守点検、定期 検査)	
16)	空調及び換気設備等建築機械 設備の点検整備	0		◆空調及び換気設備、ダンパ等の点検整備の実施 (送風機・ポンプ等更新含む)	
17)	消防用設備の点検整備	0		◆消防用設備の点検整備の実施(機能点検、総合 点検)	

18)	給水設備の点検整備	0		◆貯水槽の清掃,水質検査の実施
19)	ポンプ類給排水配管類の補修	0		◆ポンプ類給排水配管類の補修
20)	吸収式冷凍機用冷却塔の補修	0		◆吸収式冷凍機用冷却塔の補修
21)	建屋の点検整備	0		◆建屋の点検整備の実施(外壁、屋根補修含む)
22)	煙突設備の点検整備	0		◆煙突設備(航空障害灯含む)の点検整備の実施
23)	井戸の点検整備	0		◆井戸の点検整備の実施
24)	機械室の清掃		0	◆清掃計画を作成し、施設内の清掃業務
25)	安全衛生管理・作業環境管理		0	◆安全衛生管理体制の構築 ◆作業環境に関する調査・計測をし、作業環境管 理報告書の作成・報告 ◆安全作業マニュアルを作成し、作業行動の安全 に努める

4			環境	管理業務
	業務内容	組合	事業者	備考
1)	環境保全計画の作成		0	◆環境保全基準の遵守を確認するために必要な 測定項目、測定方法、測定頻度及び測定時期を 定めた環境保全計画を作成し、組合へ報告
2)	環境保全に係る計測、分析 (灰含む)		0	◆要求水準書にて規定する環境保全基準に基づき、環境保全計画書に定める項目の計測及び分析を行い、組合へ報告
3)	作業環境管理計画の作成		0	◆作業環境管理基準の遵守を確認するために必要な測定項目、測定方法、測定頻度及び測定時期を定めた作業環境管理計画を作成し、組合へ報告し、承諾を得る
4)	作業環境管理に係る計測、分 析		0	◆要求水準書にて規定する作業環境管理基準に 基づき、作業環境管理計画書に定める項目の計 測及び分析を行い、組合へ報告

5			情報	管理業務
	業務内容	組合	事業者	備考
1)	運転管理記録の報告		0	◆ごみ搬入量、排出量、運転データ、用役データ、 運転日誌、日報、月報、年報を記載した運転管 理報告書を作成し、組合へ提出 ◆運転記録関連データの保管
2)	日常点検・定期点検報告		0	◆日常点検・定期点検の結果を記載した日常点 検・定期点検報告書を作成し、組合へ提出 ◆日常点検・定期点検の関連データの保管
3)	法定点検の報告		0	◆法定点検の結果を記載した法定点検報告書を 作成し、組合へ提出 ◆法定点検の関連データの保管
4)	定期点検整備の報告		0	◆定期点検整備の結果を記載した定期点検整備報告書を作成し、組合へ提出 ◆定期点検整備の検査関連データの保管
5)	大規模補修の報告		0	◆大規模補修の結果を記載した大規模補修報告 書を作成し、組合へ提出 ◆大規模補修の検査関連データの保管
6)	精密機能検査の報告		0	◆精密機能検査の結果を記載した精密機能検査 報告書を作成し、組合へ提出 ◆精密機能検査の検査関連データの保管
7)	点検整備の報告		0	◆分析計、電気設備、計装機器、検量機の点検結果を記載した各設備・機器の点検整備報告書を作成し、組合へ提出 ◆点検整備の検査関連データの保管
8)	環境管理報告		0	<ul><li>◆施設の環境保全計画に基づき計測した環境保 全状況を記載した環境管理報告書を作成し、組 合へ提出</li><li>◆環境管理関連データの保管</li></ul>
9)	作業環境管理報告		0	<ul><li>◆作業環境計画に基づき計測した作業環境保全 状況を記載した作業環境管理報告書を作成し、 組合へ提出</li><li>◆作業環境管理関連データの保管</li></ul>
10)	施設情報管理		0	◆各種マニュアル、図面等の管理 ◆定期点検整備、大規模補修、改良保全等による 施設変更が生じた場合の各種マニュアル、図面 等の変更
11)	その他管理記録報告		0	◆焼却施設の設備により必要な項目、自主管理記録等の管理報告書を作成 ◆管理記録関連データの保管

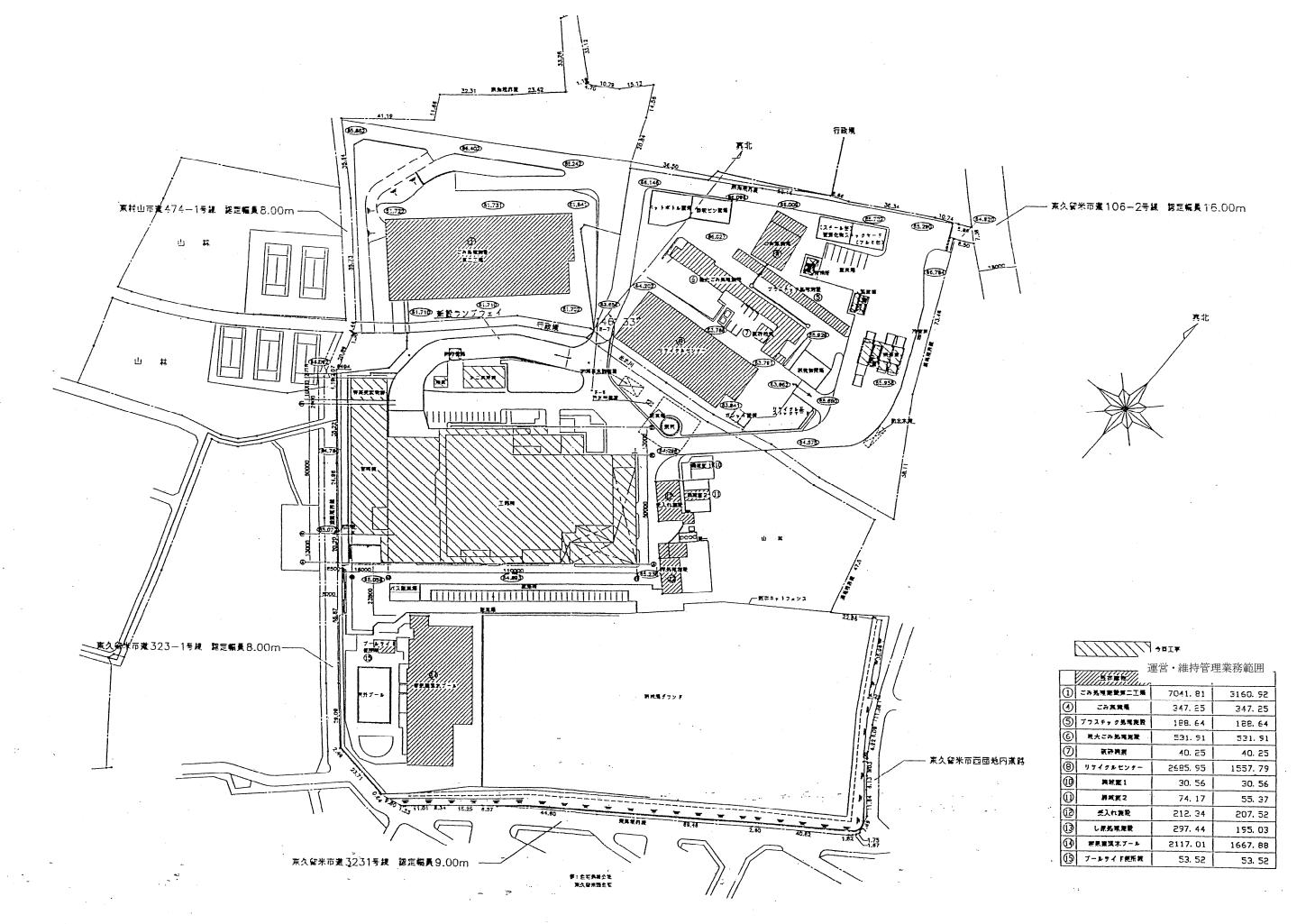
6	余熱利用業務						
	業務内容	組合	事業者	備考			
1)	施設内への熱供給		0	◆焼却施設で発生した蒸気にて、施設内への電力 及び温水を供給			
2)	施設外への熱供給		0	◆焼却施設で発生した蒸気を、施設外の厚生施設 (温水プール、かご洗浄棟等)に供給			

7			防災	管理業務
	業務内容	組合	事業者	備考
1)	事故対応マニュアルの作成		0	◆事故等による施設からの廃棄物等汚物流出に 備えた応急措置及び知事への届出に係る事故 対応マニュアルを作成し、組合の承諾を得る
2)	自主防災組織の整備	0	0	◆台風、大雨等の警報発令時、火災、事故、作業員の怪我等に備え、自主防災組織の整備 ◆自主防災組織及び警察、消防、組合等への連絡体制の整備 ◆組合が実施する消防訓練(年2回)への参加・協力
3)	防災訓練の実施		0	◆定期的な防災訓練の実施
4)	事故報告		0	◆事故発生時に事故対応マニュアルに従い、事故 状況、対応措置を組合へ報告 ◆事故報告書を作成し、組合へ報告

8			その他	也関連業務
	業務内容	組合	事業者	備考
1)	組合、構成市、各種関係団体 への報告業務	0	0	◆報告書作成業務及び報告 ◆組合が行う報告書作成・報告への協力
2)	見学者への応対業務	0		◆見学者との日程調整 ◆見学者への応対(一般、行政)
3)	安全衛生管理	0	0	<ul><li>◆組合の管理区分における安全衛生管理体制に基づく安全衛生管理</li><li>◆事業者の管理区分における安全衛生管理体制に基づき、職場における労働者の安全と健康を確保</li><li>◆安全作業の手順を定め作業行動の安全に努め、作業状況に応じて随時手順の改善</li></ul>
4)	防火管理	0	0	◆管理権原者、管理責任者(防火管理者)の配置 ◆自主検査、火元責任者の任命、防火管理体制の 整備
5)	防犯・警備	0	0	◆敷地内の防犯に係る業務  ◆警備体制を組合へ報告 ◆機械警備による焼却施設の警備 ◆夜間・休日の施設の施錠管理 ◆夜間・休日における敷地内の監視
6)	清掃	0		◆敷地内の定期的な清掃業務
7)	緑化	0		◆敷地内の植栽の手入れ
8)	事務用備品・消耗品の調達		0	◆運営事務所内の備品・消耗品の調達
9)	施設運営上必要な保険への加入	0	0	◆火災保険、機械保険への加入 ・施設所有者として火災保険及び機械的・電気的 事故に対する機械保険の付保 ◆労災保険、第三者賠償保険への加入 ・運営事業における雇用者に対する労災保険及び
10)	<b>心</b>			第三者への賠償保険の付保
10)	除雪作業		0	◆敷地内の除雪作業業務(重機含む) ◆電動門扉の維持管理及び開閉
11)	門扉管理	$\circ$		▼电野门那の推対目垤及の囲材

別紙 2:運営・維持管理業務範囲図

運営・維持管理業務の範囲は次頁に示す図の通りとする。



# 別紙3:対象施設における処理不適物

焼却施設の処理不適物を以下に示す。なお、詳細については、組合と事業者の協議により決定する。

## 1 処理不適物

- 1) 本施設における焼却処理不適物は、以下のとおりである。
- (1) 不燃物 (ビン類・カン類・金属類・コンクリート片等の不燃物を含むごみ)
- (2) 粗大ごみ
- (3) 火薬・ガソリン・シンナー、油類・ガスボンベ等の爆発性ごみ
- (4) 細菌・毒性物質、危険性化学物質、医療廃棄物(在宅医療廃棄物を除く)等を含むごみ
- (5) 有害物質(PCB、カドミウム、水銀、鉛などの特定有害物質)
- (6) 火種を含むごみ
- (7) 長さ60cm あるいは直径10cm を超える枝木、木材

## 別紙4:費用負担

本事業を実施する上で、ユーティリティーに係る費用負担を以下に示す。

## 1) 電気(受電)

焼却施設において使用する電力については、電気事業者との契約を組合が行いこれに係る一切の費用を組合が負担する。なお、売電収入は組合に帰属する。

## 2) 上下水道料金

焼却施設において使用する上下水については、上下水道事業者との契約を組合が行いこれに係る一切の費用を組合が負担する。

## 3) ガス料金

焼却施設において使用するガスについては、ガス事業者との契約を組合が行いこれに係る一切の費用を平成39年度までは組合が負担し、平成40年度以降、事業終了までは事業者が負担する。

#### 4) 灯油

焼却施設において使用する灯油については、平成39年度までは組合が調達しこれに係る一切の費用を組合が負担し、平成40年度以降、事業終了までは事業者が調達しこれに係る一切の費用事業者が負担する。

#### 5) 薬剤

焼却施設において使用する薬剤については、事業者が調達しこれに係る一切の費用を事業者が負担 する。

## 6) 車両や機械等の燃料

焼却施設において使用する車両や機械等の燃料については、事業者が調達しこれに係る一切の費用を事業者が負担する。また、車両及び機械に係る重量税、自賠責保険料、任意保険料、検査・点検・整備費用、廃車手数料についても事業者が負担する。

#### 7) 処理不適物の搬出、処理、処分

焼却施設から排除された処理不適物の搬出、処理、処分については、組合が搬出、処理及び処分を 行いこれに係る一切の費用を組合が負担する。

### 8) 焼却主灰・焼却飛灰の搬出、処分

焼却施設において発生する焼却主灰及び焼却飛灰については、組合が搬出及び処分を行いこれに係る一切の費用を組合が負担する。

# 9) 資源回収物の搬出、売却、処分

焼却施設において回収される資源回収物については、組合が自らの責任と負担において搬出、売却 及び処分を行う。

# 【機械設備】

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
1. 給じん設備	ごみ検量機 No.1/No.2/No.3	3	ロードセル式 デジタル表示 (ピットレス型)	1)往路用2基 積載台寸法:3000×7500×1基 操作方式:パ-コート゚&カード読取全自動 計量式 最大/最小秤量:30TON/10kg 2)復路用1基 積載台寸法:3000×15000×1基 最大/最小秤量:50TON/10kg	SS400	-	-
	プラットホーム	1式	ごみピット直接投入方式 (屋内)	寸法: 23200W×51000L 床面: GL+7700、勾配1/50	-	-	ı
	プラットホーム出入 ロ扉	2 入出口 各1基	両引戸自動扉	寸法:6000×5000H(有効) 操作方式:自動制御方式	鋼板製		
	エアカーテン No.1/No.2	2	両側面吹出し方式	風量:31.4/min 風速:11.8m/sec 操作方式:出入り口扉と連動&盤内連 動・手動切替		電動機	29.6
	ごみピットゲート No.1~No.7	7	観音開き	寸法:3000×6200H(有効) 制御方式:超音波センサー&ループコイルによ る自動制御 開閉時間:各10秒以内(制御可能)	SS400 4.5mm以上 (取付金具はSUS)	油圧	
	ダンピングボックス No.1/No.2	2	傾斜投入式	寸法: 2600×3700×800D 容量: 約7.6	SS400	油圧	
	ごみピットゲート油圧駆動装置	1	油圧駆動装置	寸法:1830L×1410W×700H	SS400		
	ごみピットゲート 油圧駆動装置 油ポンプ No.1/No.2	2	内接ギヤポンプ	容量:110 /min 吐出圧力:140kg/cm2/ 100kg/cm2	ケーシング:FC200 ロータ:S45C シャフト:S45C		37
	ごみピットゲート 油圧駆動装置 油圧タンク	1	鋼板製溶接構造角型	容量:1000	SS400		
	ごみピット	1式	地下式角型	構造:鉄筋コンクリート造、ごみ積上げ部水 密コンクリート 容量:8140・(有効) 寸法:35250×16500×15000	コンクリート	-	-
	ごみクレーン No.1/No.2	1+1	屋内用ポリップ付 天井走行ウレーン	吊上荷重: 8.8TON 定格荷重: 5.5TON 切取容量: 10 スパン: 25.825m 揚程: 30.7m 走行距離: 約37m	本体:SS400 爪:SCM440 Eq	電動機	
	横行モータ No.1/No.2	1+1	インハ・ータモータ	横行速度: 40m/min 電磁プレーキ		電動機	3.7
	走行モータ No.1/No.2	2+2	インバータモータ	走行速度: 60m/min 電磁プレーキ		電動機	11
	巻上モータ No.1/No.2	1+1	インハ・ータモータ	巻上速度: 70m/min 巻下速度: 70m/sec 電磁ディスクプレーキ		電動機	132
	開閉式油圧装置 No.1/No.2	1+1	油圧方式	開閉時間:8/12sec		電動機	15
	クレーン制御室窓洗浄装置	1式		窓位置検出装置付き 洗浄スピード:水噴射 5m/min 吸引時 2m/min			
	駆動電動機	1		駆動スピード: 水噴射 5m/min 吸引時 2m/min	電動機	400	4
	旋回電動機	1			電動機	400	4
	吸引ブロワ	1		使用風圧: 1000 mmAq(9.8KPa) 最高風圧: 2150 mmAq(21.1KPa)	電動機	400	2
	ポ <sup>°</sup> ンプ <sup>°</sup> ユニット	1	プランジャー式	吐出量:12 /min ポンプ側最大圧力:38kg/cm2(3.72MPa) バル側最大圧力:20kg/cm2(1.95MPa)		電動機	2.2
	薬液散布装置	1式	薬液噴霧式	+:+ 700 v 700 v 1110			
	薬液貯留槽	1	角形 PVC	寸法:760×760×1116 容量:0.5	PVC	-	-
	薬液希釈槽	1	竪形円筒槽 PVC	寸法:ID1480×H1500	PVC		
	噴霧加圧ポンプ		竪型渦流ポンプ	容量: 10 /min 揚程: 25m 軸封: シングルメカニカルシール	ケーシング:SCS13 インペ <sup>°</sup> ラー:SUS304 シャフト:SUS304	電動機	0.55
	ごみピット内水噴射装置	1式		THE DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE PROPERT	7171.300007		

設備名	機器名称	数量	形式	仕様・構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
1. 給じん設備	噴霧水供給ポンプ	1+1	渦流ポンプ	容量: 14.52 /h 揚程: 70m 軸封: シング・ルメカニカルシール	ケーシンク゛: FC インヘ゜ラー : FC シャフト : FC	電動機 (直結)	7.5
	可燃性粗大ごみ破 砕設備						
	破砕装置	1	乾式回転横型専断式 油圧駆動式	処理能力:5t/h	SS400	油圧駆動	100
	受入コンベヤ	1	鋼板製エプロンコンベヤ	受入寸法:1.8mH×3.5mL×1.5mD エプロンコンベヤ:1200W	SS400	電動機 VVF	5.5
	1号/2号/3号 ごみホッパ	3	鋼板溶接構造	容量:約40 以上 有効滞留時間:60分以上 寸法: 開口部:5000×5650 -ト部:2325×7500×1600 シュート部冷却方式:水冷 ホッパ部冷却方式:自然空冷	SS400	-	-
	1号/2号/3号 ごみホッパゲート	3	スイング形		油圧駆動	-	-
	マシンハッチ No.1/No.2	2	電動式		SS400		0.34
	ごみクレーン清掃 用気吹き装置	1		気吹きファン: 400N/min 消音器 切替ダンハ <sup>°</sup>			
2. 焼却炉本体設 備	1号/2号/3号 給じん装置	3	水平プッシャ式	寸法:2330×3995 有効面積:2.5m2 傾斜角度:0°(水平) ストローク:1070mm		電動機 VVF	-
	1号/2号/3号 ストーカ駆動用油圧装置	3	油圧ユニット式	使用作動油:鉱物性作動油 ISO VG68 相当油			
	1号/2号/3号 ストカ駆動用油圧装 置 油ポンプ No.1/No.2	3+3		P1: 容量:107 /min 吐出圧力:15.7MPa(160kg/cm2G) P2: 容量:8 /min 吐出圧力:20.6MPa(210kg/cm2G)	ケーシング:AC4A-T6 ロータ:S45C シャフト:SLM420	電動機	37
	1号/2号/3号 ストーカ駆動用油圧装置 電 非常用油ポンプ	3		容量:10 /min 吐出圧力:160kg/cm2G(15.7MPa)	ケーシング:FC200 ロータ:S45C シャフト:S45C	電動機	3.7
	1号/2号/3号 ストーカ駆動用油圧装 置 油冷却器	3		温度:35℃以下 容量:80 /min以上			
	1号/2号/3号 ストーカ駆動用油圧装 置 油タンク	3	角型槽	容量:800	SS400	-	-
	1号/2号/3号 自動給油装置	3	ヒ <sup>°</sup> ストン型 ク <sup>*</sup> リースホ <sup>°</sup> ンフ <sup>°</sup>	容量: 0.072 /min 吐出圧力: Max. 230kg/cm2G(22.6MPa) : Nor. 50kg/cm2G(4.9Mpa)	ケーシング:FC200 ロータ:S45C シャフト:S45C	電動機	0.4
	1号/2号/3号 焼却炉	3	全連続燃焼式 火格子焼却炉 (廃熱ボイラ付)	寸法: 2330×3995×3260H 燃焼負荷: 43627~79514kcal/ h 燃焼室容量: 154.06	ケーシング・: SS400 高クロム耐熱鋳鋼	-	-,
	ストーカ下ホッパ及 びシュート		鋼板製角型槽		主灰出し: SS400 その他: SS400	-	-
	ブリッジ警報装置			灰シュートに含む			
	1号/2号/3号 ブリッジ解除装置		油圧駆動装置				
	助燃装置 1号/2号/3号	***		容量:30~180N·/h		雷動機	2.2
	助燃バーナ 1号/2号/3号 再燃バーナ	6	先混合式	中圧がス No.1 容量:30~180N·/h No.2 容量:30~180N·/h		電動機	2.2
	No.1/No.2 1号/2号/3号 シール用ファン	3	片吸込ターボ型	風量: 110 /min 静圧(吸込/吐出): -10mmAq/490mmAq 回転数: 2950rpm	ケーシング:SS400 インペ <sup>°</sup> ラ: 高張力鋼 シャフト: S35C	電動機	15
	1号/2号/3号 シール用ファン 吸込消音器	3		寸法: φ630×2200L 減音量: 20dB(A)	SS400	-	-

設備名	機器名称	数量	形式	仕様・構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
3. 飛灰処理設備	1号/2号/3号 落下灰水槽	3式	鋼板型水槽 チェーンスクレーパ方式		SS400 底板:12mm 側板:6mm		
	1号/2号/3号 落下灰コンベヤ	3	スクレーパコンベヤ	寸法: 600×12023 輸送能力: 0.2TON/h 輸送速度: 約1.0m/min.	本体: SS400	電動機(サイクロ)	0.4
	1号/2号/3号 灰押出機	3	油圧押出し方式	排出能力: 2TON/h(MAX.) 寸法: 2000×7257×1691D 動力: 油圧	装置本体: SS400 搬送部: SS400	油圧	
	1号/2号/3号 灰コンベヤ	3	スクレーパコンベヤ	寸法:1mW×11,885ml×7,186mH 輸送能力:4.9TON/h 輸送速度:約1.0m/min.	本体: SS400	電動機(サイクロ)	1.5
	1号/2号/3号 灰押出機排気ファ ン	3	シロッコファン	風量:70 /min 静圧:55mmAq	ケーシング: FRP インヘ <sup>°</sup> ラ: FEPP シャフト: S35C	電動機	0.4
	灰積出ホッパ 灰積出ホッパ防じん		カットゲート			油圧	
	カバー			Int comments		電動機	
	灰ピット	1	鉄筋水密コンクリート造	寸法: 2100W×5100LX×5300D 有効容量: 510(有効)	鉄筋水密コンクリート	-	-
	飛灰処理物ピット	1	鉄筋水密コンクリート製	寸法: 3600×4450X×5900D 有効容量: 93	鉄筋水密コンクリート	-	-
	灰クレーン	1	クラブバケット付き 天井走行クレーン	吊上荷重: 13.0TON 定格荷重: 7.0TON 切取容量(閉じきり容量): 3.5 スパン: 3.9m 揚程: 15.25m 走行距離: 約44m	本体:SS400 爪:SCM440 Eq	電動機	
	マシンハッチ					電動機	
	走行モータ	1+1	インバータモータ	走行速度: 60m/min 電磁ディスクプレーキ インパータ制御		電動機	5.5
	横行モータ	1+1	インバータモータ	走行速度:10m/min 電磁ディスクプレーキ インバータ制御		電動機	1.5
	巻上モータ	1+1	インバータモータ	主巻速度: 35m/min 電磁プレーキ インハータ制御		電動機	90
	開閉油圧装置 飛灰処理装置	1+1 1式	油圧方式	開閉時間:10/16sec		電動機	22
	飛灰贮槽 No.1/No.2	2	鋼板製円筒形	寸法:ID2000×8500H 容量: 22 計測: パドル式	SS400	-	-
	飛灰貯槽 No.1/No.2	2	バグフィルタ	寸法:500×500×1350H	SS400	電動機	0.2
	バグフィルタ 飛灰貯槽 No.1/No.2	2	自動払い落し式	ろ布面積: 2m2	SUS316L	(サイクロ)	6.0
	ヒータ 飛灰貯槽 No.1/No.2 バイブレータ No.1/No.2	4	アンバランス	加振力:600kg	3330102	電動機	0.25
	飛灰処理物搬送コ	2	ベルトコンベヤ	輸送能力: 1.5T/H	SS400	電動機	1.5
	ンベヤ No.1/No.2 飛灰定量供給機 No.1/No.2	2	テーブルフィーダ式	供給能力: 1.1T/H	SS400	(サイクロ) 電動機 (VVVF)	2.2
	NO.17 NO.2 飛灰処理物シュート	1	ベルトコンベヤ	輸送能力: 1.5T/H、4m/min	SS400	電動機	0.75
	コンベヤ 1 飛灰処理物シュート		,,,,,,	寸法: 0.8m×5.6mL 輸送能力: 1.5T/H、4m/min		(サイクロ) 電動機	
	コンベヤ 2 飛灰混練機 No.1/No.2	2	ベルトコンベヤ	寸法: 0.8m×2.1mL 能力: 1.1T/H(飛灰量)	SS400 ケーシング: SS400 パ・ト・ル: SS400+耐摩 耗鋼	(サイクロ) 電動機	0.75 37
	飛灰混練機				送りスクリュー: SS400+ 耐摩耗材		
	No.1/No.2 バイブレータ	1+1	アンバランス	加振力:100kg		電動機	0.075
	フィルタボックス No.1/No.2	2	エアフィルタ式		SS400		
	排風機 No.1/No.2	2	プレートファン	能力: 30N·/min 寸法: ID2325×2900H	SS400	電動機	3.7
	重金属固定剤貯槽 重金属固定剤移送	1	円筒型	容量:10	PE樹脂製 インへ <sup>°</sup> ラ: CR4	-	-
	ホ°ンフ゜ No.1 / No.2	2	渦巻き式	吐出容量:60 /h	12A 7: CR4 SCS13	電動機	0.75
	重金属固定剤注入槽 No.1/No.2 重金属固定剤注入	2	円筒式	容量: 0.7 寸法: 1650×1400H	PE	-	-
	里 歩 馬 回 足 利 注 八 ポンプ No.1/No.2/No.3/No.4	4	ダイヤフラム式	容量:55 /h	PVC	電動機 (VVVF)	0.4
	添加水貯槽 No.1/No.2	2	円筒型	寸法:1800×2045H 容量:4	PE樹脂製	-	-
	添加水供給ポンプ No.1/No.2/No.3/No.4	4	プランジャー式	吐出容量:275 /h	接液部: SUS304	電動機 (VVVF)	3.7
	No.1/No.2/No.3/No.4 除湿機	1		容量: 1.1 /min	プランジャー: SUS304	電動機	0.29

設備名	機器名称	数量	形式	仕様・構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
4. 汚水処理設備	灰汚水処理装置	1式	67 Tru 188	容量: 19.5			
	灰沈殿槽	1	角型槽	揚程: 2.9W×5.1L×1.5WD	コンクリート ケーシング:FC		
	水抜ポンプ	1	汚水水中ポンプ	容量: 0.1 /min 揚程: 7mAq	インヘ <sup>°</sup> ラ: SCS シャフト: SUS		0.4
	水抜ポンプ吊上装 置	1	電気チェンプロック	容量: 0.5ton	鋼製		0.8
	灰汚水槽	2	角型槽	容量: 5.1 寸法: 1.8mW×2.2mL×1.3mWD	コンクート		
	灰汚水槽撹拌ポンプ	4	汚水水中ポンプ (簡易着脱装置付)	容量: 0.3 /min 揚程: 5mAq	ケーシング:FC インペ <sup>°</sup> ラ:SCS シャフト:SUS		0.75
	スケールインヒビ ター貯槽	1	円筒竪型	容量:55 寸法:0.4mφ×0.61mTH	PVC		
	スケールインヒビ ター注入ポンプ No.1/No.2/No.3	3	電磁定量ポンプ	容量: 4cc/min 揚程: 5kgcm2	ヘット* : PVDF ハ*ルフ* : CE タ*イヤフラム : PTFE		0.005
	薬品輸送ポンプ No.1/No.2	2	電動ハンディポンプ	容量:10 /min 揚程:2mAq	ケーシング: PP インヘ <sup>°</sup> ラ: PP		0.04
			汚水水中ポンプ	物性	ケーシング:FC		0.75
	灰汚水ポンプ	4	(簡易着脱装置付)	揚程:9m	インペラ: SCS シャフト: SUS		0.75
污水処理設備	汚水処理設備	1式	凝集沈殿・ろ過	設計処理量:103.1 /d 処理方式:凝集沈殿+3過 水質:原水:処理水 pH 8~12 5.8~8.6 SS 200 30以下 BOD 200 - COD 200 -			
	灰汚水貯留槽	1	角型槽	容量: 74 寸法: 6.13mW×6.865mL×2.0mWD	コンクリート		
が No PX No	灰汚水貯留槽撹拌 ポンプ No.1/No.2	2	汚水水中ポンプ (簡易着脱装置付)	容量: 3.2 /min 揚程: 5mAq	ケーシング:FC インペ <sup>°</sup> ラ:SCS シャフト:SUS	電動機	7.5
	灰汚水貯留ポンプ No.1/No.2	2	汚水水中ポンプ (簡易着脱装置付)	容量:0.1 /min 揚程:10mAq	ケーシング: FC インペ <sup>°</sup> ラ: SCS シャフト: SUS	電動機	0.75
	凝集沈殿処理装置 分配槽 No.1/No.2	2	三角堰式	流量範囲:1~14 /H	FRP		
	重金属処理槽	2	角筒竪型槽	容量:1.3	110		
	No.1/No.2 重金属処理槽撹拌	2	角筒竪型槽	寸法: 0.8 mW×1.2 mL×1.85 mSH 容量: 1.3			
	機 pH調整槽 No.1/No.2	2	———— 角筒竪型槽	寸法:0.8mW×1.2mL×1.85mSH 容量:1.3			
	pH調整槽撹拌機	2	竪型プロペラ	寸法: 0.8mW×1.2mL×1.85mSH 主軸回転数: 295rpm	SUS304		0.4
	No.1/No.2 凝集槽 No.1/No.2	2		容量:2	 鋼板製		
	凝集槽撹拌機	2	竪型パドル	寸法:1.2mW×1.2mL×1.85mSD 主軸回転数:52rpm	SUS304		0.4
	No.1/No.2 凝集沈殿槽	2		寸法: 2.5 φ × 2.5 m SWD			0.1
	No.1/No.2 凝集槽掻寄機		丸型槽	S/L=22 /m2·日	SS400		0.4
	No.1/No.2	2	中央駆動懸垂型	速度:1.68m/min 容量:1.5 /h	SS400 ケーシング:HiCrFe		0.4
	汚泥引抜ポンプ	4	横型渦巻き式 	揚程: 4mAq	インヘ <sup>°</sup> ラ: HiCrFe		0.75
	薬品注入設備 苛性ソーダ貯槽	<u>1式</u> 1	———————————— 円筒竪型	容量:6	SS400		
	苛性ソーダ移送ポ			寸法:1.8m φ × 2.4mSH 容量:20 /min	ケーシング:ETFE		0.4
	ンプ No.1/No.2	2	遠心マグネットポンプ	揚程:10mAq	インヘ <sup>°</sup> ラ: ETFE ヘット : PVC		0.4
	苛性ソーダ注入ポ ンプ	4	電磁定量ポンプ	容量:30cc/min 揚程:5kgcm2	ハ゛ルフ゛: SUS ダイヤフラム: PTFE		0.019
	塩酸貯槽	1	円筒竪型	容量: 6 寸法:1.8m φ × 2.4mSH	FRP		
	ガス吸収塔A	1	円筒竪型	容量: 35 寸法: 300A×1200SH	PVC		
	塩酸移送ポンプ	2	遠心マグネットポンプ	揚程:20 /min×10mAq	ケーシング:ETFE		0.4
	No.1/No.2 塩酸希釈槽	2	(ノンシール) 円筒竪型	寸法:1m φ × 1.6mSH	インヘ <sup>°</sup> ラ: ETFE FRP		
	塩酸希釈槽撹拌機 No.1/No.2	2	竪型プロペラ	主軸回転数: 295rpm	SS400+ゴムライニング		0.4
	ガス吸収塔B	1	円筒竪型	容量:12.5 寸法:200A×0.9mSH	PVC		
	塩酸注入ポンプA	2	ダイヤフラム定量ポンプ	容量:0.9 /min 揚程:5kgf/cm2	ヘット : PVC パルプ : CE ダイヤフラム : PTFE		0.2
	塩酸注入ポンプB	3	電磁定量ポンプ	容量:30cc/min 揚程:5kgcm2	ヘット*: PVC ハ*ルフ*: CE タ*イヤフラム: PTFE		0.019
	凝集剤貯槽	1	円筒竪型	容量:6 寸法:1.8m φ × 2.4mSH	FRP		
	凝集剤移送ポンプ	2	遠心マグネットポンプ	揚程:20 /min×10mAq	ケーシング:ETFE		0.4
	No.1/No.2 凝集剤希釈槽	2	(ノンシール) 円筒竪型	容量:500	インヘ <sup>°</sup> ラ: ETFE FRP		
	No.1/No.2 凝集剤希釈槽撹拌	2	一 ・	寸法: 0.8m φ × 1.0mSH 主軸回転数: 295rpm	SS400+ゴムライニング		0.2
	機 No.1/No.2		可服式ノロハフ空	土   1   1   1   1   1   1   1   1   1	3340UTJ 471-J/J		U.Z

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
4. 汚水処理設備	凝集剤注入ポンプ No.1/No.2/No.3	3	電磁定量ポンプ	容量:75cc/min 揚程:5kgf/cm2	ヘット:PVDF ハ゛ルフ゛: CE ダイヤフラム: PTFE		0.030
	凝集助剤切出装置 No.1/No.2	2	定量切出し型	ホッパ容量: 50 切出能力: 25~100cc/min	PVC/SUS		0.1
	凝集助剤吊上装置	1	電磁トロリ付 電磁チェンブロック	容量:0.5TON	鋼製		0.8 0.4
	凝集助剤溶解槽 No.1/No.2	2	円筒竪型	容量∶2 寸法∶1.6m <i>φ</i> ×1.225mSH	FRP		
	凝集助剤溶解槽撹 拌機 No.1/No.2	2	竪型プロペラ	主軸回転数: 295rpm	SUS304		1.5
	凝集助剤注入ポン プ No.1/No.2	3	ダイヤフラム定量ポンプ	容量: 0.46 /min 揚程: 5kgf/cm2	ヘット*: PVC ハ*ルフ*: SUS ダイヤフラム: PTFE		0.2
	次亜塩素酸ソーダ 貯槽	1	円筒竪型	容量:110 寸法:0.5m <i>φ</i> ×0.75mSH	PVC		
	次亜塩素酸ソーダ 注入ポンプ No.1/No.2	2	電磁定量ポンプ	容量:6cc/min 揚程:5kgf/cm2	ヘット* : PVDF ハ*ルフ* : CE ダイヤフラム : PTFE		0.007
	液体キレート貯槽	1	円筒竪型	容量:1 寸法:1.0m φ ×1.3mSH	FRP		
	液体キレート移送ポ ンプ No.1/No.2	2	遠心マク゛ネットポ゚ンプ゜ (ノンシール)	容量: 20 /min 揚程: 10mAg	ケーシンク・: ETFE インヘ・ラ: ETFE		0.4
	液体キレート輸送ポ	2	電動ハンテ・ィホ・ンフ・	容量:10 /min 揚程:3mAa	ケーシンク・: SUS		0.04
	ンプ No.1/No.2 液体キレート希釈	2	—————————————————————————————————————	容量:500	インヘ <sup>°</sup> ラ: ETFE FRP		
	槽 No.1/No.2 液体キレート希釈			寸法:0.8m			
	槽撹拌機 No.1/No.2	2	可搬式プロペラ型	主軸回転数: 295rpm	SUS304		0.2
2	液体キレート注入ポ ンプ No.1~No.4	4	電磁定量ポンプ	容量:70cc/min 揚程:6kgf/cm2	パルプ:CE タ*イヤフラム:PTFE		0.03
	中和槽	1	円筒竪型(解放形)	容量∶2 寸法: φ1.4m×1.7mSH	鋼板製		
	中和槽撹拌機	11	竪型プロペラ	主軸回転数: 295rpm 容量:	SUS304		0.75
	ろ過処理設備 ろ過器送水槽	1式 1	円筒竪型(解放形)	揚程: 容量:2			
	ろ過器送水ポンプ			容量:0.1 /min	ケーシング:FC		4.5
	No.1/No.2 急速ろ過器	2	横型渦巻きポンプ	揚程:15mAq	インヘ <sup>®</sup> ラ: FC シャフト: SUS		1.5
	No.1/No.2	2	円筒下向流圧力式 電磁トロリ付	寸法:0.8m	鋼板製		0.8
	ろ材吊上装置	1	電動チェンブロック	容量: 0.5TON	鋼製		0.8
	ろ過逆洗水槽	1	角型槽	容量: 13.8 寸法: 2.565mW×2.725mL×2mWD	コンクリート		
	逆洗ポンプ No.1/No.2	2	水中ポンプ (簡易着脱装置付)	揚程:0.34 /min×15mAq	ケーシング:FC インヘ <sup>®</sup> ラ:FC シャフト:SUS		3.7
	空洗ブロワー	2	ルーツブロワ	揚程:0.5 /min×3mAq	ケーシンク*: FC ローター: FCD		0.75
	汚泥処理装置	1式		容量:19			
	汚泥貯槽	1	角型槽	付法: 2.565mW×4.1mL×2mWD	コンクリート		
	汚泥貯槽撹拌ポンプ	2	水中汚物ポンプ (簡易着脱装置付)	揚程:1 /min×7mAq	ケーシング:FC インヘ <sup>®</sup> ラ:SCS シャフト:SUS		3.7
	汚泥供給ポンプ No.1/No.2	2	定量容積式ポンプ (一軸スネークポンプ)	揚程:0.6 /h×15mAq	ローター: SUS ステーター: NBR ケーシング: FC		0.4
	脱水機	1	遠心式デカンタ	絶熱量:30kg-DS/h 給泥量:0.6 /h	sus		3.7 2.2
	脱水ケーキ移送ポンプ	1	ー軸スネーク付ポンプ (フィーダ付)	容量:0.15 /h×8kg/cm2	ローター: SUS ステーター: NBR ケーシング: FC		1.5 + 0.4
	脱水助剤切出装置 No.1/No.2	2	定量切出し形	ホッパ容量: 50 切出能力: 25~100cc/min	PVC/SUS		0.1
	脱水助剤溶解槽 No.1/No.2	2	円筒竪型	容量: 2 寸法: 1.6m φ × 1.225mSH	FRP/SUS		
	脱水助剤溶解槽撹 拌機 No.1/No.2	2	竪型プロペラ	主軸回転数: 295rpm	SUS304		1.5
	脱水助剤注入ポンプ	2	ダイヤフラム定量ポンプ	容量:5.0 /min 揚程:5kgf/cm2	ヘット・: PVC ダ・イヤフラム : PTFE ホール: SUS		0.4
	ごみ汚水処理装置	1式		☆是. 0	η, <sub>IV</sub> , 3U3		
	ごみ汚水槽	1	角型槽	容量:0 寸法:2.2mW×7.9mL×0.8mSD	コンクリート		
	ごみ汚水ポンプ No.1/No.2	2	汚水水中ポンプ (簡易着脱装置付)	容量: 0.1 /min 揚程: 20mAq	ケーシング*: FC インヘ°ラ: SCS シャフト: SUS		7.5
	放流槽	1	角型槽	容量: 45.5 寸法: 3.165mW×7.225mL×2mWD	コンクリート		
	放流ポンプ No.1/No.2	2	水中ポンプ (簡易着脱装置付)	容量:0.08 /min 揚程:20mAq	ケーシング:FC インヘ <sup>°</sup> ラ:FC シャフト:SUS		1.5
	再使用水ポンプ	2	水中ポンプ (簡易着脱装置付)	容量: 0.2 /min 揚程: 40m	ケーシング: FC インペ <sup>°</sup> ラ: FC シャフト: SUS		11

設備名	機器名称	数量	形式	仕様・構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
5. 通風•煙突設備	1号/2号/3号 押込ファン	3	ターボファン	風量: 410 /min 静圧(吸込/吐出): -20mmAq/420mmAq 回転数: 1480rpm	ケーシング:SS400 インヘ <sup>°</sup> ラ:高張力鋼 シャフト:S35C	電動機	55
	1号/2号/3号 二次燃焼用ファン	3	方吸込ターボ型	風量: 220 /min 静圧(吸込/吐出): −20mmAq/980mmAq 回転数: 2970rpm	ケーシング:SS400 インヘ <sup>°</sup> ラ:高張力鋼 シャフト:S35C	電動機	55
	1号/2号/3号誘引 ファン	3	方吸込ターボ型	風量:1350 /min 静圧(吸込/吐出):-660mmAq/40mmAq 回転数:980rpm 排ガス温度:210°C	ケーシング:SS400 インヘ <sup>°</sup> ラ:SUS304L シャフト:S35C	電動機(*)	260
	誘引ファン 回転数制御装置	3	オメガクラッチ(油圧)	ファン軸動力: 240kW×980min-1 GD2: 5000kgfm2 回転数制御範囲: 30~100% 伝熱面積: 345m2		-	<u>-</u>
	1号/2号/3号 押込用蒸気式空気 予熱器	3	フィンチューブ型	ケース側 管側 運転圧力: - 29kg/cm2G 運転温度(I/O): 20/200℃ 280/220℃ シェルサイズ <sup>*</sup> : 1175W×950L×1330H 伝熱面積: 345m2 容量: 712,347(kcal/h)	ケーシング:SS400 伝熱管:STB340SC	1	-
	1号/2号/3号 二次燃焼用蒸気式 空気予熱器	3	フィンチューブ型	ケース側 管側 運転圧力: - 21kg/cm2G 運転温度(I/O):20/200°C 270/220°C シェルサイス <sup>*</sup> : 670W×950L×1180H 伝熱面積:154.2m2 容量:289,000(kcal/h)	ケーシング:SS400 伝熱管:STB340SC	-	-
	1号/2号/3号 白煙防止用空気加 熱器	3	フィンチューブ型	ケース側 管側 運転圧力: - 21kg/cm2G 運転温度(I/O):20/200°C 285/220°C シェルサイス・: 670W×950L×770H 伝熱面積:110.5m2	ケーシング: SS400 伝熱管: STB340SC	-	-
	1号/2号/3号 煙突内筒	3		ガス速度:15m/s以下 GL+100m 筒身口径:1.25m 頂口径:0.82m	SUS316L		
6. 集じん設備	1号/2号/3号 ろ過式集じん機	3	バグフィルタ型	寸法:7860L×2600W×1220H ろ過面積:1080m2	耐硫酸露点腐食鋼	パルス方式	-
0. ×0.000 m	1号/2号/3号 ろ過式集じん機下 ダストコンベヤ	3	スクリュー式コンベヤ	寸法: 500W×9700L 搬送能力: 1.15TON/H	耐硫酸露点腐食鋼	電動機 (チェーン) (サイクロ)	2.2
	1号/2号/3号 ろ過式集じん機下 ダスト排出ロータ リーバルブ	3	ロータリーバルブ	寸法:350□×400H 搬送能力:1.4TON/H	耐硫酸露点腐食鋼	電動機 (チェーン) (サイクロ)	0.4
	1号/2号/3号 ろ過式集じん機下 ホッパ加温ヒータ	72	シーズビータ	容量 : 1kW×24本	SUS304	-	1kW × 24
	1号/2号/3号 ろ過式集じん機 温風循環ヒータ	3	シーズビータ	容量:18kW×2回路 風量:60 /min at120°C 寸法:580□×1130H	ヒータエレメント: SUS304 本体: SPCC	-	18kW ×2
	1号/2号/3号 ろ過 式集じん機 温風循環ファン	3	ターボファン	容量: 60 /min 圧力: 300mmAq	SS400	電動機	7.5
	1号/2号/3号 ろ過式集じん機下 ダストコンベヤ加温 ヒータ	18	シーズビータ	容量: 1kW×6本	SUS304	-	1kW ×6
	1号/2号/3号 減温塔下 ダスト排出コンベヤ 加温ヒータ	3式	シーズビータ	容量:10kW×6本	SUS304	-	1kW × 10
	有害ガス除去装置	3式		入口ガス量: 33,100N·/h			
	1号/2号/3号 減温塔	3	鋼板製水噴霧式	ハロガス温度: 250°C 出ロガス温度: 150°C 寸法: ID3000×17900H	耐硫酸露点腐食鋼 (6mm)	-	-
	1号/2号/3号 減温塔下 ダスト排出ロータ リーバルブ	3	ロータリーバルブ	接続口径:315×580 搬出能力:400kg/H	耐硫酸露点腐食鋼	電動機 (チェーン) (サイクロ)	1.5
	1号/2号/3号 減温塔下 ダスト排出コンベア	3	スクリュー式コンベヤ (2軸パドル式)	寸法: パドル外径 φ 240 × トラフ長さ3850 搬送能力: 350kg/H	耐硫酸露点腐食鋼	電動機 (チェーン) (サイクロ)	3.7
	1号/2号/3号 減温塔バイブレータ No.1~No.3	3×3	アンバランス	加振力: 200kg		電動機	0.15
	減温水 マニホールド						<u> </u>
	噴霧空気 マニホールド						
	1号/2号/3号 噴霧ノズル	6×3			SUS316L		
	減温塔下 ホッパ加温ヒータ	3×3	シーズビータ	容量:ホッパ6kw/基 マンホール1kW/基	SUS316L		7

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
集じん設備	減温水タンク	1	円筒竪型槽	寸法:ID1800×3430H 容量:3.6 (有効)	FRP	-	-
SKO, O EX MI	減温水ポンプ No.1~No.4	3+1	遠心式渦巻ポンプ	容量: 1.8 /h 揚程: 100mH 軸封: グランドパッキン	ケーシング: FC200 インヘ <sup>®</sup> ラ: SCS13 シャフト: SUS304	電動機	5.5
消石灰貯	消石灰貯留塔	1	鋼板製円筒型	寸法:ID4200×16500H 容量:170	SS400	-	-
	消石灰貯留塔排出 装置(撹拌用)	1	テーブルフィーダー		SS400	電動機	0.75
	消石灰定量供給装置	3	テーブルフィーダー	切出し能力: 173.8kg/h(MAX.)	SS400	電動機	0.75 × 3
消石灰貯留塔 エアレーション装置 消石灰受入用バグ フィルタ 消石灰貯留塔 バイブレータ 反応助剤貯留塔 反応助剤貯留塔 地装置(撹拌用) 反応助剤定量供給	消石灰貯留塔	2					
	消石灰受入用バグ フィルタ	1	バグフィルタ	本体耐圧:-700mmAq~+380mmAq ろ布面積:20m2 払い落し方式:パルスジェット式 圧縮エア−消費量:142N・/min	本体: SS400	-	-
	1	鋼板製営円筒型	寸法:ID2000×6500H 容量:12	SS400	-	-	
		1	テーブルフィーダー		SS400	電動機	0.7
	反応助剤定量供給	3	テーブルフィーダー	切出し能力: 17.4kg/h(MAX.)	SS400	電動機	0.2
	<u>装置</u> 反応助剤貯留塔	2					×
	エアレーション装置 反応助剤受入用バ グフィルタ	1	バグフィルタ	本体耐圧:-700mmAq~+380mmAq ろ布面積:20m2 払い落し方式:パルスジェット式 圧縮エアー消費量:142N・/min	本体: SS400	-	-
	反応助剤貯留塔バ イブレータ						
	消石灰 供給ブロワ	3+1	三葉ロータリーブロワ	容量:9.5 /min 圧力:2000mmAg	ケーシンク : FC200 ロータ : FCD500	電動機	7.5
	No.1~No.4 集じん設備用 空気圧縮機 No.1~No.3	3+1	自動アンローダ式 スクリュー型	世出空気量: 12.3・/min 吐出圧力: 7kg/cm2G 潤滑方式: 強制潤滑	н-ў:РСБ500	電動機	圧縮 75 ドラ1
	集じん設備用 空気槽	1	竪型円筒槽	寸法:ID1300×2620TL 内容量:4 設計圧力:8.5kg/cm2G	SS400	-	-
	1号/2号/3号 集じん設備用 空気除湿器	3				-	=
	活性炭 貯留塔	1	鋼板製円筒型	寸法:ID2000×9000H 容量:20	SS400	-	-
	活性炭貯留塔排出 装置	1	テーブルフィーダー		SS400	電動機	0.7
	活性炭定量供給装置(供給用)	3	テーブルフィーダー	切出し能力: 4.7kg/h(MAX.)	SS400	電動機	0.2 ×
	活性炭受入用バグフィルタ	1	バグフィルタ	本体耐圧:-500mmAq~+380mmAq ろ布面積:20m2 払い落し方式: パルスジェット式	本体: SS400	-	-
	活性炭貯留塔 エアレーション装置			圧縮エアー消費量: 142N·/min			
	活性炭貯留塔バイ ブレータ						
	1号/2号/3号 ダストコンベヤA No.1	3	フライトコンベヤ	輸送能力:3TON/h(MAX.) 輸送速度:6m/min 機長:29.925m(水平) 7.39m(垂直) 傾斜:90°		電動機(サイクロ)	3.7
	1号/2号/3号 ダストコンベヤB No.1	3	フライトコンベヤ	輸送能力:3TON/h(MAX.) 輸送速度:6m/min 機長:31.025m(水平) 7.39m(垂直) 傾斜:90°		電動機(サイクロ)	3.7
	1号/2号/3号 ダストコンベヤA No.2	1	フライトコンベヤ	輸送能力:3TON/h(MAX.) 輸送速度:6m/min 機長:10.95m(水平) 10.55m(垂直) 傾斜:90°	SS400	電動機(サイクロ)	2.
	1号/2号/3号 ダストコンベヤB No.2	1	フライトコンベヤ	輸送能力:3TON/h(MAX.) 輸送速度:6m/min 機長:10.95m(水平) 10.55m(垂直) 傾斜:90°	SS400	電動機(サイクロ)	2.2
	1号/2号/3号 ダストコンベヤA No.3	1	スクリューコンベヤ	輸送能力:3TON/h(MAX.) 輸送速度:6m/min 機長:1.512m(水平)	SS400	電動機 (サイクロ)	1.5
	1号/2号/3号 ダストコンベヤB No.3	1	スクリューコンベヤ	輸送能力:3TON/h(MAX.) 輸送速度:6m/min 機長:2.574m(水平)	SS400	電動機(サイクロ)	1.5

設備名	機器名称	数量	形式	仕様・構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
7. 窒素酸化物除去設備	1号/2号/3号 窒素酸化物除去設 備	3式					
1 1 1 1 2 1	1号/2号/3号 ガス再加熱器	3	蒸気加熱式 ベアチュープ型	(1)排ガス条件 排ガス量: 14000~37000N·/h 入口ガス温度: 140℃ 出口ガス温度: 210℃ (2)蒸気条件: 2060KPa・G(21kgf/・・G)、 270℃ (3)制御方式: 温度制御	伝熱管: STB340SC ケーシンク・: SS400	-	-
	1号/2号/3号 脱硝反応塔	3	パラレルフロー式	排がス量: 3700N·/h 設計圧力: -700mmAq 温度: 210℃(MAX.250℃) 寸法: 3000×4000×1670H 触媒: 1ユニット □470×600H 17.1・/炉 1プロック 2×2×3ユニット(17.1×3炉= 51.3 ) 2×3プロック×2槽	SS400	-	ı
	1号/2号/3号 脱硝反応塔スート ブロワ 1/2/3/4	4×3	定置回転式	全長(概寸): 3415mm(本体+エレメントチュー プ) 流体: 蒸気270°C、21kg/・G	チューフ・: SUS304TP	電動機(ギヤード)	0.2
	アンモニア水ポンプ No.1~No.4	3+1	ダイヤフラム式	容量:0.5 /min 吐出圧: kg/cm2G 自動ストローク調整 貯留密度:25%	接液部: PTFE/SUS304	電動機	0.2
	1号/2号/3号 脱硝反応塔温風循 環ヒータ	3式	電気ヒータ	ジースと-タ: kcal/h 回路分割:32.5kW×2 0.3·/1基につき 流量:1700N·/h 設計温度 ℃ 使用温度:140℃(IN)/210℃(OUT) 設計圧力:400mmAq 使用圧力:200mmAq 加熱方法: ワンパス	ヒータ: ケーシング:		65
	1号/2号/3号 脱硝反応塔温風循 環ファン	3	ターボファン	容量: 1700N·/h×400mmAq		電動機	
	1号/2号/3号 アンモニア気化装 置	3	カランドア型気化器 (多管式全量蒸発式)	蒸発量: 14.5kg/h 容量: 0.3	シエル: SUS304 チューフ*: SUS304TB- S チューフ*シート: SUS304 チャンネルカハ*ー: SUS304	1	-
	アンモニア水吸収槽	1	竪形円筒槽	設計圧力: 2500mmAq 設計温度: 常温 常用温度: 常温 寸法: ID1400×2500H 容量: 3	本体: SUS304 充填物:	ı	I
	1号/2号/3号 アンモニア注入器	3	多管式	注入管:40A×3000、12本 アンモニア吹出孔: φ8×8ヶ所(1本当たり)	SUS400		
	アンモニア水貯槽 No.1/No.2	2	鋼板製円筒縦型	設計圧力:1.9kg/cm2G 常用圧力:0.5kg/cm2G(0.05MPa) 設計温度:40°C 寸法: φ2000×4260H 容量:10 濃度:25%	本体: SUS304		
	アンモニア水処理 槽 アンモニア排水移 送ポンプ No.1/No.2						

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
8. 术行設備	1号/2号/3号 ボイラ	3	単胴自然循環式 (屋内式)	最高使用圧力: 33kg/cm2G(3240kPa) 常用圧力: 30kg/cm2G(2940kPa)(ドラム 内) 蒸気発生量: 17.37TON/h 蒸気温度: 296℃(過熱器出口) 給水温度: 150℃ 気水ドラム寸法: ID1400×4780TL	気水ドラム: SB450 管&管寄せ: STB340S STPT370S	-	1
	1号/2号/3号 ドラム安全弁	3	全量式	流体名:飽和蒸気 必要吹出量:18000kg/h 公称吹出量:28438kg/h 吹出圧力:33kg/cm2G(3240kPa) 吹下圧力:2.31kg/cm2G(226kPa) 吹出温度:240℃	本体:SCPH2 弁:SUS630 弁座:A182F11	1	-
	1号/2号/3号 過熱器安全弁	3	全量式	流体名:過熱蒸気 必要吹出量:4000kg/h 公称吹出量:5989kg/h 吹出圧力:30kg/cm2G(2950kPa) 吹下圧力:2.1kg/cm2G(207kPa) 吹出温度:296℃	本体:SCPH2 弁:SUS630 弁座:A182F11	ı	ı
	1号/2号/3号 安全弁消音器	3		寸法: φ765×178TL	本体: SS400 吸音材: グラスウール	-	_
	<u>女主井月自命</u> 1号/2号/3号 蒸発管 No.1/No.2/No.3	38	自然循環式		吸音材: // 7x/)=ル   管&管寄せ:   STB340-S他	-	-
	1号/2号/3号 エコノマイザ No.1/No.2	3S		伝熱面積: 503m2	管&管寄せ: STB340-S他	-	ı
	1号/2号/3号 加熱器 No.1/No.2	3S		伝熱面積: 190m2	管&管寄せ: STB340-S他	-	-
	1号/2号/3号 過熱蒸気減温器	3		寸法:100A×1200L 注水コントロール弁付属(TCV-1/2/354)	本体: SCPH2	-	_
	1号/2号/3号 ベントステーション	3	オープンタイプ	/上/ハコノトロ		-	-
	1号/2号/3号 ドレンヘッダ No.1	3	オープンタイプ			1	-
	1号/2号/3号 ドレンヘッダ No.2	3	オープンタイプ			-	-
	1号/2号/3号 ドレンヘッダ No.3	3	オープンタイプ			-	-
	1号/2号/3号 過熱器ドレンヘッダ	3	クローズドタイプ	寸法:100A		-	-
	1号/2号/3号 槌打装置 No.1~No.5	5×3	電動槌打式	電動槌打式			
	1号/2号/3号 ボイラ機械式槌打 装置用電動機 No.1~No.5	5×3	サイクロ電動機	減速比: 165: 1 回転数: 1500/9.1rpm 出力定格トルク: 105kgf・m		電動機(サイクロ)	
	1号/2号/3号 ボイラ給水ポンプ No./No.2	3+3	多段遠心式ポンプ	容量:(24+8)·/h 吐出圧力:約43kg/cm2G(約4150kPa) 揚程:410mH 軸封:メカニカルシール	ケーシング:SCPH21 インヘ <sup>°</sup> ラ:CAIS シャフト:SUS420I2	電動機(直結)	
	1号/2号/3号 脱気器	3		寸法:ID1400×4600TL 処理水溶存酸素量:0.03mg/·(MAX) 加熱蒸気量:2.38TON/h 最高使用圧力:6kg/cm2G(589kPa) 最高使用温度:165℃ 運転圧力:3.8kg/cm2G(373kPa) 運転温度:150℃ 処理水温度:150℃			
	1号/2号/3号 脱気器安全弁	3	コンベンショナル	流体名:飽和蒸気 必要吹出量:3000kg/h 公称吹出量:3629kg/h 吹出圧力:6kg/cm2G(589kPa) 吹下圧力:0.6kg/cm2G(59kPa) 吹出温度:165℃ 呼び径:入口50、出口88	本体: SCPH2 弁: SUS630 弁座: S25C+ステライト	-	-
	1号/2号/3号 脱気器消音器	3		寸法: $\phi$ 350×1300TL 設計温度:180℃	本体: SS400 吸音材: グラスウール	-	-
	清缶剤注入装置	1式	可変容量形 連続ポンプ注入式	ш.д. тос V	<u> ДЕЙ. / /^ / N</u>		
	清缶剤貯槽	1	連続ホンフ注人式 角形角筒槽	寸法:1000×1000×1000H 容量:1000 コンテナ	ポリエチレン	-	_
	清 <del>缶</del> 剤溶解槽 No.1/No.2	2	角形角筒槽	古法: 700 × 1500 × 650     容量: 260 × +260	SUS304		

設備名	機器名称	数量	形式	仕様∙構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
8. 赤行設備	清缶剤溶解槽 No.1撹拌機/No.2撹 拌機	2	可搬型(プロペラ)	可搬式プロペラ型	SUS304	電動機 (ギヤ直結)	
	清缶剤移送ポンプ No.1/No.2	2	プランジャポンプ	容量: 206cc/min 吐出圧: 15kg/cm2	SUS304	電動機 (ギヤ直結)	
	清缶剤注入ポンプ No.1~No.4	4	プランジャポンプ	容量: 18cc/min 吐出圧力: 33kg/cm2G(約5880kPa)	SUS304	電動機 (直結)	
	脱酸剤注入装置	1式	可変容量形 連続ポンプ注入式				
	脱酸剤貯槽	1		寸法:1000×1000×1000 容量:1000 コンテナ	ポリエチレン		
N 形 N	脱酸剤溶解槽 No.1/No.2	2	角形角筒槽	寸法: 750×900×650H 容量: 150 +150	SUS304	-	-
	脱酸剤・溶解槽 No.1撹拌機/No.2撹 拌機	2	可搬型(プロペラ)	可搬式プロペラ型	SUS304	電動機 (ギヤ直結)	
	脱酸剤移送ポンプ No.1/No.2	2	プランジャポンプ	容量:620cc/min 吐出圧力:15kg/cm2G	SUS304		
	脱酸剤注入ポンプ No.1~No.4	4	プランジャポンプ	容量:10cc/min 吐出圧力:10kg/cm2G	SUS304	電動機 (直結)	
	1号/2号/3号 缶水連続ブロー測 定装置	3	放流連続ブロー式	プロー圧力: MAX.33kg/cm2G(3290kPa) : NOR.30.0kg/cm2G(2950kPa) プロー水温度: MAX.240°C &NOR.233°C			
	1号/2号/3号 ブロータンク	3	竪型円筒槽	寸法:ID900×1200H 容量:0.8 設計圧力:大気圧 設計温度:100℃	SS400	-	-
	1号/2号/3号 ブロー水冷却器	3	横型シェル&チュープ式	シェル寸法: 150A×1618L 伝熱面積: 1.82m2 使用圧力(シェル側): 大気圧 使用圧力(チュープ側): 2kg/cm2G(20kPa) 使用温度(シェル側): IN100°C/OUT40°C 使用温度(チュープ側): IN32°C/OUT37°C	シエル: SUS304TP チュープ: SUS304	_	I
	1号/2号/3号 ボイラブロー蒸気冷 却器	3	横型シェル&チュープ式	ジェル寸法: 250A × 1220L 伝熱面積: 3.42m2 使用圧力(ジェル側): 大気圧 使用圧力(チューフ・側): 2kg/cm2G(20kPa) 使用温度(ジェル側): IN100°C/OUT100°C 使用温度(チューフ・側): IN32°C/OUT37°C			
	1号/2号/3号 缶水用サンプリング クーラ	3	浸積式クーラ	ジェル寸法: Ø139.8×500H 伝熱面積:0.31m2 サンプルコイル寸法: OD10×2t	シェル: SUS304TP チューフ・: SUS316	-	-
	給水用サンプリング クーラ	3	浸積式クーラ	シェル寸法: φ139.8×500H 伝熱面積: 0.31m2 サンプ・ルコイル寸法: OD10×2t	シェル: SUS304TP チューフ・: SUS316	-	-
	復水用サンプリング クーラ	1	浸積式クーラ	シェル寸法: φ139.8×500H 伝熱面積: 0.31m2 サンプ・ルコイル寸法: OD10×2t	シェル: SUS304TP チューフ・: SUS316	-	-
	1号/2号/3号 高圧蒸気だめ	1	横型円筒槽	寸法:500A×8100 容量:1.6 設計圧力:33kg/cm2G(3240kPa) 設計温度:326℃ 常用圧力:26kg/cm2G(2550kPa) 常用温度:295℃	本体: SB410	-	1
	1号/2号/3号 ボイラ下ダストコン ベヤ No.1	3	フライトコンベヤ ダブルチェーン	輸送能力: 650kg/h 輸送速度: 5.5m/min 機長: 11.080m(水平)	本体: SS400	電動機(サイクロ)	
	1号/2号/3号 ボイラ下ダストコン ベヤ No.2	3	フライトコンベヤ ダブルチェーン	輸送能力: 650kg/h 輸送速度: 5.5m/min 機長: 3.95m(水平)	本体: SS400	電動機 (サイクロ)	
	1号/2号/3号 輻射部ダストコンベ ヤ	3	スクリューコンベヤ	輸送能力: 650kg/h 輸送物: ポイラ飛灰 機長: 5174m スクリュー寸法: φ400×400P	本体: SS400	電動機(サイクロ)	
	1号/2号/3号 輻射部下ダブルダ ンパ	3	ダブルダンパ	輸送能力: 650kg/h 輸送物: ボイラ飛灰 外側寸法:1.S□320mm フランジ面間: 800mm	本体: SS400 シャフト: S45C	電動機(サイクロ)	
	1号/2号/3号 ボイラ下ダブルダン パ No.1~No.3	9	ダブルダンパ	輸送能力:650kg/h 輸送物:ポイラ飛灰 外側寸法:1.S□320mm フランジ面間:800mm	本体: SS400 シャフト: S45C	電動機(サイクロ)	
	1号/2号/3号 ダストコンベヤ下 ダブルダンパ	3	ダブルダンパ	輸送能力: 650kg/h 輸送物: ボイラ飛灰 外側寸法: 1.S口320mm フラン・面間: 800mm	本体: SS400 シャフト: S45C	電動機(サイクロ)	

<b>備名</b>	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW
<b>t備</b>	発電設備	1-					
	蒸気タービン発電機 蒸気タービン	1式 1	復水タービン	公称圧力: 6000kW 主蒸気圧力: 25kg/cm2G(2450kPa) 排気圧力(真空)0.25ata(77kPa) 蒸気量: 37.76T/h 主蒸気温度: 278~293℃ 排気温度: 64℃ 定格回転数: 6767/1500rpm 段数: 6段、軸封: ラビリンス	車室: SCPH2 動翼: SUS410J1 隔板: SB410 噴口: SUS410J1 SUS405 車軸円板: 3%Cr-Mo	蒸気	-
	ターニング装置	1	電動式	電動機回転数: 1500rpm		電動機	3.7
	減速装置	1	はすば1段減速式	9-三2/5速度:50rpm 公称伝達出力:6000kW 回転数:6767/1500rpm 潤滑方式:強制給油 減速比&段数:1/4512&1段	小歯車: SNCM420 大歯車: SCM420 大歯車軸: S45C ケーシング: FC250	蒸気タービン	-
主注油ポンプ グランド蒸気排気 ファン グランド蒸気復水器 蒸気タービン 主油タンク 蒸気タービン 補助注油ポンプ 蒸気タービン 非常用 注油ポンプ	1	横置歯車形	容量:25.2 /h 吐出圧力:11kg/cm2G(1080kPa) 回転数:1054rpm	ケーシンク・: FC250	減速機 軸端駆動	-	
	1	ターボファン	風圧:4 /min 吸込圧:-2.9kPa(-300mmAq) 回転数:約2950rpm		電動機	1.5	
	1	シェル&チューブ式(横型)	ジェル側 チュープ側 最高使用圧力:88.3kpa 490kPa 最高使用温度:101℃ 50℃ パス数: 1 2 伝熱面積:3m2	シェル: STPG370-S チュープ: C6870T 管板: SM400B チャンネル: STPG370- S	-	ı	
	1	角型槽	容量:約2.6	SS400	-	-	
	1	ギヤポンプ	容量:24.3 /h 吐出圧力:11kg/cm2G(1080kPa) 回転数:約960rpm	ケーシンク*: FC250	電動機	18.	
	非常用注油ポンプ	1	ギヤポンプ	容量:6 /h 吐出圧力:0.5kg/cm2G(49kPa) 回転数:約1750rpm	ケーシング・: FC250	電動機	0.7
	蒸気タービン 油タンクガス抜き ファン	1	電動ファン式	風量 : 3 /min 吸込圧 : −1.34kPa(−160mmAq) 回転数 : 約2850rpm		電動機	0.4
	蒸気タービン 制御油フィルタ No.1/No.2	1+1	ペーパー式 コック切換式	<b>メッシュ</b> : 20 μ	ケーシング: STPG370 SS400 エレメント: ^゚ーパー	-	-
	蒸気タービン 潤滑油フィルタ No.1/No.2	1+1	金網式コック切換式	メッシュ: 200メッシュ	ケーシング:FC200 エレメント:SUS304	-	-
	蒸気タービン 油水分離器	1	ろ過吸水式	処理量:約200 /h Y型ストレーナ×1 ろ過吸水フィルタ×1	Scall + SCD	電動機	0.4
	蒸気タービン 油冷却器	1	シェル&チューフ・式(横型)	チューブ 仕様: 12.7mm(ローンフィンチューブ) 伝熱面積: 32.66m2 冷却水量: 24 /h	シェル: SGP チュープ: C1220T 管板: SS400 チャンネル: SGP、 SS400	-	1
	蒸気タービン 発電機	1	横軸回転界磁 全閉内冷形 三相交流同期発電機	定格:連続 容量: 7500kVA(6000kW) 力率: 80% 電圧: 6600V 回転数: 1500rpm 励磁方式: プランス励磁方式 極数&絶縁種別: 4&F種		蒸気ターピン 駆動	ĺ
	空気冷却器	11		冷却水量: 42.6 /h			
	タービン排気ドレン 移送装置	1					
	ドレンタンク	1	竪型円筒槽			-	-
	ドレン移送ポンプ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量:5 /h 揚程:30mH 軸封:シングルメカニカルシール 回転数:約3000rpm	ケーシング: FCD400 インペ <sup>*</sup> ラ: FC200 シャフト: SUS420J2	電動機	3.
	ドレン回収ポット	1	竪型円筒槽	背けき圧力:FV~0.9kg/cm2G 運転圧力:-0.7kg/cm2G 設計温度:120℃ 運転温度:70℃ 寸法:ID600×800TL	SS400	-	-
発電機室クレーン 非常用予備発電装 置 燃焼サービスタンク 排ガスサイレンサ No.1/No.2 灯油リターンポンプ	発電機室クレーン	1	電動走行式ホイスト	定格荷重: 6000kg 揚程: 8452m 卷上速度: 42m/min 走行速度: 12.5m/min 走行速度: 21.0m/min	鋼板·形鋼。 B/N:SS400、S45C 軸:SS400、S45C 車車:S45C 車軸:NSP-80、 S45C FCD F'5Δ:FC200、SS400	電動機	卷 <sub>-</sub> 7.5 横1 0.7 走1 0.7
		1	単純解放サイクル1軸式 保護形 出口貫通風形(JP20)	機器概略寸法:5000×1700×2500H ガスタービン(遠心2段圧縮機、軸流3段タービン) 連続定格出力:1860PS(40°C) 使用燃料:灯油 燃料消費量:650 /h 交流発電機(軸形、回転界磁形)		<b>ガスターピ</b> ン	120
	1	角形鋼板槽	寸法:1000×1000×1000	SS400	_	-	
	排ガスサイレンサ	2	鋼板製スプリッタ式	容量:950 寸法:1次:1000W×1400D×3800H 寸法:2次:1700W×3200D×1400H 出口騒音:70db(A)		-	-
	灯油リターンポンプ	1+1	空気駆動式 ダイアフラムポンプ	吐出量:1.2 /h 揚程:10mH	ケーシング: SUS316 パルプ・シート: SUS316 ダ・イアフラム: テフロン パルプ・ホール: テフロン	雑用空気	-

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
10. 余熱利用設備	ガス炊きボイラ	1	ガス焚貫流ポイラ	発生熱量:1078000kcal/h 換算蒸気量:2000kg/h 伝熱面積:9.8m2 常用圧力:8.5kg/cm2G 最高使用圧力:10kg/cm2G 燃料消費量:113.4・/H ホイラ効率:96% 寸法:900×2100×2600H		-	-
	ガス炊きボイラ 燃焼ブロワ	1	ターボファン			電動機	7.4
	ガス炊きボイラ 給水ポンプ	1				電動機	2.2
	低圧蒸気だめ	1	横型円筒槽	寸法:300A×6000 容量:0.45 設計圧力:9.8kg/cm2G(962kPa) 設計温度:207°C 常用圧力:8.5kg/cm2G(834kPa) 常用温度:177°C	本体: STPG370-S	-	-
	低圧蒸気だめ安全弁	1	全量式	流体名:飽和蒸気 必要吹出量:6300kg/h 公称吹出量:7060kg/h 吹出圧力:9.8kg/cm2/G(962kPa) 吹下圧力:0.98kg/cm2/G(96.2kPa) 吹出温度:207°C	本体: SCPH2 弁: SUS403 弁座: SUS403	-	-
	低圧蒸気だめ安全 弁消音器	1		寸法: <b>φ</b> 455×199TL	本体: SS400 吸音材: グラスウール	_	-
	給熱蒸気だめ	1	横型円筒槽	寸法:150A×3400L 設計圧力:9.8kg/cm2/G(962kPa) 設計温度:207°C 常用圧力:8.5kg/cm2/G(834kPa) 常用温度:177°C	本体: STPG370-S	-	-
	ホットウェルタンク	1	鋼板角型	有効容量:3000 寸法:1000×2000×2000	亜鉛鍍鋼板	-	-
	場内温水器	1	円筒竪型	貯湯量:6.3T 加熱量:330000kg/H 蒸気消費量:776kg/H 給水温度:5℃ 給冷温度:60℃	SUS444		
	温水循環ポンプ	2	インフラン型	口径:32 ф 吐出量:1.8*/H 吐出圧:0.1kg/cm2	SUS304	電動機	0.4
	空調用熱交換器	1	シェルチューブ	交換熱量:500000kg/H 温水循環量:46.8·/H 蒸気消費量:970kg/H	SUS316TB		
	冷凍機	1	吸収式	冷却能力:180USRT 冷水量:109.2・/H 冷却水量:180・/H			
	吸収液ポンプ	1			FC	電動機	2.5
	冷媒ポンプ	1			FC	電動機	0.2
	抽気ポンプ	1		m 리를 : 15 - /a-ia	FC	電動機	0.2
	集中真空掃除装置 用ブロワ	1		吸引量: 15 · /min 吸引圧力: 3400mmAq		電動機	18.5
	乾式集じん機	1		処理風量: 18·/min ろ過面積: 12.5m2		電動機	0.13
	ダブルダンパ	1				電動機	0.4

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
11. 蒸気復水設備	復水タンク	1	横型円筒槽	寸法:ID3000×4800TL 容量:39.2・(満水)/28・(有効) 設計圧力:満水 設計温度:100℃ 常用圧力:0kg/cm2G(0kPa) 常用温度:80℃	本体: SUS304	-	-
	タービン排気復水 器 No.1/No.2	2	強制空冷式	交換熱量: 約15423kW 蒸気流量: 26100kg/h 蒸気入口圧力: 0.22ata(真空度80kPa) 蒸気入口温度: 62℃ 最高使用圧力: 0.9kg/cm2G(88.3kPa) 最高使用温度: 120℃ 伝熱面積: 33338m2 伝熱管仕様: OD31.8×2.0t×5770L	伝熱管: STB340-E ファイン: アルミニウム 管寄せ: SB410	-	-
	タービン排気復水 器ファン No.1/No.2	8	プロペラファン	77ン直径: 4877mm 77ン羽根枚数: 6枚 7アン回転数: 193rpm 7アン出力: 59.2kW 制御方式: 100%VVVF ギヤ型式: パラマックス減速機		電動機 (減速機) VVVF	75
	起動用エゼクター	1	蒸気エゼクター			-	-
ì	起動用エゼクター 消音器	1				-	-
	抽気用エゼクター No.1/No.2	1+1	蒸気エゼクター			-	-
	エゼクターコンデン サー	1	シェル&チューブ型			-	-
	排気復水タンク	1	横型円筒槽	寸法:ID1500×5300TL 容量:9 最高使用圧力:0.9kg/cm2G(88.3kPa) 最高使用温度:120°C	SS400	-	-
	排気復水ポンプ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量:53.7・/h 揚程:30mH 軸封:メカニカルシール	ケーシング:SCS13 インペ <sup>°</sup> ラ: SCS13 シャフト: SUS304	電動機 (直結)	11
12. 純水設備	純水装置	1式	ろ過装置 混床式純水装置	<ul><li>処理水量: ろ過水装置 通水量 6.5・/h (活性炭塔逆洗時 MAX. 10・/h) 純水装置 通水量 6.5・/h (混床塔逆洗時 MAX. 10・/h) 処理水水質: 電気伝導度 5μs/cm以下 SiO2 0.2ppm as SiO2</li></ul>			
	活性炭ろ過塔	1+1	竪型円筒槽	寸法:800 φ × 2400H 設計圧力:393kPa(4kg/cm2G) 充填材:活性炭 600・/支持砂利 200・ 有効断面積:0.502m2	SS400/RL(t4.5mm) RL:内面エホキシ ウレタン塗装	ı	-
	イオン交換塔	1+1	竪型円筒槽	寸法:1000 ф × 2400H 設計圧力:393kPa(4kg/cm2G) 充填材:弱酸性陽付ン交換樹脂 370・ 強酸基性陰付ン交換樹脂 680・ 有効断面積:0.076m2	SS400/RL(t4.5mm) RL:内面硬質 コ <sup>*</sup> ムライニンク <sup>*</sup>	-	-
	塩酸計量槽	1	竪型円筒槽	寸法:	FRP(t5mm) (カ・ラス繊維強化プ・ラス チック)	1	-
	塩酸計量槽ガス シール槽	1	竪型円筒型スプレー式	寸法: 300A×900H 充填容量: 20・(PEネットリング)	PVC	-	-
	苛性ソーダ計量槽	1	竪型円筒槽	寸法: φ 600 × 1200H 容量: 215 • (再生剤使用量)	FRP(t5mm) (ガラス繊維強化プラス チック)	-	-
	加熱装置	1	蒸気加温注入式	150kg/H×3.0kg/cm2	SYS304	-	-
	撹拌用ル―ツブロ ワ No.1/No.2	1+1	ル一ツ式	容量: 0.8N・/min. 圧力: 4.0mAq	ケーシング:FC200 ロータ:FC200 シャフト:S45C	電動機	1.5
	純水タンク	1	角形FRP製	寸法:5000×4000×3000H 有効容量:50•	FRP	-	-
	純水補給ポンプ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量:(10+3)・/h 揚程:35mH 軸封:グラン・パッキン	ケーシング:SCS13 インペ <sup>°</sup> ラ: SCS13 シャフト: SUS304	電動機(直結)	3.7
	廃液処理設備	1式	<u>薬液注入エゼクター式</u>		h (a.h* 00011		
	純水廃液移送ポンプ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量: 0.2・/min 揚程: 20mH 軸封グランドパッキン	ケーシング: SCS14 インペ <sup>®</sup> ラ: SCS14 シャフト: SUS316	電動機(直結)	2.2
	純水廃液中和槽	1	鉄筋コンクリート製	寸法: 4000×4500×2500D 容量(有効/満水): 38/45・	鉄筋コンクリート (内面耐食処理)	-	-

設備名	機器名称	数量	形式	仕様・構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
13. 給水設備	飲料用受水槽	1	FRP製組立パネルタンク	寸法:3500×3000×3000H 容量(有効/呼称):15·/20·	FRP	-	_
	飲料用高置水槽	1	FRP製組立パネルタンク	寸法:1500×2000×2000H 容量(有効/呼称):30·/12·	FRP	-	_
	ボイラ用受水槽	1	鉄筋コンクリート製	容量(有効):30・	FRP	-	-
	井水受水槽	1	鉄筋コンクリート製	容量(有効): 167・ *消火用水槽(31.2・)を兼用します。	コンクリート	-	-
	井水用高置水槽	1	FRP製	寸法: 4000×5000×3500H 容量(有効): 60•	FRP	-	-
	機器冷却水槽	1	鉄筋コンクリート製	容量(有効): 120・	コンクリート	-	-
	冷却水高置水槽	1	FRP製組立パネルタンク	寸法: 3500×11000×2000H 容量(有効): 60•	FRP	-	-
	飲料水揚水ポンプ No.1/No.2	1+1	多段渦巻型 (ナイロンコーティング <sup>*</sup> )	容量: 8.4•/h 揚程: 40m		電動機	2.2
	純水設備送水ポン プ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量:18•/h(15+3•/h) 揚程:35m	ケーシング:SCS13 インヘ <sup>°</sup> ラ:SCS13 シャフト:SUS304	電動機	5.5
	井水揚水ポンプ No.1/No.2 冷却水用水ポンプ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量:82·/h(75+7·/h) 揚程:50m	ケーシング:FC250 インヘ <sup>°</sup> ラ:FC200 シャフト:S35C	電動機	18.5
		1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量:350·/h 揚程:50m	ケーシング: FC250 インヘ <sup>°</sup> ラ: FCD400 シャフト: SCM440	電動機	75
	冷却水加圧ポンプ No.1/No.2	1+1	遠心式渦巻ポンプ	容量: 34 · /h(30+4 · /h) 揚程: 30m	ケーシング FC250 : インヘ <sup>°</sup> ラ : FC200 シャフト : S35C	電動機	5.5
	冷却塔	1基	クーリング・タワー(2セル) クロスフロー式 (低騒音型)	寸法:5680×3330×3900H 冷却能力:1,750,000kcal/h 循環水量:350•/h 冷却塔入口水温:37℃ 冷却塔出口水温:32℃ 外気湿球温度:27℃	本体(外板): PVC 77ン: FRP 充填材: PVC 水槽: FRP ルーパ: PVC	-	-
	冷却ファン No.1/No. 2	2	軸流式(直結式)	羽根寸法: <i>ϕ</i> 2000 × 4枚 風量: 3900 • /min. 回転数: 450rpm	ファン: FRP ファンケーシンク : FRP	電動機	5.5
	冷却水薬注装置	1式		寸法:750×800×2050H			
	機器冷却水薬注 No.1/No.2	1+1	ダイヤフラム式	容量: 15cc/min. 吐出圧力: 10kg/cm2G	タ <sup>*</sup> イヤフラム : PTFE ホ <sup>°</sup> ンプ <sup>°</sup> ヘット <sup>*</sup> : FRPP	電動機	10VA
	機器冷却水薬注タンク	1	角型槽	容量:100・	PVC	-	-
	機器冷却水薬注原 液槽		円筒竪型	容量∶500・	PE		
	粗大ごみ処理施設 給水ポンプユニット	1	水中渦巻ポンプ	滅圧弁方式吐出圧一定ユニット 容量: 26.4・/H 揚程: 25m	SUS304	電動機	3.7
	井水加圧ポンプユ ニット No.1/No.2	1	遠心式渦巻きポンプ	減圧弁方式吐出圧一定ユニット 容量:31.8・/H 揚程:25m	ケーシンク・: SUS304	電動機	7.5
	管理棟加圧ポンプ ユニット	1	遠心式渦巻ポンプ	推定末端圧力一定ユニット 容量:48・/h 揚程:36m	SUS304	電動機	5.5 × 2
	空調用加圧式給水ユニット	1	遠心式渦巻ポンプ	滅圧弁方式吐出圧一定ユニット 容量:3.6・/H 揚程:20m	SUS304	電動機	0.4
	井戸ポンプ (PW3)	1	水中ポンプ	容量:36·/h 揚程:130m	SUS304	電動機	18.5
	井戸ポンプ(PW4)	1	水中ポンプ	容量:48·/h 揚程:99.5m	SUS304	電動機	22
井戸	井戸ポンプ (PW5)	1	水中ポンプ	容量:36·/h 揚程:130m	SUS304	電動機	18.5
	屋外消火栓ポンプ	1	ユニット型	容量:48·/h 揚程:52m		電動機	15
	ごみピット放水銃兼 屋内消火栓ポンプ	1	ユニット型	容量: 54·/h 揚程: 106m		電動機	30
	消火用補給水槽	1	鋼製組立パネルタンク	寸法:1000×1000×2000H 容量(有効/呼称):1.5*/2*	亜鉛鍍鋼板	-	-
	空調用膨張水槽	1	鋼板角型	容量: 36·/h 揚程: 130m	亜鉛鍍鋼板		

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
14. その他設備	雑用空気圧縮機 No.1/No.2	1+1	自動アンロード式 スクリュー型	寸法: 2300×1130×1600H 容量: 12.4N・/min. 吐出圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 回転数: 約2920rpm オイル冷却器: 水冷式		電動機 (直結) F種絶縁	7.5
	雑用空気脱湿装置	1	冷凍式	容量: 12N·/min. 吐出圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 入口空気温度: 42℃ 出口空気露点: −17℃圧力下10℃ 用圧力: 10.0kg/cm2G 冷媒: R-22 消費電力: 1.3kw		電動機	1.3
	雑用空気空気槽	1	竪形円筒槽	寸法: ID1400×3870TL 内容積: 5・ 設計圧力: 8.5kg/cm2G	SS400	-	-
	雑用空気フィンフィルタ	1	ラインフィルタ	容量: 13N・/min. 吐出圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 主要寸法: φ220×1136H 入口空気圧力: 7kg/cm2G 入口空気温度: 42°C 入口空気露点: -17°C 大気圧下 入口油分濃度: 0.03cc/・ ろ過度: 3μm		-	-
	雑用空気ミクロミス トフィルタ	1	ラインフィルタ	容量: 13N・/min. 主要寸法: φ220×1136H 入口空気圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 入口空気温度: 42℃ 入口空気露点: −17℃ 大気圧下 入口油分濃度: 0.03cc/・ ろ過度: 0.3 μ m(プレフィルタ層) 0.01 μ m(グラスパイパフィルタ層)		-	-
	計装用空気圧縮機	1+1	自動アンロード式 スクリュー型 オイルレス形	寸法: 1430×860×1100H 容量: 5.5 */min. 吐出圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 回転数: 約2900rpm		電動機 (直結) F種絶縁	37
	計装用空気脱湿装置	1	自動交互吸着式 (2筒竪形吸着塔)	容量: 4.3N·/min. 吐出圧力: 6.7kg/cm2G(0.66MPa) 入口空気温度: 42°C 出口空気露点: -40°C 大気圧下 法/時間: 加熱/8hrs. : シリカケル 活性アルミナ		-	電熱 容量 4.2
	計装用空気空気槽	1	竪形円筒槽	寸法:1400×3870TL 内容積:5・ 設計圧力:8.5kg/cm2G	SS400	-	-
	計装用空気フィンフィルタ	1	ラインフィルタ	容量: 6.2N·/min. 吐出圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 主要寸法: φ170×634H 入口空気圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 入口空気温度: 42℃ 入口空気露点: −17℃ 大気圧下 入口油分温度: 0.33cc/・ ろ過度: 3 μ m		-	-
	計装用空気ミクロミストフィルタ	1	ラインフィルタ	容量: 6.2N・/min. 主要寸法: φ170×716H 入口空気圧力: 7kg/cm2G(0.69MPa) 入口空気温度: 42℃ 口空気露点: −17℃ 大気圧下 入口油分温度: 0.33cc/・ ろ過度: 0.3 μ m(プレフィルタ層) 0.01 μ m(グラスパイパフィルタ層)		-	-
	工作室ホイスト	1	電動走行式ホイスト	荷重:1000kg 揚程:6m		電動機	巻上: 2.0 走行: 0.2

設備名	機器名称	数量	形式	仕様·構造	主要材質	駆動方式	動力 (kW)
14. その他設備	炉室ホイスト No.1/No.2	2	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 30m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	脱硝設備用ホイスト	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 21.0m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	機器搬出入用ホイスト No.1	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 11m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	機器搬出入用ホイスト No.2	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 11m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	可燃性粗大ごみ破 砕機室ホイスト	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2000kg 揚程: 6m		電動機	巻上: 2.8 走行: 0.3
	灰溶融前処理ホイスト	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 9m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	灰溶融鉄選別用破 砕機室用ホイスト	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 9m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	誘引ファン室ホイスト	1	電動走行式ホイスト	荷重: 2800kg 揚程: 9m		電動機	巻上: 2.9 走行: 0.75
	手動洗車ポンプ	4	高圧洗浄ユニット 移動密閉型 三連プランジャポンプ	吐出量:15.0 · /min. 吐出圧力:80kg/cm2G		電動機	2.2
	可搬式掃除機	2	可搬式業務用掃除機	風量: 2.2・/min. 寸法: φ335×500H タンク容量: 18・		電動機	0.3
	可搬式排水ポンプ	3	水中汚水ポンプ	吐出量: 4.8 • /h 全揚程: 8m	ケーシング:FC インヘ <sup>°</sup> ラ:FCD シャフト:SUS	電動機	0.4
	脱臭器	1	カートリッジ式	寸法: 4200W×5850L×2700H 処理風量: 1270•/min.	SS400+内面タールエ ポキシ塗装	-	-
	フィルタ	1	パネル式	寸法:3050W×3200L×2100H 処理風量:1270•/min.	SS400+内面タールエ ポキシ塗装	-	-
	脱臭ファン	1	ターボファン	処理風量: 1270 · /min. 圧力: 200mmAq	SS400+内面タールエ ポキシ塗装	電動機 (Vベルト)	75

# 【電気・計装設備】

項目	対象機器	主仕様	数量	
電気方式	受電電圧	3相3線式 66,000 V 50Hz、 2回線(本線、		
		予備線)		
	蒸気発電設備	3相3線式 6,600 V 50Hz		
	配電電圧	高圧:3相3線式 6,600 V 50Hz 低圧: 3相3線式 415V 50Hz		
		低圧: 3相3線式 415V 50Hz 3相3線式 200V 50Hz		
		当相3線式 200V 50Hz 単相3線式 100200V 50Hz		
	非常発電設備 3相3線式 6,600V 50Hz			
	遮断器及び断路			
	器の操作回路 DC100V			
特高受変電	断路器 (DS)	3極単投式 72KV 800A 電動操作	4 台	
設備	遮断器 (GC B)	GF6ガス遮断器 72KV 800A 電動操作	2 台	
	変流器(CT)	モールド分割ケーブル貫通形 75A/5A	3 台	
	避雷器(LA)	酸化亜鉛形 84KV	6 台	
	変圧器	3相屋内GF6ガス絶縁密閉形 66kv/6.6kv 7,500kVA	1台	
	計器用変圧器 (GPT)	GF6ガス絶縁形 66KV	1台	
	保護継電器盤	過電流継電器、地絡過電流継電器、方向短絡継電器、過電圧継電器、地絡過電圧継電器、不足電圧継電器、周波数低下継電器、周波数上昇継電器、転送遮断装置	1 式	
受変電設備	高圧配電盤	屋内形閉鎖配電盤 JEM 1425-MY形 6KV		
		主変圧器二次主幹盤	1面	
		特高SS棟高圧GPT盤	1面	
		特高SS棟自家発連絡盤	1 面	
		特高SS棟高圧アクティブフィルタ盤	1面	
		新ごみ処理棟高圧受電盤	2面	
		新ごみ処理棟高圧受電盤(2段積)	8面	
		非常用発電機連絡盤	1面	
		新ごみ処理棟高圧GPT盤	2面	
		新こみ処理棟高圧571盤   新ごみ処理棟高圧アクティブフィルタ盤	2 面 1 面	
	高圧受電盤	新ごみ処理棟高圧受電盤	2面	
	変圧器盤	屋内鋼板製閉鎖型垂直自立盤	8面	
	コンデンサ盤	屋内形閉鎖配電盤 JEM 1225-S5形 7.2KV	∪ щ	
	. , . ,	特高SS棟高圧コンデンサ盤	2 面	
		新ごみ処理棟高圧コンデンサ盤	2 面	
	高圧分岐盤	特高SS棟高圧分岐盤(2段積)	6 面	

別紙6:特定部品のリスト

設備名	装置名	(機器名) 部品名	調達期間(参考)	
給じん設備	ごみ投入ホッパ	ホッパ、ホッパゲート、ブリッジ解除装置 伸縮継手(部品含む)	約5ヶ月	
	給じん装置	レール、給じん装置鋳造品、押出装置 シリンダー他	約6ヶ月	
┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	燃焼装置	火格子、サイドプレート、ロッド、駆動シャフト シリンダー、ジャバラ、フレクターシール他	約6ヶ月	
がない。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	焼却炉	焼却炉ケーシング(本体)	約6ヶ月	
	· 济· 本山 沙·	炉内耐火物類	約5ヶ月	
	ボイラ	ボイラ本体、節炭器、蒸発器、過熱器		
■ ■ ■ 燃焼ガス冷却設備	, M1 )	ボイラ下ダスト排出ホッパ	約5ヶ月	
ががカヘカ 415文 哺	ボイラ付着ダスト払落し装置	機械式槌打装置	約 5 ヶ月	
	高圧蒸気だめ	本体、マンホール等	約5ヶ月	
排ガス処理設備	   減温塔 	   本体、噴霧ノズル 	約5ヶ月	
	 	灰押出機本体 (押出装置、ライナー、シリンダー他)	約6ヶ月	
灰処理設備		落下灰コンベヤ (水封式)	T C C D D D D D D D D D D D D D D D D D	
	落じんホッパシュート	ホッパシュート本体	約6ヶ月	
電気設備	各所現場制御盤	PLCソフトウェア	約6ヶ月	
	分散型計算機制御システム (DCS)	DCS内ソフトウェア	約 15ヶ月	
=1 壮 =0./#	自動燃焼制御システム (ACCシステム)	ハード及びソフトウェア		
計装設備	ごみクレーン自動制御盤	ソフトウェア	約6ヶ月	
	灰クレーン自動制御盤	ソフトウェア	約6ヶ月	

※1:調達期間は、発注から納品までの部品手配に要する標準的な期間を示す。

※2:上記特定部品を用いて施設の修繕等を行う場合、設備の性能保持のため、施工業者による施工を 推奨。

別紙7:平成26年度の1号炉の定期点検整備内容

別紙7:平成26年度の1号炉の定期点検整備内容	米仁	具
定期点検整備補修の項目 1. プラント機械設備	数:	里
1. フランド機械設備   (1) 給じん設備		
(1) ねしん改備   1) プラットホーム出入口扉(1基)		
ア 詳細内容		
① プラットホーム出入口扉の点検整備		
② 出口扉用シリンタ・交換		
③ 運転調整		
イ使用材料		
① シリンタ <sup>*</sup>	1	本
2) ごみピットゲート油圧駆動装置(1基)		
ア 詳細内容		
① ごみピットゲート油圧駆動装置の分解点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ オイルクーラー清掃		
<ul><li>④ 運転調整</li></ul>		
イ 使用材料		
ストレーナ	2	個
リターンフィルター用エレメント	2	個
Oリング	2	個
マンホールパッキン	2	枚
作動油 (無償支給受)	1000	L
フラッシングオイル(無償支給受)	800	L
3) ダンピングボックス(1基)		_
ア詳細内容		
① No.2清掃点検		
② 可動部とシシ <sup>*</sup> 部交換		
イ 使用材料		
ヒンジボルト付	2	個
	2	쁘
4)ごみクレーンNO1(1基)		
①機器及び本体関係		
・ガータ、サドル、クラブ、レール等の損傷、亀裂、摩耗、歪、たわみ、		
ねじれ等の状況		
・走行、横行レールのスパン・レベルの測定		
・ボルト類のゆるみの状況		
②走行、横行、支持、開閉装置		
・減速機の異音、振動、発熱等の有無及び油量の確認		
・内部歯車、軸受等の摩耗状況、油漏れの有無		
・回転部の振動、発熱、摩耗、ボルト類の緩み		
③ブレーキ、リミットスイッチ		
・ブレーキの作動状況及びドラム、シュー、ディスクパッド等の摩耗状況		
・リミットスイッチの規定位置での作動状況		
④電気設備関係		
・配電盤、制御盤、給電設備、コントローラ、計器等の異常の有無		
・ケーブルリール装置の作動状況点検		
・絶縁抵抗値の測定		

定期点検整備補修の項目	数	量
⑤バケット(油圧式バケット)		
・シェル部の摩耗,損傷,亀裂,歪等の状況		
・各ピン及びブッシュの摩耗状況		
・油圧ポンプ、油圧シリンダー等の作動状況及び油漏れの有無		
・爪の摩耗,損傷,歪等の状況		
・給油の状況		
・給電ケーブル、ソレノイドバルブ等の状況		
・緩衝装置の状況		
・開閉動作状況		
⑥点検整備交換部品	000	
・巻上用減速機油 ボンノックM150 (支給品)	200	L
ジャ . 1 佐野油 フェッシュノニン (SEC. 0 (土外口)	000	T
・バケット作動油 スーパーハイランドSE68 (支給品)	200	L
. ソルノノ いざルデ	1	(III)
・ソレノイドバルブ メーカー 油研	1	個
型式 DSHG-06-3C6-ET-A100-53		
至以 DSHG-00-3C0-E1-A100-33		
・パイロットチェックバルブ	1	個
メーカー油研	1	IIII
型式 MPA-06-2-30		
±20 Mil 00 2 00		
・フローレギュレーターバルブ	1	個
メーカー 油研	1	1111
型式 MSB-06-X-30		
・リリーフバルブ	1	個
メーカー 油研		
型式 BG-06-32		
・サクションフィルター	1	個
メーカー ㈱増田製作所		
型式 FS12-100SW		
・油圧シリンダー	5	本
サイズ 100×60×355		
塗装 下塗り 鉛丹ジンクロロメート錆止め(JIS K 5628)		
上塗り フタル酸樹脂エナメル (JIS K 5572)		
・油圧ユニットタンクパッキン	1	枚
5) ごみクレーンNo2(1基)		
①機器及び本体関係		
・ガータ、サドル、クラブ、レール等の損傷、亀裂、摩耗、歪、たわみ、		
ねじれ等の状況		
・走行、横行レールのスパン・レベルの測定		
<ul><li>・ボルト類のゆるみの状況</li></ul>		
① 上行 推行 古株 期間壮罕		
②走行、横行、支持、開閉装置・減海機の男子・垢動・及熱等の右無及び油畳の確認		
・減速機の異音、振動、発熱等の有無及び油量の確認 ・内部歯車、軸受等の摩耗状況、油漏れの有無		
・回転部の振動、発熱、摩耗、ボルト類の緩み		
「四平公中リッノがの男」、「元六・、「手木仁、、ハハレー・大貝・ノ小女・クト		

定期点検整備補修の項目	数	量
③ブレーキ、リミットスイッチ		
・ブレーキの作動状況及びドラム、シュー、ディスクパッド等の摩耗状況		
・リミットスイッチの規定位置での作動状況		
○帝左孙/世間だ		
④電気設備関係 ・配電盤、制御盤、給電設備、コントローラ、計器等の異常の有無		
・ケーブルリール装置の作動状況点検		
・絶縁抵抗値の測定		
・ 治核払孔値の例と		
⑤バケット (油圧式バケット)		
・シェル部の摩耗,損傷,亀裂,歪等の状況		
・各ピン及びブッシュの摩耗状況		
・油圧ポンプ、油圧シリンダー等の作動状況及び油漏れの有無		
・爪の摩耗,損傷,歪等の状況		
・給油の状況		ļ
・給電ケーブル、ソレノイドバルブ等の状況		
・緩衝装置の状況		ļ
• 開閉動作状況		
⑥点検整備交換部品	0.00	
・巻上用減速機油 ボンノックM150 (支給品)	200	L
・バケット作動油 スーパーハイランドSE68 (支給品)	200	L
・ソレノイドバルブ	1	個
メーカー 油研		
型式 DSHG-06-3C6-ET-A100-53		
・パイロットチェックバルブ	1	個
メーカー 油研	1	III-A
型式 MPA-06-2-30		
主义 MITA 00 2 50		
・フローレギュレーターバルブ	1	個
メーカー 油研		
型式 MSB-06-X-30		
・リリーフバルブ	1	/izzi
	1	個
メーカー 油研 PC 02 02		
型式 BG-06-32		
・サクションフィルター	1	個
メーカー ㈱増田製作所		
型式 FS12-100SW		
Mr. C. J. J. W.	_	<del>-1</del> -
・油圧シリンダー	5	本
サイズ 100×60×355		
塗装 下塗り 鉛丹ジンクロロメート錆止め(JIS K 5628)		
上塗り フタル酸樹脂エナメル (JIS K 5572)		1.7
・油圧ユニットタンクパッキン	1	枚
	<u> </u>	

定期点検整備補修の項目	数	量
(2) 焼却炉本体設備		
1) ストーカ駆動用油圧装置(1基)		
ア 詳細内容		
① ストーカ駆動用油圧装置の分解清掃点検整備		
(油タンク: 容量 720L、清掃面積 6.2 m²/基)		
② 部品・消耗品(Oリング,フィルター等)交換		
③ オイル交換		
<ul><li>④ 運転調整</li></ul>		
イ 使用材料		
(1号炉)		
フィルターエレメント	4	個
Oリンク゛	2	枚
サクションフィルター	2	個
サクションフィルター	1	個
オイルシール	1	個
ポンプキット	1	式
マンホールパッキン	1	枚
作動油 (無償支給受)	620	L
2) 火格子・サイドプレート(1基)		
ア詳細内容		
① ストーカ・サイドプレート・ウェアプレート・焼却炉燃焼室の清掃点検整備 (清掃面積 ストーカ: 22.3 ㎡/基、ウェアプレート: 3.6 ㎡/基、		
サイト・プレート: 10.7 ㎡/基、焼却炉燃焼室: 59.6 ㎡/基)		
② 損傷火格子交換(ゾーン1の入替え)		
③ 損傷サイト・プレートの交換		
④ 焼却炉燃焼室のクリンカー落とし及び清掃		
⑤ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		/III
火格子・ゾーン 1 H0 H28	54 50	個 個
S0	12	個
H28(供給側)	10	個
サイドプレート SP468-L1	1	個
SP468-R1	1	個
SP268	4	個
SP378-L1	1	個
SP378-R1	1	個
SPC378-LT1 SPC378-R1	1 1	個
SPC576-KT SPC268L	1	個 個
SPC268R	1	個
3) 耐火物補修(1基)	_	<u> </u>
ア詳細内容		
① 耐火物の点検整備補修		
(補修面積 水管壁:20㎡/基、水管壁柱:12㎡/基、サイドプレート等:5㎡		
/基)		
② 部品・消耗品の交換		
<ul><li>③ 足場組立・解体</li><li>④ 乾燥焚き</li></ul>		
<ul><li>④ 乾燥焚き</li></ul>		
	1	

定期点検整備補修の項目	数	量
イ 使用材料		
(1号炉) キャスター ハ°ッチンケ キャスター ヒ°ン セラミックスリーブ キャスターフック セラミックファイハー 4) ストーカ下ホッパ及びシュート(1基)	500 200 200 200 200 840 1	kg kg 本個式式
ア詳細内容		
① ストーカ下ホッハ。及びシュートの開放清掃点検整備(清掃面積 32.0㎡/基)		
② 消耗品(パッキン)の交換 イ 使用材料 (1号炉) パッキン	4	枚
5) 助燃バーナ・再燃バーナ(3基) ア 詳細内容 ① 燃料ライン圧力計作動確認 ② ガス漏れ検知器点検 ③ 試運転 イ 使用材料	1	1X
(1号炉) カ <sup>*</sup> ス漏れ検知器 6)シール用ファン(1基)	3	式
ア 詳細内容     ① 分解清掃点検整備     ② 羽車、軸等の傷及び磨耗確認     ③ 部品・消耗品交換     ④ 運転調整     イ 使用材料     (1号炉)       軸封パッキン       カップリング・ボ・ルト・ナット       ヘブアリング・	1 8 2	枚本個
7) フレクターシール(7個) ア 詳細内容 ① フレクターシール納入 イ 使用材料		
フレクターシール 8) 燃焼用火格子支持架台(1式) ア 詳細内容 ① ストーカー下リジットスイッチ検出端整備 ② 試運転調整 イ 使用材料	7	個
(1号炉) φ25軸	8	組

定期点検整備補修の項目	数	量
(3) 灰処理設備		
1) 落下灰水槽(1基) ア 詳細内容 ① 落下灰水槽の開放清掃点検整備(清掃面積:40.5㎡/基) ② チェーン、スクレーパ。交換 ③ 運転調整 イ 使用材料		
(1号炉) チェーン&フライト ガ・イト・レール 2) 灰押出機(1基)	1 1	式式
ア 詳細内容 ① 灰押出機の開放清掃点検整備(清掃面積:26.6㎡/基)。 ② 部品・消耗品(パッキン)の交換 ③ 運転調整 イ 使用材料 (1号炉)		
マンホールパッキン スクレーパー	2 1	枚 枚
3) 灰コンベヤ(1基) ア 詳細内容 ① 灰コンベヤの開放清掃点検整備(清掃面積:60.2㎡/基) ② チェーン調整 ③ サイクロ減速機モーアーベアリング交換 ④ 運転調整 イ 使用材料 (1号炉)		
モーターへ、アリンク、A モーターへ、アリンク、B Vリンク、 1段減速部 偏芯軸受 減速部セット TLハ。ッキン モーターカハ・ー 4)飛灰処理装置(1式)	1 1 1 1 1 1	個個個個式式個
ア 詳細内容 ① 部品(ボールタップ)交換 イ 使用材料 (1号炉) ホールタップNo.1、No.2	2	個
5) 灰クレーン (1基)	-	,,,
①機器及び本体関係 ・ガータ、サドル、クラブ、レール等の損傷、亀裂、摩耗、歪、たわみ、ねじれ等の状況 ・走行、横行レールのスパン・レベルの測定 ・ボルト類のゆるみの状況		

定期点検整備補修の項目	数	量
②走行、横行、支持、開閉装置 ・減速機の異音、振動、発熱等の有無及び油量の確認 ・内部歯車、軸受等の摩耗状況、油漏れの有無 ・回転部の振動、発熱、摩耗、ボルト類の緩み		
③ブレーキ、リミットスイッチ ・ブレーキの作動状況及びドラム、シュー、ディスクパッド等の摩耗状況 ・リミットスイッチの規定位置での作動状況		
④電気設備関係 ・配電盤、制御盤、給電設備、コントローラ、計器等の異常の有無 ・ケーブルリール装置の作動状況点検 ・絶縁抵抗値の測定		
⑤バケット(油圧式バケット) ・シェル部の摩耗,損傷,亀裂,歪等の状況 ・各ピン及びブッシュの摩耗状況 ・油圧ポンプ,油圧シリンダー等の作動状況及び油漏れの有無 ・爪の摩耗,損傷,歪等の状況 ・給油の状況 ・給電ケーブル,ソレノイドバルブ等の状況 ・緩衝装置の状況 ・開閉動作状況		
⑥点検整備交換部品 ・巻上用減速機油 ボンノックM150 (支給品)	300	L
・バケット作動油 スーパーハイランド46 (支給品)	500	L
・サクションフィルター メーカー 増田製作所 型式 W-MSN-12	2	個
・油圧ユニットタンクパッキン	1	枚
・油圧シリンダー サイズ 160×100×750 塗装 下塗り 鉛丹ジンクロロメート錆止め(JIS K 5628) 上塗り フタル酸樹脂エナメル(JIS K 5572)	2	本
・油圧ポンプ(カップリング含) メーカー 不二越 型式 IPH-5A-40-21	2	台
・リリーフ弁 メーカー 不二越 型式 R-G06-3-20	1	台
・ソレノイドバルブ(台座込) メーカー 不二越 型式 DSS-G 0 6 - C 7 YC-C1	1	台
<ul><li>・走行ケーブル用滑車</li></ul>	1	式

(4) 通風設備	İ	
1) 押込送風機(1基)		
ア 詳細内容		
① 押込送風機の開放清掃点検整備		
② 本体、羽根車、軸等の傷及び摩耗確認		
③ カップリング部グリース補給		
<ul><li>④ 部品・消耗品(軸封パッキン,べアリング)の交換</li></ul>		
⑤ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
軸封パッキン	3	枚
ヘブアリング	1	個
ヘブアリング	1	個
オイルシール	2	個
スナップリング	2	個 巻
シーラントテープ	1	苍
(5) 煙道設備・煙突設備		
1) 二次燃焼送風機(1基)		
ア詳細内容		
① 二次燃焼送風機の開放清掃点検整備		
② 本体、羽根車、軸等の傷及び摩耗確認		
③ カップリンク・部ク・リース補給		
④ 部品・消耗品(軸封パッキン,ベアリング)の交換		
⑤ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		1.7
軸封パッキン	3	枚
カップリングボルト・ナット ヘブアリング	8	組佃
ヘブリング	1 1	個 個
カップリングゴムブッシュ	8	個個
2) 誘引通風機(1基)	0	IП
ア詳細内容		
① 誘引通風機の開放清掃点検整備		
② 軸受部、本体、羽根車、軸等の傷及び摩耗点検		
③ カップリング・部グ・リース補給		
④ 部品・消耗品の交換		
⑤ モーターヘンアリングの工場整備		
⑥ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
軸封パッキン	6	枚
ヤーンパッキン	1	巻
○リング エール・*マルンがエキ日本ケ件	1	個
モーターへ、アリンク、工場整備	1 1	式

定期点検整備補修の項目	数量	量
3) オメガクラッチ(1基)		
ア 詳細内容		
① オメガウラッチの開放点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
Oリング <sup>*</sup>	2	個
Oリング <sup>*</sup>	2	個
Oリング <sup>*</sup>	2	個
Oリング <sup>*</sup>	1	個
Oリング <sup>*</sup>	1	個
Oリンク <sup>*</sup>	1	個個
カ・スケット		
	1	枚
カ・スケット	1	枚
カ・スケット	1	枚
カ・スケット	1	枚
ガスケット	1	枚
カ・スケット	1	枚
Oリング <sup>*</sup>	2	個
Oリング <sup>*</sup>	1	個
亜鉛	2	個
Oリンク <sup>*</sup>	2	個
Oリング	2	個
Oリンク。	1	個
Oリンク <sup>*</sup>	1	個
ガスケット	2	枚
ガスケット	2	枚
Oリンク <sup>*</sup>	2	個
Oリンク <sup>*</sup>	1	個
Oリンク <sup>*</sup>	1	個
カ・スケット	2	枚
作動油(無償支給受)	200	L
作動油添加剤	20	L
4) 誘引通風機ダンパー電油操作機(1基)		
ア 詳細内容		
① 誘引通風機ダンパー電油操作機の分解点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ モーターダンハペブリングの交換		
<ul><li>④ 運転調整</li></ul>		
イ 使用材料		
(1号炉)		
ガスケット(マンホール蓋用)	1	枚
カ、スケット(リリーフ弁用)	1	枚
トランスミッタ(カップリング・用)	1	個
ガスケット(モータフランシ・用)	1	個
サクションフィルタ	1	個
フィルタエレメント	1	個
作動油	24	L
モーター	1	台
付属品	1	式
タ、ンハペーアリンク、	10	個
/ */ · · ////	10	IITI

定期点検整備補修の項目	数	量
5) 押込送風機用空気予熱器(1基)		
ア詳細内容		
① 押込送風機用空気予熱器の開放清掃点検整備		
(清掃面積:345.0㎡/基)		
② プラグ納品		
③ 耐圧テスト/リークテスト(N2ガス)		
イ 使用材料 (納品)	14	個
6) 二次燃焼送風機用空気予熱器(1基)	14	但
ア詳細内容		
① 二次燃焼用送風機用空気予熱器の開放清掃点検整備		
(清掃面積:154.2㎡/基)		
② 逆止弁の交換		
③ 耐圧テスト/リークテスト(N2ガス)		
イ 使用材料		
逆止弁(40A)	1	個
7) 煙道(1基)		
ア詳細内容		
① 煙突入口清掃点検整備 (誘引通風機~煙突入口)		
イ使用材料		
無し (6) 作以 乳供		
(6) 集じん設備 1) ろ過式集じん機下ダストコンベヤ(1基)		
ア詳細内容		
① 清掃点検整備		
② 部品交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
サイクロ減速機付モーター	1	台
スプロケット	2	枚
チェーン	1	式
2) 減温塔(1基)		
ア詳細内容		
① 減温塔の開放清掃点検整備		
(清掃面積 139.5㎡/基)		
② 噴霧/バルの工場補修		
③ 清掃用足場組立・解体 ④ 消耗品(パッキン)の交換		
イ 使用材料		
(1号炉)		
マンホールハッキン	2	枚
ノズル、保護管	1	組
3) 減温塔下ダスト搬出ロータリーバルブ(1基)		
ア 詳細内容		
① 減温塔ダスト搬出ロータリバルブの開放清掃点検整備		
② 電動機、減速機の軸受確認		
③ 部品・消耗品(グランドパッキン,軸受,パッキン等)の交換		
イ使用材料		
(1号炉)	1	/ <del>   </del>
	1	個個
一	1 1	個 組
シートカ・スケット	1	社式
サイクロ減速機付モーター	1	台

定期点検整備補修の項目	数	量
4) 減温塔下ダスト搬出コンベヤ(1基)		
ア 詳細内容		
① 減温塔下ダスト搬出コンベヤの開放清掃点検整備		
② 電動機、パト・ル、羽根、ロータ、駆動チェーンの摩耗確認		
③ 電動機、減速機の軸受確認		
④ 部品・消耗品(パッキン/等)の交換		
⑤ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
ク゛ラント゛ハ゜ッキン	2	巻
ハッキン	1	組
ボルトナット	1	組
5) 消石灰定量供給装置(1基)		//37*
ア詳細内容		
① 消石灰定量供給装置の分解点検整備		
② 部品・消耗品(0リング・ハッキン等)の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		
	1	<b>√</b> □
(撹はん周り)	1	組
Oリンク <sup>*</sup>	1	組
Oリンク <sup>*</sup>	1	組
VUVA	1	組
グラント、ハッキン	1	組
(供給機周り)		,_
Oリング	3	組
Oリンク゛	3	組
Vリング	3	組
グラント、ハッキン	3	組
フランジパッキン	1	組
短管	3	個
(輸送管の交換)		
フレキシブルホース	40	m
6) 消石灰輸送管(3基)		
ア 詳細内容		
① 消石灰輸送管の交換		
イ 使用材料		
(1号炉)		
フレキシブルホース	40	m
フレキシブル継手	2	個
(2号炉)		
フレキシブルホース	40	m
フレキシブル継手	2	個
(3号炉)		
フレキシブルホース	40	m
フレキシブル継手	2	個
7) 反応助剤定量供給装置(1基)		
ア詳細内容		
① 反応助剤定量供給装置の分解清掃点検整備		
② 部品・消耗品(Oリング・, グラント・ハッキン等)の交換		
③ 運転調整		

定期点検整備補修の項目	数	(量
イ 使用材料		
(撹はん周り)		
Oリンク・	1	組
Oリンク・	1	組
Oリンク・	1	組
Vリンク゛	1	組
グラント、ハッキン	1	組
(供給機周り)		
Oリンク・	3	組
Oリンク <sup>*</sup>	3	組
Vリンク゛	3	組
Vリンク゛	3	組
グラント、ハッキン	3	組
フランジパッキン	1	組
短管	3	個
8) 活性炭定量供給装置(1基)		
ア詳細内容		
① 活性炭定量供給装置の分解清掃点検整備		
② 部品・消耗品(OJ)ンク´, グラント゛パッキン等)の交換		
③ 撹はん機モーター交換		
④ 運転調整		
イ 使用材料		
(撹はん周り)		
Oリンク <sup>*</sup>	1	組
Oリンク・	1	組
Oリンク・	1	組
Vリンク゛	1	組
グラント、ハッキン	1	組
サイクロ減速機付モーター (無償支給受)	1	台
(供給機周り)		
Oリンク・	3	組
Oリンク・	3	組
Vリンク゛	3	組
Vリンク゛	3	組
グラント、ハッキン	3	組
フランジパッキン	1	組
9) 集じん設備用 空気圧縮機(1基)		
ア 詳細内容		
① 集じん設備用空気圧縮機の分解清掃点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		
Oリング	2	個
Oリング	1	個
タブイヤフラムキット	1	組
Oリング	1	個
Oリング・	1	個
ソレノイド・バルブ100V・SV4	1	個
ヘー・アリング	2	個
オイルシール	1	枚
ロックワッシャ	1	個
ガスケット	1	枚

定期点検整備補修の項目	数	量
ヘ゛アリンク゛	2	個
t°ン	2	個
タ・イヤフラム	1	個
リティニング	4	個
セハ・レータアッシ	1	個
Oリンク <sup>*</sup> Oリンク <sup>*</sup>	1	個個
Oリンク バルブCP	1 1	個 個
タイヤフラム	1	個個
Oリング	1	個
オイルケーシ	1	個
Oリング	4	個
サーモバルブ	1	個
Oリンク゛	1	個
オイルフィルター	1	個
プランジャキット	1	組
タ・イヤフラムキット	1	個
ラバーブッシュ	2	個
エアーエレメント	1	個
カ゛スケット モーターヘ゛アリンク゛	1	枚
オイル (無償支給受)	2 80	個 L
(無頃又和文)	80	L
10) 集じん設備用 空気除湿機(1基)		
ア詳細内容		
① 集じん設備用空気除湿機の点検整備		
② 運転調整 イ 使用材料		
無し		
11) ダストコンベヤB No.1(1基)		
ア詳細内容		
① ダストコンベヤB No.1の開放清掃点検整備		
(清掃面積 63.4 m²/基)		
② 運転調整		
イ 使用材料		
無し		
12) ダストコンベヤB No.2(1基)		
ア詳細内容		
<ul><li>① ダストコンベヤB No.2の開放清掃点検整備</li><li>(法書 天辞, 24.6 c.²/甘)</li></ul>		
(清掃面積 34.6㎡/基)		
② 運転調整 イ 使用材料		
無し		
13) ダストコンベヤA No.2(1基)		
ア詳細内容		
① サイクロ減速機付モーター点検整備		
② 運転調整		
イ 使用材料		
オイルケーシ゛	1	個
偏心軸受	1	個
外ピン * N	1	式
ハッキン	1	式
モーター軸受モーター軸受	1	個個
サーダー 神紀 マーター 中紀 マーター 中紀 マーター 中紀 マーター 中紀 マーター マーター マーター マーター マーター マーター マーター マータ	1 1	個 個
Vリング <sup>*</sup>	1	個個
マグラン	1	個
ステーターコイル	1	個

定期点検整備補修の項目	数:	量
14) ダストコンベヤB No.3(1基)		
ア詳細内容		
① ダストコンベヤB No.3の開放清掃点検整備		
(清掃面積 5.6 m²/基)		
②運転調整		
イ使用材料		
無し 15) ろ過式集じん機(1基)		
7 詳細内容		
① シャッター短管交換		
② シースヒータ交換(2号炉)		
③ M/H短管の納品		
イ 使用材料		
(1号炉)		
シャッター短管	6	個
シャッターカ、スケット	6	式
M/H(短管部/ガスケット付) (納品)	4	個
シースヒータ (2号炉)	2	本
(7) 窒素酸化物除去設備 1) 窒素酸化物除去装置(1基)		
7 詳細内容		
① 反応塔、アンモニア設備、ガス再加熱器、スートブロア、		
温風循環ファン・ヒーターの点検整備		
② 部品・消耗品(パッキン)の交換		
③ 1号ガス再加熱器N2テスト		
④ 蒸気温度コントロール弁の分解点検整備(1,3号炉)		
⑤ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)	0	+4-
マンホールパッキンカ、ス再加熱器マンホールパッキン	3 2	枚 枚
温風循環ファンヘーアリング	2	個
(1号炉蒸気温度コントロール弁)	4	쁘
ハッキン	1	式
ガスケット	1	式
タ゛イアフラムキット	1	式
ポジショナー	1	台
(3号炉蒸気温度コントロール弁)		
ハッキン	1	式
カ・スケット	1	式
タ゛イアフラムキット ホ°シ´ショナー	1	式台
2) アンモニア気化装置(3基)	1	, D,
ア詳細内容		
① アンモニア行き閉止弁取付		
② 部品・消耗品(保温板金)取付		
③ アンモニアカ、ス警報機点検		
<ul><li>④ 3号アンモニア気化器ドレン弁交換</li></ul>		
イ 使用材料		
(1~3号)		
弁	4	個
保温板金	3	個
アンモニアカ、ス警報機	5	組

定期点検整備補修の項目	数	量
3) アンモニアガス気化タンク入口蒸気遮断弁(3基)		
ア詳細内容		
① 部品•消耗品交換		
② 運転調整         イ 使用材料		
(1~3号)		
弁	3	台
フランジガスケット	1	式
手弁	9	台
(0) 17 1 = 1.44		
(8) ボイラ設備 1) ボイラドラム(1基)		
① ボイラト・ラムの開放清掃点検整備		
(清掃面積 27.5㎡/基)		
② 溶接部の周継手、長手継手のカラーチェック		
③ ドラム鏡板 5点/1基、胴板 12点/1基の肉厚測定		
④ 1号炉の定期事業者検査		
⑤ 圧力計の工場校正		
⑥ 水面計のがラス交換		
⑦ 部品・消耗品(パッキン)の交換 イ 使用材料		
(1号炉)		
マンホールハッキン	1	枚
水面計ガラス・4枚/水面計1台×2台	8	個
2) 安全弁(2基)		
ア詳細内容		
ボイラト・ラム用 SV-1/2/3-3001 口径 65mm SV-1/2/3-3001 口径 65mm		
過熱器用 SV-1/2/3-3002 口径 32mm ① 安全弁の分解点検整備及び各部測定		
② 1号炉(ドラム,過熱器用)の定期事業者検査		
③作動試験及び調整		
イ 使用材料		
無し		
3) ボイラ本体(1基)		
ア詳細内容		
① マンホール開放、復旧 ② 足場組立		
② 足場組立 (足場箇所:1号炉…第3放射室、テールエント・部)		
③ 外部清掃		
(清掃面積:第3放射室 90.3㎡/基 テールエント・部 1413.0㎡/基)		
(点検箇所:1号炉…第3放射室、テールエント・部)		
④ 外部点検(G、I~Q部全て)		
⑤ 外径及び厚み測定		
⑥ 管寄せ開放清掃点検及び復旧(開放箇所3ヶ所)		
⑦ 定期事業者検査:1号炉 ⑧ ホットボルティング&保温復旧		
<ul><li>(3) からかが バイング &amp; 保価後日</li><li>(9) 圧力計校正(過熱器)</li></ul>		
<ul><li>① /エノカ   「人工 (過点 (過点 )</li></ul>		
イ 使用材料		
(1号炉)		
管寄せ用パッキン	5	枚
フランシ゛ガ゛スケット	3	枚

定期点検整備補修の項目	数	量
4) ボイラ給水ポンプ(1基)		
ア詳細内容		
① ボイラ給水ポンプの分解点検整備		
②本体、軸受、軸スリーブの傷及び摩耗状況の確認		
③ シャ가及び各部の測定		
④ 部品・消耗品の交換 ⑤ メカニカルシールクーラー入口配管/ユニオン交換		
⑥ 運転調整		
イ使用材料		
(1号炉)		
メカニカルシール	2	個
玉軸受	1	個
コロ軸受	1	個
ハブランスディスク	1	個
ハブランスシート	1	個
軸スリーフ	2	個
Oリンク゛	2	個
Oリング	1	個
Oリング	2	個
Oリング <sup>*</sup>	1	個
Oリング <sup>*</sup>	9	個
Oリング <sup>*</sup>	2	個
Oリング <sup>*</sup>	2	個
Oリンク <sup>*</sup> シートカ <sup>*</sup> スケット	2 2	個 個
軸受アダプター	2	個個
オースナップリング	2	個個
ギャカップリング・用〇リング	2	個
ギャカップリング・用のリング	2	個
Oリング <sup>*</sup>	10	個
Oリング	1	個
Oリング	2	個
ガスケット	9	個
ガスケット	3	個
カ・スケット	1	個
カ・スケット	1	個
スリープリテナー	2	個
サイトグラス本体	2	個
サイトグラス本体	1	個
オイルレベルケーシ	2	個
ユニオン オリフィス	1	個個
- イリノイへ 配管3/8	1 1	個 個
5) 脱気器(1基)	1	LLI
ア詳細内容		
① 脱気器の開放清掃点検整備(内部装置は取外無し)		
(容量:7.8m³/基、清掃面積:23.3m²/基)		
② スプレーノズルの清掃点検整備		
③ 部品・消耗品 (パッキン) の交換		
イ 使用材料		
(1号炉)		
マンホールパッキン	2	枚

定期点検整備補修の項目	数	(量
6) 脱気器給水ポンプ(1基)		
ア 詳細内容		
① 脱気器給水ポンプの分解点検整備		
② 本体、軸受、軸継手、軸スリーブ等の傷及び摩耗状況の確認		
③ 部品・消耗品の交換		
④ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
ケーシング・ガ・スケット	1	枚
カバーパッキン	2	枚
玉軸受	2	個
波座金	1	個
水切りリング	1	個
軸スリーブ		個
スリーブ・ハッキン	1	
	1	枚
メカニカルシール	1	個
インペラナット	1	個
セットスクリューネシ゛	1	個
ギャカップリンク、用Oリンク、	2	個
ギャカップリンク゛用〇リンク゛	1	個
Oリング	1	個
モーターヘ゛アリンク゛	2	個
7) 脱気器安全弁(1基)		
ア 詳細内容		
脱気器用 SV-1/2/3-3003 口径 50mm		
① 脱気器安全弁の分解点検整備及び各部測定		
② 作動試験及び調整		
イ 使用材料		
カブスケット	3	枚
<i>N 7971</i>		
8) 清缶剤注入装置(ポンプ5基)		
ア詳細内容		
① 清缶剤注入ポンプ(3基)、清缶剤移送ポンプ(2基)の分解点検整備		
② 部品・消耗品(プランジャー, ハッキン等)の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		
(清缶剤注入ポンプ3台分)		
(有山利在八本ノノ3百分) プランジャー	C	*
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6	本
ボールバルブ・ハブルブシート・ハブルブガイト	6	組
グラント・ハッキン	6	組
ガスケットパッキン	6	組
オイルシール大、小	6	式
リリーフ弁ディスク	3	個
(清缶剤移送ポンプ2台分)		
プランシ ャー φ 14	2	本
プランシ ャー φ 30	2	本
ホ <i>゙</i> ールハ゛ルブ・ハ゛ルフ゛シート・ハ゛ルフ゛カ゛イト゛	4	組
カ゛スケットハ゜ッキン	4	組
オイルシール大、小	4	式
	1	
リリーフ弁ディスク	2	個
リリーフ弁ディスク グラント・ハ・ッキン	2 4	恒 組
プランシ・ャー $\phi$ 30 ホールハ・ルブ・・ハ・ルブ・シート・ハ・ルフ・カ・イト・カ・スケットパッキン	2 4 4 4	本組組式

定期点検整備補修の項目	数	量
9) 脱酸剤注入装置(ポンプ5基)		
ア詳細内容		
① 脱酸剤注入ポンプ(3基)、脱酸剤移送ポンプ(2基)の分解点検整備		
② 部品・消耗品(プランシ ャー, パッキン等)の交換		
③ 運転調整 * (# E t t t t t		
イ 使用材料		
(脱酸剤注入ポンプ3台)	0	
プランジャー	6	本
ボールハ゛ルブ・ハ゛ルフ゛シート・ハ゛ルブ゛カ゛イト゛ グランドパ。ッキン	6	組织
カントハッキン	6	組組
オイルシール大、小	6 6	社式
リリーフ弁ディスク	3	個
「脱酸剤移送 $x^{3}$ プ $x^{2}$ 台)	J	Ш
プランジャー $\phi$ 14	2	本
	2	本
ボールバルブ・バルブシート・バルブガイト	4	組
ガンスケットハッキン	4	組
オイルシール大、小	4	式
リリーフ弁ディスク	2	個
グラント、パッキン	4	組
10) サンプリング装置 (7基)		
ア 詳細内容		
① 缶水用サンプリング・クーラー(3台)、給水用サンプリング・クーラー(3台)		
② 復水用サンプリング・クーラー(1台)の分解清掃点検整備		
③ pH計、伝導率計、Do計の点検整備		
④ 部品・消耗品(電極, 内部液)の交換		
⑤ 入出力の特定試験		
⑥ 運転調整		
イ 使用材料	_	1.
pH電極(カラス電極)	7	本土
pH電極(比較電極)	7	本
pH標準液(4.01)	4	本 本
pH標準液(6.86)	4 4	
pH標準液(9.18) Kcl液	7	本本
フランシ、ハ・ッキン	7	組
クーラーサイト、ク・ラス	7	個
隔膜カートリッシ゛	3	組
溶存酸素電極電解液	3	組
11) ボイラ下ダストコンベヤ No.1(1基)	_	/,
ア詳細内容		
① ボイラ下ダストコンベヤNo.1の開放清掃点検整備		
(清掃面積:14.6 m²/基)		
② 運転調整		
12) ボイラ下ダストコンベヤ No.2(1基)		
ア詳細内容		
① 開放清掃点検整備		
(清掃面積: 4.7 m²/基)		
イ 使用材料 細胞 一種 1		
無し		

定期点検整備補修の項目	数	量
13) 輻射部ダストコンベヤ (1基)		
ア詳細内容		
① 輻射部ダストコンベヤの開放清掃点検整備		
(清掃面積:10.9㎡/基)		
② 部品・消耗品(パッキン等)の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料 (1.日間)		
(1号炉) 軸封グラント・ハペッキン	1	巻
点検口パッキン	1	個
ボルトナット	1	組
4.7.17.71	1	//
14) 輻射部下ダブルダンパ(1基)		
ア詳細内容		
① 輻射部下ダブルダンパの開放清掃点検整備		
② 部品・消耗品(パッキン)の交換		
③ サイクロ減速機付モーター納品		
④ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)	1 .	.,
点検口用パッキン	2	枚
サイクロ減速機付モーター (納品)	1	台
15) ボイラ下ダブルダンパ(3基) ア 詳細内容		
① ボイラ下ダブルダンパの開放清掃点検整備		
② 部品・消耗品(パッキン)の交換		
③ 運転調整		
イ使用材料		
(1号炉)		
点検口用パッキン	6	枚
16) ダストコンベヤ下ダブルダンパ(1基)		
ア 詳細内容		
① ダストコンベヤ下ダブルダンパの開放清掃点検整備		
② 部品・消耗品(パッキン)の交換		
③ 運転調整 (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)		
イ 使用材料		
(1号炉)	. 0	+/
点検口用パッキン 17) 過熱器減温装置流量調節弁(1基)	2	枚
7 詳細内容		
① 過熱器減温装置調節弁の分解点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		
(1号炉)		
ク゛ラント゛ハ゜ッキン	1	組
ホ゛ンネットカ゛スケット	1	枚
シートカ・スケット	1	枚
中間ガスケット	1	式
蒸気出入口ガスケット	1	式
注水入口ガスケット	1	式

定期点検整備補修の項目	数量
18) 脱気器水位調節弁(1基)	
ア詳細内容	
① 分解点検整備	
② 部品・消耗品交換	
③ 運転調整	
イ 使用材料	
(1号炉) ケラント・ハッキン	1 組
カブスケット	1 組   1 枚
タ・イヤフラム	1 枚
ポジショナーハ゜イロットASS'Y	1 式
減圧弁	1 個
プラグ&ステム	1 本
シートリング	1 本
Oリング、ガスケット類	1 式
19) 蒸気配管肉厚測定(50箇所)	
ア詳細内容	
① 蒸気配管の肉厚測定	
② 保温板金の取外・復旧	
イ 使用材料	
無し 20) 定期事業者検査 (1基)	
20) 足朔争乗有候宜(1基)	
① 1号炉…定期事業者検査の受験助勢	
イ 使用材料	
無し	
21) 水圧試験(1基)	
ア詳細内容	
① 別途「水圧試験要領書」により実施	
イ 使用材料	
無し	
22) 保安装置試験(1基)	
ア詳細内容	
① 別途「保安装置試験要領書」により実施	
イ 使用材料	
無し 23) ボイラ試運転(1基)	
ア詳細内容	
① 試運転の立会	
② 試運転後、ホットボルティング及び保温復旧	
イ 使用材料	
無し	
(9) 発電設備	
1) タービン補機(1式)	
ア詳細内容	
① タービン補機の開放清掃点検整備	
(油タンク: 容量2600L、清掃面積15.0 m²/基)	
<ul><li>② 部品・消耗品の交換</li><li>③ オイルフラッシング</li></ul>	
(3) オイルノフッシング ④ 運転調整	
(E)	
<u> </u>	ı

定期点検整備補修の項目	数	量
イ 使用材料 油タンクマンホール用パッキン 制御油用油清浄器用ストレーナ(こし器) 制御油用油清浄器用素用のリング、パッキン 潤滑油清浄器用蓋用のリング 油冷却器チャンネルカハ・ー用パッキン 油冷却器リターンカハ・ー用パッキン 油冷却器冷却水配管用パッキン 補助油ポンプ用オイルシール 補助油ポンプ吸込口用シートパッキン 補助油ポンプ・吐出口用シートパッキン 作動油 (無償支給受)	2 2 1 2 1 1 4 1 1 4 1 4 00	枚個組個枚枚枚個枚枚L
<ul> <li>2) タービン排気ドレン移送装置(1基) ア 詳細内容 ① タービン排気ドレン移送装置の分解点検整備 ② 部品・消耗品の交換 ③ 運転調整 ④ モーターの交換 イ 使用材料 シートパッキン・Oリング オイルシール メカニカルシール シャフトセット Yスト用スクリーン Yスト蓋用パッキン フランジが、スケット モーター</li> </ul>	2 2 2 2 2 2 2 1 2	組個個組個枚式台
3) 発電機用クレーン(1 基) ①機器及び本体関係 ・ガータ、サドル、クラブ、レール等の損傷、亀裂、磨耗、歪、たわみ、ね ・走行レールのスパン・レベルの測定 ・横行レールスパンの測定 ・ボルト類のゆるみの状況  ②走行、横行、巻上装置 ・減速機の異音、振動、発熱等の有無及び油量の確認 ・内部歯車、軸受等の磨耗状況、油漏れの有無 ・回転部の振動、発熱、磨耗、ボルト類の緩み ・ワイヤーロープの状況  ③ブレーキ、リミットスイッチ ・ブレーキの作動状況及びドラムの磨耗状況 ・リミットスイッチの規定位置での作動状況  ④電気設備関係 ・配電盤、制御盤、給電設備、コントローラ、計器等の異常の有無 ・ケーブルハンガー装置の作動状況点検		

定期点検整備補修の項目	数	量
(10) 余熱利用設備		
1) 低圧蒸気だめ安全弁(1基) ア 詳細内容		
低圧蒸気だめ用SV-7001 口径80mm(共通設備) ① 低圧蒸気だめ安全弁の分解点検整備及び各部測定 ② 部品・消耗品(ガスケット)の交換 ③ N2ガスによる作動試験及び漏れ試験		
イ 使用材料		
カ <sup>*</sup> スケット PN.19	2	枚
カ <sup>*</sup> スケット PN.20 PN.21	$\begin{array}{ c c }\hline 1\\ 2 \end{array}$	枚 枚
(11) 蒸気復水設備	2	11
1) タービン排気復水器(8基/2式) ア 詳細内容		
① タービン排気復水器の開放点検整備 ② チューブ、管寄せの洩れ及び変形の確認 ③ 各部の測定 ④ ファン軸受部点検及びオイル交換 ⑤ モーターへブリングの交換		
<ul><li>⑥ 運転調整</li><li>イ 使用材料</li><li>管束点検口ガスケット</li><li>管束点検口用ボルトナット</li></ul>	32 32	個式
き	300 32 8	L 個 個
2) 抽気用エゼクター(2基) ア 詳細内容		Ш
① 抽気用エゼクターの分解清掃点検整備 ② 部品・消耗品の交換 ③ 保温解体及び復旧 イ 使用材料		
(抽気用エセ・クタ 2基分)		
カ・スケット	8	枚
カ <sup>*</sup> スケット カ <sup>*</sup> スケット	$\begin{vmatrix} 4\\20 \end{vmatrix}$	枚 枚
カンスケット	8	枚枚
3) エゼクターコンデンサー(2基)		1/2
ア 詳細内容 ① エゼ・クターコンテ・ンサーの分解清掃点検整備 ② 部品・消耗品(ガ・スケット等)の交換 ③ 気密テスト		
<ul><li>● 保温解体及び復旧</li><li>✓ 使用材料</li></ul>		
ガスケット	8	枚
カブスケット	4	枚
水室取付用ボルトナット 4) 排気復水タンク(1基)	72	組
ア 詳細内容 ① 排気復水タンクの開放清掃点検整備 (容量9.0㎡/基、清掃面積:28.5㎡/基) ② 部品・消耗品(パッキン等)の交換		

定期点検整備補修の項目	数	量
イ 使用材料		
マンホール用パッキン	1	枚
液面計取付フランジガスケット	2	枚
液面計ゲージがラス管	1	本
カ・スケット	2	枚
液面計グランド、パッキン	2	枚
5) 排気復水ポンプ(1基)		
ア詳細内容		
① 排気復水ポンプの分解点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整		
イ使用材料		/1777
カップリングゴム	1	個
ボールへ゛アリンク゛	2	個
メカニカルシール	1	個個
水切りゴム	1	個
Oリング マニッグ・ナックト 1	1	個
フランシ`ガ`スケット インヘ <sup>°</sup> ラ	1	式
	1	枚
6) 蒸気オートドレン(8個) ア 詳細内容		
① 蒸気オート・レンの分解点検整備 ② 部品・消耗品の交換		
イ 使用材料		
スチームトラップ補修キット	8	個
フランジガブスケット	1	式
(12) 純水設備	1	17
1) 純水装置(1基)		
ア詳細内容		
① 活性炭ろ過塔(1基)、イオン交換塔(1基)、混合ブロア(2基)		
廃液移送ポンプ(2基)、自動弁(2基)、純水タンク(1基)の点検整備		
② 活性炭ろ過塔の活性炭交換		
③ イオン交換塔の樹脂交換		
:カチオン樹脂25L(新規)、アニオン樹脂175L		
④ イオン交換塔の内部点検及びピンホール検査		
⑤ 自動弁の分解点検整備		
⑥ 廃液用pH電極の交換		
⑦ 各機器の部品・消耗品の交換		
8 純水廃液槽清掃		
<ul><li></li></ul>		
イ 使用材料		
活性炭	600	リツトル
カチオン樹脂	25	リツトル
アニオン樹脂	175	リツトル
自動弁	1.0	1.70
タ゛イヤフラムEPDM15A	2	枚
タ゛イヤフラムEPDM20A	1	枚
タ゛イヤフラムEPDM25A	2	枚
タ゛イヤフラムEPDM40A	2	枚
タ゛イヤフラムEPDM65A	2	枚
タ゛イヤフラムテフロン15A	2	枚
ダ・イヤフラムテフロン25A	1	枚
シリンタ・一用〇リンク・0841用	8	個
シリンタ・一用Oリンク・1042用	2	個
シリンタ・一〇リンク・1644ABC用	2	個
廃液用pH電極	1	本
マンホールハッキン	1	組

定期点検整備補修の項目	数	量
2) 純水補給ポンプ(1基)		
ア 詳細内容	Ī	
① 純水補給ポンプの分解点検整備	İ	
② 部品・消耗品の交換	İ	
③ 運転調整	İ	
イ 使用材料	İ	
ケーシングカースケット	1	個
カバーハッキン	1	枚
玉軸受	2	個
波座金	1	個
水切りリング	1	個
クブラント、ハッキン	1	組
封水リング	1	個
軸スリープ	1	個
スリーブハッキン	1	枚
カップリンク・ボルトコ・ム	1	個
主軸(中古溶射補修再使用)	1	本
インペラナット(セットスクリュー付)	1	個
ラビディンス軸受カバー(再使用)	2	個
フランシ゛カ゛スケット	1	式
モーター	1	台
(13) 給水設備	İ	
1) 冷却水高置水槽(1基)	ı	
ア詳細内容	İ	
① 冷却水高置水槽の開放清掃点検整備	İ	
(清掃面積:96.5 m²/基)   イ 使用材料	ı	
1 使用材料 無し 無し	İ	
	ı	
ア 詳細内容	İ	
① 機器冷却水槽の開放清掃点検整備	ı	
イ 使用材料	İ	
無し	İ	
3) 純水設備送水ポンプ(1基)	İ	
ア詳細内容	İ	
① 純水設備送水ポンプの分解点検整備	ı	
② 部品・消耗品の交換	İ	
③ 運転調整	ı	
イ 使用材料	İ	
ケーシング・カ・スケット	1	個
カバーパッキン	2	枚
玉軸受	2	個
波座金	1	個
水切リング	1	個
ク゛ラント゛ハ゜ッキン	1	組
封水リング	1	個
軸スリーフ゛	1	個
スリーブハッキン	1	枚
カップリンク゛ホ゛ルトコ゛ム	6	個
主軸(中古溶射補修再使用)	1	本
インヘプラナット、ネシ゛	1	式
ラビディンス軸受カバー(再使用)	2	個
フランジガスケット	1	式
モーター	2	台

定期点検整備補修の項目	数量	畫
4) 冷却水揚水ポンプ(1基)		
ア詳細内容		
① 冷却水揚水ポンプの分解点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料	-	/1771
ケーシング・ガンスケット	1	個
カバーハッキン	2 2	枚 個
玉軸受 波座金	1	個個
水切りング	1	個個
ク・ラント・ハ・ッキン	1	式
封水リング	1	個
軸スリーブ	1	個
スリーブハッキン	1	枚
カップリング・ボルトコ、ム	8	個
主軸(溶射用)	1	本
羽根車	1	台
ラビディンス軸受カバー(再使用)	2	個
フランシ・カ・スケット	1	式
モータヘ゛アリンク゛	2	個
5) 冷却水加圧ポンプ(1基)		
ア 詳細内容		
① 冷却水加圧ポンプの分解清掃点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整		
イ 使用材料		/ <del></del>
ケーシング・ガ・スケット	1	個
カバーガスケット	2	枚
玉軸受	2	個個
波座金水切りング	1	個 個
ク・ラント・ハ・ッキン	1 1	組
封水リング	1	個
軸スリーブ	1	個
スリーブ・ハッキン	1	枚
カップリング・ボルトゴム	6	個
主軸(中古溶射補修再使用)	1	本
ラビディンス軸受力ハー(再使用)	2	個
フランシ・カ・スケット	1	式
モーター	1	台
6) 冷却塔(1基)		
ア詳細内容		
① 冷却塔の開放清掃点検整備		
(清掃面積: 69.3 m²/基)		
②運転調整		
イ 使用材料		
無し (2) (2) (2) (2)		
7) 冷却塔ファン(2基)		
ア詳細内容		
① 冷却塔ファンの分解点検整備 ② 部品・消耗品(ベアリング, オイルシール等)の交換		
③ 運転調整		

定期点検整備補修の項目	数	量
イ 使用材料		
(電動機用) ペアリング	4	個
オイルシール	2	個
スピーティースリーブ	2	個
(減速機用)	4	/123
ヘ゛アリンク゛ オイルシール	4 6	個 個
Oリング	2	個
キャーオイル	20	L
8) 冷却水薬注装置(1基) ア 詳細内容		
① 機器冷却水薬注装置の分解清掃点検整備		
② 部品・消耗品(ダイヤフラム,校正液)の交換		
③ 電極校正		
(4) 運転調整 イ 使用材料		
ポンプ	2	台
校正液	4	組
継手(上部、下部) 9) 井水揚水ポンプ(1基)	1	式
ア詳細内容		
① 井水揚水ポンプの分解清掃点検整備		
② 部品・消耗品の交換		
③ 運転調整 イ 使用材料		
グラント、ハッキン	5	組
波座金	1	個
カハ゛ーハ゜ッキン ケーシング゛ガ、スケット	2 1	個 個
水切りリング	1	個個
軸スリーブ	1	個
スリーブハッキン	1	枚
封水リング インペラナットビス	1 1	個 個
主軸	1	本
ラビディンス軸受カハー(再使用)	2	個
玉軸受	2	個
カップリング・ボルト、 ゴム フランジ・ガスケット	8 1	組式
		- 4
(14) 汚水処理設備		
1 )ろ過機送水ポンプ交換(電動機を含む) ア 交換部品	2	台
SAL型片吸込み渦巻ポンプ	2	Н
・メーカー: 荏原製作所		
タイプ : 片吸込渦巻ポンプ		
型式 : 50×40SALG52.5 定格 : 400V = 50HZ = 2.2KW = 4P		
7.C.III . 1001. 00112 I. III. II		
チャッキ弁	2	個
・メーカー: ASTEM 型式 : C1J13R/S3S3-NS		
至八 : CIJI3K/ S3S3-NS		
イ 点検整備内容		
・試運転調整	2	式

定期点検整備補修の項目	数	量
2) 灰汚水槽 形式 鉄筋コンクリート造 容量 10.2 m <sup>3</sup>	2	槽
容量 10.2 m° 主要寸法 1.8 mW×2.2 mL×1.3 mWD 清掃面積 24.8 m <sup>2</sup> ア 点検整備内容 ・ 清掃		
3) 灰汚水貯留槽	1	槽
4)中和槽PH計交換調整 ア 点検整備内容 ・ PH計交換及び標準液による調整	1	槽
イ 交換部品 ・ DKK TOA CORPORATION 5600-5F 6026Y	1	個
5)PH調整槽PH計交換調整 ア 点検整備内容 ・PH計交換及び標準液による調整	2	槽
イ 交換部品 ・ DKK TOA CORPORATION 5600-5F 6026Y	2	個
6)放流槽PH計交換調整 ア 点検整備内容 ・ P H 計交換及び標準液による調整	1	槽
イ 交換部品 ・ DKK TOA CORPORATION 5600-5F 6026Y	1	個
(15) その他設備 1) 雑用空気脱湿装置(1基) ア 詳細内容 ① 雑用空気脱湿装置の点検整備 ② 部品・消耗品の交換 ③ 運転調整 イ 使用材料 エレメント エレメント オートト・レンラップ	1 1 1	個個個
2) 雑用空気空気槽(1基) ア 詳細内容 ① 雑用空気空気槽の開放清掃点検整備 ② 部品・消耗品の交換 ③ リークテスト イ 使用材料		<b>1</b> 4.
パッキン	1	枚

定期点検整備補修の項目	数	量
3) 計装用空気脱湿装置(1基) ア 詳細内容 ① 計装用空気脱湿装置の点検整備 ② 部品・消耗品の交換 ③ 運転調整 イ 使用材料		
エレメント エレメント 吸着剤(活性アルミナ) 吸着剤(シリカケ・ル) パッキン 4) 計装用空気空気槽(1基)	1 1 60 120 1	個個 kg kg
ア 詳細内容 ① 計装用空気空気槽の開放清掃点検整備 ② 部品・消耗品の交換 ③ リークテスト イ 使用材料		+/-
ハッキン 5) 脱臭装置(1基) ア 詳細内容 ① フィルターの交換 ② 運転調整 イ 使用材料 フィルター	1	枚    式
(16) 電気計装設備(機械付) 1) 計装設備 ア プラント制御システム設備 対象機器: ACC(自動燃焼制御システム) 内 容: 上記機器の点検、動作確認、機器の清掃等を実施。	1	7
イ 現場盤設備 対象機器:純水装置制御盤、ボイラ薬注装置制御盤、集じん設備薬剤供給 装置 制御盤 内 容:上記機器の点検、動作確認、部品交換等を実施。		
ウ 車両管制設備 対象機器:車両検知器 内 容:スロープループコイルセンサーの交換、ループコイルセンサーの 点検、動作確認を実施。		
2) 無停電・直流電源設備		

定期点検整備補修の項目	数	量
2. 電気・計装設備		
<ul> <li>(1) プラント制御システム点検整備</li> <li>1) インテグレーテッドコントロールステーション (ICS-2500)</li> <li>・外観検査及び清掃</li> <li>・電源部点検</li> <li>・制御機能点検 (ソフトウエア検査含む)</li> </ul>	4	面
<ul><li>2) オペレータステーション (IOS-2500)</li><li>・外観検査及び清掃</li><li>・制御機能点検</li></ul>	2	台式
<ul><li>3) データベースステーション (IDS-2500)</li><li>・外観検査及び清掃</li><li>・電源部点検</li><li>・制御機能点検</li></ul>	2	面
4) 出力装置(シーケンサF120S)点検整備 1号ろ過式集じん機制御盤 1号補機コントロールセンタ盤 No.1ごみクレーン制御盤 No.2ごみクレーン制御盤 車両管制制御盤 共通補機コントロールセンタ盤 保安設備コントロールセンタ盤 集じん設備薬剤供給制御盤 灰クレーン制御盤 排ガス状況表示盤 汚水処理設備制御(常用)盤 汚水処理設備制御(保安)盤 ・外観検査及び清掃 ・電源部点検 ・制御機能点検(プログラムセーブ及び照合含む)	12	40
5)入出力盤点検整備 ・盤内外点検清掃 ・制御電圧測定	4	面
(2) 工業計器点検整備         1) 圧力発信器         1号押込空気予熱器出口空気圧力       PI-101         1号二次押込空気予熱器出口空気圧力       PI-102         1号シール空気炉出口圧力       PI-103         1号乾燥帯空気圧力       PI-105         1号燃焼帯(2)空気圧力       PI-106         1号後燃焼帯空気圧力       PI-107         1号ボイラ出口ガス圧力       PIA-110         1号デールエンド圧力       PIA-110         1号デールエンド圧力       PI-111         1号デールエンド圧力       PI-111         1号ボイラと大燃焼ファン出口空気圧力       PI-113         1号ボイラ給水圧力       PIA-131         1号ボイラに素気圧力       PICA-132         1号ボイラドラム圧力       PICA-134         PIA-134       PICA-134	45	石

定期点検整備補修の		数量
1 号脱気器圧力	P I C A - 1 3 5	
1号脱気器給水ポンプ吐出圧力	PIA-136	
1 号ボイラ給水ポンプ吐出圧力	PIA-137	
1号ろ過式集じん機入口圧力	PIA-151	
1号ろ過式集じん機出口圧力	PIA - 154	
1号誘引ファン入口ガス圧力	PIA-160	
1号煙突入口ガス圧力	P I A – 1 6 1	
1号炉内圧力	PCIA-108	
1 号炉内圧力(2 重化)	P I A – 1 9 9	
消石灰供給ブロワNo.1 吐出圧力	PIA-051	
1号ろ過式集じん機差圧	PDI - 152	
1号アンモニア気化器圧力	P I C A – 1 5 8	
計装用空気ヘッダー圧力	P I A – 9 0 2	
雑用空気ヘッダー圧力	P I A – 9 1 2	
高圧蒸気だめ出口蒸気圧力	P I C A – 7 0 1	
タービン排気出口圧力	P I C A – 7 0 3	
タービン排気復水器入口圧力	P I C A – 7 0 5	
低圧蒸気だめ圧力	P I C A – 7 0 7	
タービン入口蒸気圧力	P I - 7 0 8	
タービン排気圧力	P I - 7 1 1	
タービン第一段落圧力	P I - 7 1 4	
パッキン蒸気圧力	P I - 7 1 5	
グランドリーク蒸気圧力	P I - 7 1 7	
タービン制御油ろ過器差圧	P d I - 7 1 9	
タービン潤滑油フィルタ差圧	P d I - 7 2 1	
タービン作動油圧力	P I - 7 2 3	
タービン制御油圧力	P I - 7 2 5	
タービン潤滑油圧力	P I - 7 2 8	
建築用給熱蒸気だめ圧力	P I A – 7 8 0	
・外観点検清掃	1111 100	
<ul> <li>校正試験</li> </ul>		
2)流量発信器		44 台
1号押込空気流量	F I C A - 1 0 1	
1 号二次燃焼空気流量	F I C A – 1 0 2	
1号乾燥带押込空気流量	F I - 1 0 4	
1号燃焼帯(1)押込空気流量	F I - 1 0 5	
1号燃焼帯(2)押込空気流量	F I - 1 0 6	
1号後燃焼帯押込空気流量	F I - 1 0 7	
1号燃焼帯(1)冷却空気流量	F I - 1 0 8	
1号ボイラ給水流量	F I Q - 1 2 1	
1 号ボイラ主蒸気減温水水量	F I Q - 1 2 2	
1 号ボイラ主蒸気流量	F I Q - 1 2 3	
1 号脱気器加熱蒸気流量	F I Q - 1 2 4	
1号脱気器給水流量	F I Q - 1 2 5	
1号押込空気予熱器蒸気流量	F I Q - 1 3 0	
1 号二次燃焼用空気予熱器蒸気水量	F I Q - 1 3 1	
1 号ガス再加熱器蒸気流量	F I Q - 1 3 3	
1 号燃焼排ガス流量	F I – 1 7 0	
1 号煙突排ガス流量	F I – 1 7 1	
1 号ボイラ連続ブロー流量	F I Q - 1 4 0	
1 号減温塔減温水流量	F I = 1 5 0	
1 号の価格の価が加重 1 号アンモニア水流量	F I Q - 1 6 0	
機器冷却水ブロー水量	F I Q - 5 0 6	
機器冷却水冷却塔出口流量		
【	F I Q - 5 0 7	

定期点検整備補修の項目		数	量
機器冷却水加圧ポンプ出口流量	FIQ-508		
井水高置水槽出口流量(落下灰水槽コンベヤ)			
井水高置水槽出口流量(減温水槽) 井水高置水槽出口流量(灰押出機)	FIQ-525 FIQ-527		
井水高置水槽出口流量(灰汚水処理)	F I Q = 5 2 7 F I Q = 5 2 8		
ろ過器送水ポンプ吐出量	F I - 6 0 4		
再利用水ポンプ吐出量(減温水)	F I Q - 6 0 5		
再利用水ポンプ吐出量(灰押出機)	F I Q - 6 0 6		
放流水ポンプ放流量	F I Q - 6 0 7		
塩酸使用量	F I Q – 6 0 8		
塩酸移送ポンプ吐出量(純水) 苛性ソーダ使用量	FIQ-609 FI-610		
前性ノーダ使用量 苛性ソーダ移送ポンプ吐出量(純水)	F I - 6 I U F I - 6 I I		
新生力	F I - 6 1 2		
液体キレート使用量	F I - 6 1 3		
タービンバイパス蒸気流量	F I Q - 7 0 2		
タービンバイパススプレー水量	F I Q - 7 0 3		
低圧蒸気だめ入口蒸気流量	F I Q - 7 2 4		
低圧蒸気だめアンモニア気化器入口蒸気流量 低圧蒸気だめ建築用入口蒸気流量	F I Q = 7 2 5 F I Q = 7 2 6		
低圧蒸気だめ温水プール入口蒸気流量	FIQ-720 FIQ-727		
減温水流量	F I Q - 7 2 9		
• 外観点検清掃	•		
• 校正試験			
3) レベル発信器		9	台
1 号ボイラドラム水位	L I C A – 1 2 0		Н
1 号脱気器水位	L I C A – 1 3 0		
排気復水タンク水位	L I C A - 7 0 3		
灰汚水貯留槽	L I A - 6 0 4		
復水タンクNo.1 水位	L I CA – 7 0 4		
復水タンクNo.2水位 純水タンクレベル	L I C A – 7 0 5 L I A – 7 4 0		
アンモニア水貯留No.1 レベル	LIA 740 LIA-063		
アンモニア水貯留No.2 レベル	L I A – 0 6 4		
• 外観点検清掃			
• 校正試験			
4) ループ点検		14	台
1号過熱器No.1出口蒸気温度	T I C A - 1 4 2		
1 号ボイラ主蒸気温度	T I C A - 1 4 3		
1号ボイラ主蒸気温度(流量補正用)	T I A - 1 4 4		
1 号二次燃焼ガス出口温度 1 号ボイラ出口ガス温度	T I A – 1 0 3 T I A – 1 1 9		
1 号がイノ山口ガス価度 1 号がイラ給水温度	T I A – 1 1 9 T I A – 1 4 0		
タービンバイパス蒸気温度No.1・No.2	T I C A - 7 0 1		
高圧蒸気だめ出口温度	T I A - 7 0 3		
タービン排気遮断弁出口温度	T I A - 7 0 4		
排気復水タンク温度	T I A - 7 0 6		
復水タンクNo.1温度	T I A - 7 0 7		
復水タンクNo.2温度 低圧蒸気だめ入口蒸気温度	T I A – 7 0 8 T I A – 7 0 9		
タービン入口蒸気温度	T I – 7 1 0		
・模擬入力(0、25、50、75、100%			
の変換器出力及びCRT表示の確認試験			
・信号値の許容誤差内の判定及び調整			
5)マイクロジェット記録計		2	台
・校正試験			•
・運転確認			

定期点検整備補修の項目	数	量
(3) 現場計装制御盤点検整備 1号リモート I/O盤 共通リモート I/O盤 汚水リモート I/O盤 ・盤内外点検清掃 ・制御電圧測定	3	明
<ul> <li>(4) 部品交換</li> <li>1) エアフィルター交換</li> <li>· I O S — 2 5 0 0 キャビネット扉</li> <li>· I C S — 2 5 0 0 ロッカー扉</li> <li>· I C S — 2 5 0 0 フロント電源</li> <li>· I D S — 2 5 0 0 キャビネット扉</li> <li>· 1 号炉入出力盤ロッカー扉</li> </ul>	5 8 8 2	枚枚枚枚枚枚
・共通用入出力盤ロッカー扉 ・電力用入出盤ロッカー扉	2	枚枚
<ul><li>2) デジタル指示調節計交換 窒素酸化物除去装置制御盤 型式: PXH9A211-1Y0A0 ・調整試験</li></ul>	2	仁
3) CMC-Ⅱ工場整備 ・取付作業及び設定作業(中央コントロールセンター内)	10	台
4) MICREX-F交換 ・プログラムローディング及び試験調整	2	台
<ul><li>5) ダストモニター交換</li><li>ばいじん濃度計 型式:LeakAlert65</li><li>・試験調整</li></ul>	1	台
6) 2成分分析計ユニット交換 ユニット・ガス採取器 ・試験調整	1	式
7) 絶縁変換器交換 (タービン起動盤内) 発電機KW入力 入口蒸気圧 タービン速度 前圧設定値 タービン速度用アラーム ・確認試験	1	式
8) 工業計器納入 ばいじん濃度計	1	台
型式: LeakAlert65 差圧発信器 型式: FKCS22J5-PACYY-BA 型式: FKCS11J5-PACYY-BA	2	1
9)分析計用セクターモータ交換 (4成分及び2成分用)	5	台

定期点検整備補修の項目	数	量
<ul> <li>(5)電気設備点検整備</li> <li>1)特別高圧受変電設備</li> <li>①ガス絶縁開閉装置(GIS)</li> <li>72KV,800A,31.5KA</li> <li>・外部点検清掃</li> <li>・機器動作確認試験</li> </ul>	2	式
②特別高圧ガス絶縁変圧器 66/6.6KV,43.7/437A,5000KVA ・外部点検清掃 ・計器指示確認試験 ・絶縁抵抗測定	1	仁
③高圧真空遮断器(VCB) 7.2KV,600A,20KA ・機器動作確認点検	6	行
<ul> <li>④保護継電器 <ul> <li>(アナログ式) 5 1 S</li> <li>5 1 F</li> <li>5 1 B</li> <li>2 7 B</li> <li>6 4 B</li> <li>6 7 G F</li> <li>6 7 G B</li> </ul> </li> <li>・外観点検清掃</li> <li>・動作確認試験</li> </ul>	2 8 2 1 1 4 1	台 台 台 台 台 台
⑤高圧配電盤 ・盤内外点検清掃	7	年
⑥低圧配電盤 ・盤内外点検清掃	2	面
⑦接地抵抗測定	1	式
⑧絶縁抵抗測定	1	式
<ul><li>⑨シーケンス試験</li><li>・操作連動試験</li><li>・保護連動試験</li></ul>	1	式
<ul><li>2) 高圧受変電設備</li><li>①高圧配電盤</li><li>・盤内外点検清掃</li></ul>	22	面
②高圧真空遮断器(VCB) 7.2 KV,600A,20KA(内1台1200A) ・機器動作確認点検	12	台
③高圧真空開閉器(VCS) 7.2 KV,200A ・機器動作確認点検	8	台
④電力コンデンサ 2 1 7 KVar ・外観点検清掃	5	台

定期点検整備補修の項目	数	:量
⑤高圧変圧器盤 三相1500KVA,1000KVA,500KVA,750KVA 単相500KVA,150KVA ・盤内外点検清掃 ・変圧器単体外観点検清掃	6	面
⑥変圧器二次盤 ・盤内外点検清掃	7	面
⑦低圧気中遮断器(ACB) ・機器動作確認点検	7	台
<ul> <li>⑧保護継電器</li> <li>51B2</li> <li>51TGR</li> <li>51SC</li> <li>51F5~11</li> <li>51EGR</li> <li>64B2</li> <li>64B3</li> <li>27B2</li> <li>27B3</li> <li>59B2</li> <li>67G</li> <li>2E</li> <li>・外観点検清掃</li> <li>・動作確認試験</li> </ul>	2 2 2 13 2 1 1 1 1 1 1 14 8	台台台台台台台台台台台
<ul><li>⑨低圧配電盤(動力、照明)</li><li>・盤内外点検清掃</li></ul>	12	面
<ul><li>⑩変圧器二次保護継電器</li><li>51L</li><li>51N</li><li>・外観点検清掃</li><li>・動作確認試験</li></ul>	14 7	台台
<ul><li>①アクティブフィルタ盤</li><li>400V,100KVA(プラント用)</li><li>400V,30KVA(建築設備用)</li><li>200V,20KVA(建築設備用)</li><li>・盤内外点検清掃</li></ul>	3	面
⑩タービン排気復水器盤(VVVF)	8	面
400V,114KVA 引き込み盤(電源) ・盤内外点検清掃	2	面
⑬接地抵抗測定	1	式
<ul><li>④絶縁抵抗測定</li></ul>	1	式
⑤シーケンス試験 ・操作連動試験 ・保護連動試験	1	式

定期点検整備補修の項目	数	量
3)電力総合監視設備 ①模擬母線盤 ・盤内外点検清掃	5	面
②シーケンス試験 ・操作連動試験 ・保護連動試験	1	式
③絶縁抵抗測定	1	式
4) 直流電源設備 ①無停電電源装置 入力400V,出力100V,750A,75KVA,300Ah ・盤内外点検清掃 ・電圧測定確認試験	1	式
②直流電源装置(プラント) 100V,75A,150Ah ・盤内外点検清掃 ・整流器、蓄電池点検	1	式
③直流電源装置(建築設備) 100V,30A,400Ah ・盤内外点検清掃 ・整流器、蓄電池点検	1	式
5) タービン発電設備 ①高圧配電盤 ・盤内外点検清掃	2	面
②高圧真空遮断器(V C B) 7.2 K V,1 2 0 0 A,2 0 K A ・機器動作確認点検	1	台
<ul> <li>③保護継電器</li> <li>51TG</li> <li>27TG</li> <li>59TG</li> <li>95LTG</li> <li>67PTG</li> <li>87TG</li> <li>40TG</li> <li>・外観点検清掃</li> <li>・動作確認試験</li> </ul>	2 1 1 1 1 3 1	台台台台台台
<ul><li>④シーケンス試験</li><li>・操作連動試験</li><li>・保護連動試験</li></ul>	1	式
6)非常用発電設備 ①高圧配電盤 ・盤内外点検清掃	2	面
②高圧真空遮断器(VCB) 7.2 KV,6 0 0 A,2 0 KA ・機器動作確認点検	1	台

	定期点検整備補修の項目	数	量
	③保護継電器		
	5 1 E G	2	台
	2 7 E G	1	台
	5 9 E G	1	台
	9 5 L E G	1	台
	6 7 P E G	1	台
	8 7 E G	3	台
	• 外観点検清掃		
	• 動作確認試験		
			D.
(4	AVR	1	式
	• 外観点検清掃		
	S 4x Et Mi	1	/>
	D発電機 PHRX電機 C C K X 1 5 0 0 K X A	1	台
	同期発電機 6.6 KV,1500 KV A		
	・外観点検清掃		
	<b>③ガスタービン</b>	1	式
		1	I
	1200KW, 22000rpm		
	・エンジン点検及びオイル・エレメント交換		
	<b>分始動用蓄電池</b>	1	式
	D 知 知 角 音 电 他 5 3 . 5 5 V , 5 0 0 A h	1	14
	• 外観点検清掃		
	8シーケンス試験	1	式
	・操作連動試験	1	10
	• 保護連動試験		
	• 負荷運転試験		
	9.絶縁抵抗測定	1	式
			-
7)並	<b>避雷設備</b>	1	式
	• 外観点検		
	・接地抵抗測定		
L			

## 別紙8:本施設の稼動に係る計測項目(環境保全計画)

## 【ごみ質の分析調査及び頻度】

見掛け比重     「一般廃棄物処理事業に対する指導に伴う留所分の性状(高分子・その他・不燃分)       低位発熱量(実測値・計算値)     灰分の性状(高分子・その他・不燃分)       ごみの物理組成(乾べース・湿べース・湿べースごと)     「可燃料」       でみの物理組成(乾べース・湿べースごと)     「一般廃棄物処理事業に対する指導に伴う留意事項について」(昭和52年11月4日環整95年11月4日東京の地質を表現されることに対していてより、日本工業規格等		分析	項目	頻度	備考
紙類   所芥類   布類   市類   中本   本類   でして   では   では   では   では   では   では   では   で	ごみの性状容積当重量三成分(水分・灰分・可				物処理事業 に対する指
一	灰分の性状(高	高分子・	その他・不燃分)		意事項につ
不燃分 ガラス類	組成(乾 ベース・湿 ベースご	分	厨芥類 布類 草木類 プラスチック類 (硬質系・軟質 系) ※ ごみ・皮類 その他類 金属類	4回/年	和52年11月 4日環整95 号)、日本

<sup>※</sup> プラスチック類の中で塩素系の含有率も計ること

## 【ばい煙・アンモニアに係る測定項目及び頻度】

	Ü	則定項目	回数	検体数	備る	<b>考</b>
排ガス	ばい煙	排ガス量 水分量 排ガス組成 CO、02連続測定 ばいじん量 硫黄酸化物 窒素酸化物 塩化水素 排ガス温度 水銀	三次 2炉を1回/月 (毎月)	2検体・12回	「法施行46年6月22 日産第15城 田本省46年6月22 日産業省分第1号 第15城 乗すす留前の 第1号 第15城 乗すする 第1号 第1号 第1号 第1号 第1号 第1号 第1号 第1号 第1号 第1号	JIS Z 8808  JIS Z 8808  JIS K 0301  JIS Z 8808  JIS K 0103  JIS K 0104  JIS K 0107  JIS K 0107
		アンモニア	3炉各1回/年	1検体・3回		JIS K 0099

## 【焼却主灰、焼却飛灰及び脱水汚泥の測定分析及び頻度】

		分析項目		頻度	検体数	備考
		熱灼減量		2炉が毎月1 回		「一般廃棄物処理 事業に対する指導 に伴う留意事項に ついて」(昭和52年 11月4日環整95 号)、日本工業規 格等による
焼却主灰	溶 出 (※2)	ポリ塩化ビフェニル トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ジクロロメタン	1.2-ジクロロエタン 1.1-ジクロロエチレン fオベンカルブ 1.1.1-トリクロロエタン シマジン 1.3-ジクロロプロペン チウラム シマジン fオベンカルブ ベンゼン セレン及びその化合物 1.4-ジオキサン	4回/年(5 月、8月、11 月、2月)		底質調査方法(平 成24年8月環境省 水・大気環境 局)、昭和48年環境庁告示第13 号、日本工業規格 等による
	含 有 (※2)	四塩化炭素 カドミウム及びその化合物 シアン化合物 有機燐化合物 鉛及びその化合物 六価クロム化合物 砒素及びその化合物	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 アルキル水銀化合物 ポリ塩化ビフェニル セレン及びその化合物 見掛け比重	1回/年(11月)	1検体・1回	
焼却飛灰	溶 出 (※2)	カドミウム及びその化合物シアン化合物 有機燐化合物 新及びその化合物 六価クロム化合物 砒素及びその化合物 水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 アルキル水銀化合物 ポリ塩化ビフェニル トリクロロエチレン デクロロメタン 四塩化炭素 1.2-ジクロロエタン	1.1-ジクロロエチレン シス-1,2ジクロロエチレン 1.1.1-トリクロロエタン 1.1.2-トリクロロエタン 1.3-ジクロロプロペン チウラム シャジン ナオペンカルブ ベンゼン セレン及びその化合物 1.4-ジオキサン 含水率 熱灼減量	4回/年(5 月、8月、11 月、2月)	1検体・4回	底質調査方法(平成24年8月環境省水・大気環境局)、昭和48年環境庁告示第13号、日本工業規格等による
	含 有 ( <b>※</b> 2)	カドミウム及びその化合物 シアン化合物 有機燐化合物	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 アルキル水銀化合物 ポリ塩化ビフェニル セレン及びその化合物 見掛け比重	1回/年(11 月)	1検体・1回	
脱水汚泥	溶 出 (※2)	カドミウム及びその化合物 シアン化合物 有機燐化合物 鉛及びその化合物 六価クロム化合物 砒素及びその化合物 水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物	1.1-ジクロロエチレン シス-1,2ジクロロエチレン 1.1.1-トリクロロエタン 1.1.2-トリクロロエタン 1.3-ジクロロプロペン チウラム シャジン  ナオペンカルブ ベンゼン セレン及びその化合物 1.4-ジオキサン 含水率 熱灼減量	4回/年(5 月、8月、11 月、2月)	1検体・4回	
		カドミウム及びその化合物 シアン化合物 有機燐化合物 鉛及びその化合物 六価クロム化合物 大価クロム化合物	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 アルキル水銀化合物 ポリ塩化ビフェニル セレン及びその化合物 見掛け比重	1回/年(11 月)	1検体・1回	

※1 2炉毎にサンプリングする ※2 2個所からサンプリングし混合検体を作成する

## 【工場排水の測定分析及び頻度】

		分析	項目	頻度	検体数
下		(1回目) 水温 水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量(BOD)		
水道放流	生活境項目	(2回目) 水温 水素イオン濃度 生物化学的酸素要求量(BOD) 化学的酸素要求量(COD) 沃素消費量 浮遊物質量(SS)	n-ヘキサン抽出物質(鉱油類・動植物油類) 全窒素(加算法)1日3回測定及び平均値 ケルダール性窒素1日3回測定及び平均値 亜硝酸性窒素1日3会測定及び平均 値 硝酸性窒素1日3会測定及び平均値 燐含有量(全リン)1日3回測定及び平均	除き毎月1回	1 検体・10回
下水道放流水多項目	生活環境項目健康項目	(1回目) 水水素(2回目) 水水素(2回回形型) 水水生性) 大水水生化沃浮血性 大沙的素量(COD) 大沙的素量(COD) 大沙的素量量(SS) 小小物変質が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が大型が	生物化学的酸素要求量(BOD)  亜硝酸性窒素1日3会測定及び平均値 硝酸性窒素1日3会測定及び平均値 燐含有量(全リン)1日3回測定及び平均 クロムびその化合物 亜鉛及びその化合物 ・ アンガン及びその化合物 ・ アンガン及びその化合物(溶解性) ・ ロロエチレン・シスー1、2シクロロエエタン・1、1・1・トリクロロエタン・1、1・2・トリクロロエタン・オージン・フラム・アン・アナー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー		1 検体・2 回

「下水の水質の検定方法等に関する省令」(昭和37年12月17日付け厚生省・建設省令第1号), 日本工業規格等に定められた分析方法によること。

## 【焼却残渣組成の分析調査及び頻度】

	分類	頻度	備考
有価物	金属 (鉄類) 金属 (鉄類) ガラス類		広域処分組合の 分析調査に基づ く焼却残渣組成
有価物以外	陶磁器・石類その他不燃物類可燃物焼却残渣(5mm以上)焼却残渣(2~5mm)焼却残渣(2mm以下)	6 回/年	分析調査票による。
見かけ比重 含水率(水分)			

# 【ダイオキシン類濃度に係る測定項目及び頻度】

項目	測定場所	頻度	検体数	備考	
排ガス	1号炉、2号炉、3号炉の各煙道	5回/年	3 検体・2 回 2 検体・3 回	ダイオキシン類対策特別措置法施行 規則(平成11年12月総理府令第67号) JIS K 03 第2条第1項	311
排出水	工場排水・総合排水	5 回/年	2検体・2回 1検体・3回	ダイオキシン類対策特別措置法施行 規則(平成11年12月総理府令第67号) JIS K 03 第2条第2項	312
焼却主灰	稼働の2炉の焼却主灰の混合	5回/年	1 検体・5回	・ダイオキシン類対策特別措置法、 同法施行令、同法施行規則 ・廃棄物焼却炉に係るばいじん等に	
焼却飛灰		5回/年	1 検体・5回	会まれるダイオキシン類の量の基準 及び測定の方法に関する省令(平成 12年10月20日厚生省)	
土壌中	組合敷地内指定場所	1回/年	4 検体・1回	ダイオキシン類に係る土壌調査測定 マニュアル (平成21年3月環境省水・ 大気環境局土壌環境課)	
作業環境	灰押出し室 <u>灰積出し室</u> 炉室2階 炉室3階(バッグフィルター下)	2回/年	4 検体・2回	廃棄物焼却施設関連作業におけるダ イオキシン類ばく露防止対策要綱(基 発第0110第1号、平成26年1月10日)	